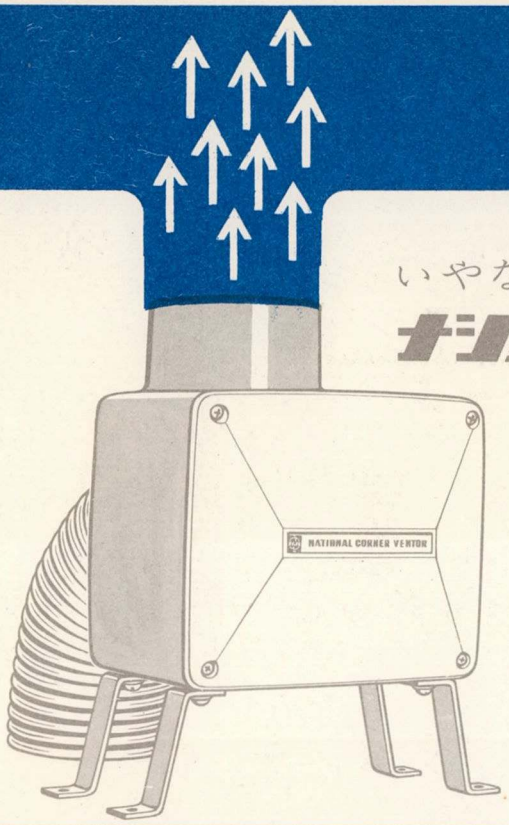
昭和24年3月19日　第3種郵便物認可　昭和38年4月20日印刷　昭和38年4月25日発行　第44輯第4号（毎月1回25日発行）

建築と社会

4 '63
レクリエーション特集



日本建築協会



いやなニオイがサッと消える！

ナショナルコーナーベンター

トイレや暗室に、ぜひお取付けください。
悪臭が消え、通気もよくなり、いつもさわやか。防水・防錆も完ぺきで長寿命です。

トイレ・暗室用換気扇
コーナーベンター
12センチC3型 正価 **6,800円**
月賦定価 7,000円

カタログ進呈 大阪市東局区内
松下電器・扇風機事業部へ。

ナショナル
松下電器

TRADE MARK



DOG

製品種目

ドッグ印 アスファルト ルーフイング
アスファルト フエルト
石綿ルーフイング
石綿フエルト
砂付ルーフイング
メルタイト ルーフイング
キンマレアタイト
ヘッシヤン ファブリック
コットン ファブリック
白麻ファブリック
ゲオンタイト

鉄路を護る保線手と建物を護る防水工事

何れも目立たぬ蔭の存在ですが絶えず何千万の人命を、又総ゆる建物の寿命を黙々と護つて、大切な役割を果して居ります。

メンブレン式防水

の補強材料は35年の経歴と信用を誇る

ドッグ印で!!

株式会社
工英社

本社・工場 大阪市西成区橋通9丁目24番地
電話 ㊫代表 8861 ㊫ 7381

日東紡の建築材料……

ファイロン
米国との技術提携による本格的FRP採光材料

ニットータイル
美しい色調で伸縮性のない塩化ビニール床タイル

ミネラトーン
絶対不燃で、独特の美しいパターンの天井吸音板

スプレーテックス
凡ゆる材質にも施行可能な吹付方式のロックウール新製品

ロックウール
保温・保冷・吸音にすばらしい性能の断熱・吸音材

コンプリバンド
全ゆるタイプのジョイントに完全防水接ぎ目封緘材

カーポート
ファイロン使用の簡易組立自動車々庫

日東紡績株式会社

大阪支店　大阪市東区高麗橋5—1　興銀ビル　TEL（202）1301
東京・名古屋・浜松・札幌・仙台・広島・福岡

すまいをカラー設計する美しい床材

- 程よい弾力性
- 美しい色彩
- 工事が簡単
- 価格が手頃

ビニラート VINYLART タイル

各種製品　リノリユーム・リノタイル・Nタイル・スポンジシート

TOYO LINOLEUM MFG. CO. LTD.

美しい床材をつくって40年

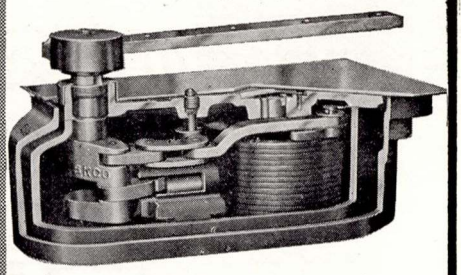
東洋リノリユーム株式会社

大　阪・大阪市南区順慶町通り4丁目（三和ビル）TEL 271—5051（代）
東　京・東京都中央区銀座4丁目（三和ビル）TEL 561—1701. 2564

S.K
敷島金物

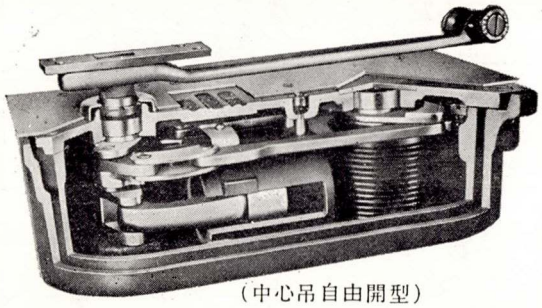
近代人の感覚にマッチする

ユートピア印



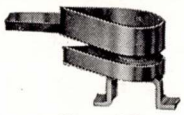
（片開持出吊り型）

フロアーヒンヂ　ピポットヒンヂ



（中心吊自由開型）





上枠・上扉　　下枠・下扉

（ピポット・ヒンヂ持出し吊り型）

（カタログ御入用の節は御申込下さい）

製造元

敷島金物株式会社

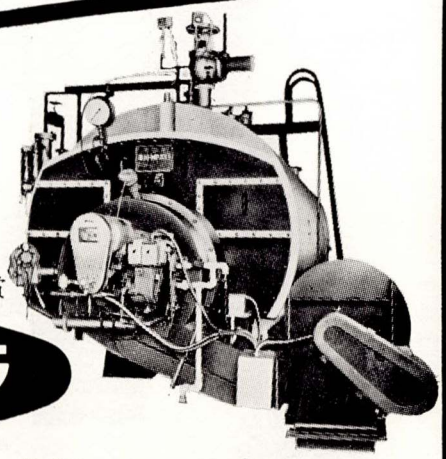
大阪府布施市横沼町1の46　電話布施　(721) 7713～4

東京都千代田区神田三崎町2の26　電話東京　(332)5310 (301)0403

……繁栄を招く……

……よい製品……

驚異的蒸発量！



37年度に紫綬褒章受賞

MPボイラ

株式会社 平川鉄工所

本社・工場　大阪市大淀区大仁西2の1　TEL (458) 3631(代)～5

東京営業所　東京都中央区八重洲6の7　TEL (272) 2721 (代)

九州出張所　北九州市小倉区富野545　TEL (52) 4862

滋賀工場　滋賀県野洲郡野洲町三上　TEL 野洲局 405

あなたの忠実な…

ドアーボーイ！

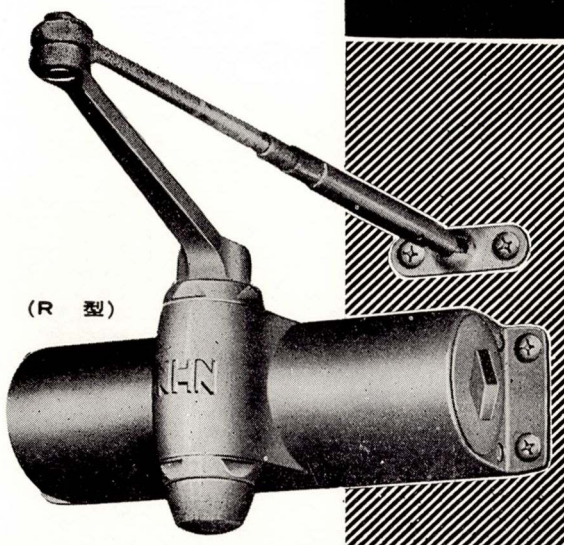
＊紫綬褒章に輝く＊

ニッカナ ドアーチエック

日本金具製作所

製造元 ダイハツ工業株式會社

NHN



(R 型)

型状優美
故障絶無

アルミパールタイル
ヤハズラス

新

木毛セメント板
カラーベストス

ボード 建 スロール

ビニール加工板
メラミン加工板

材

ビニ床タイル
プリント合板

ロッカ
モト

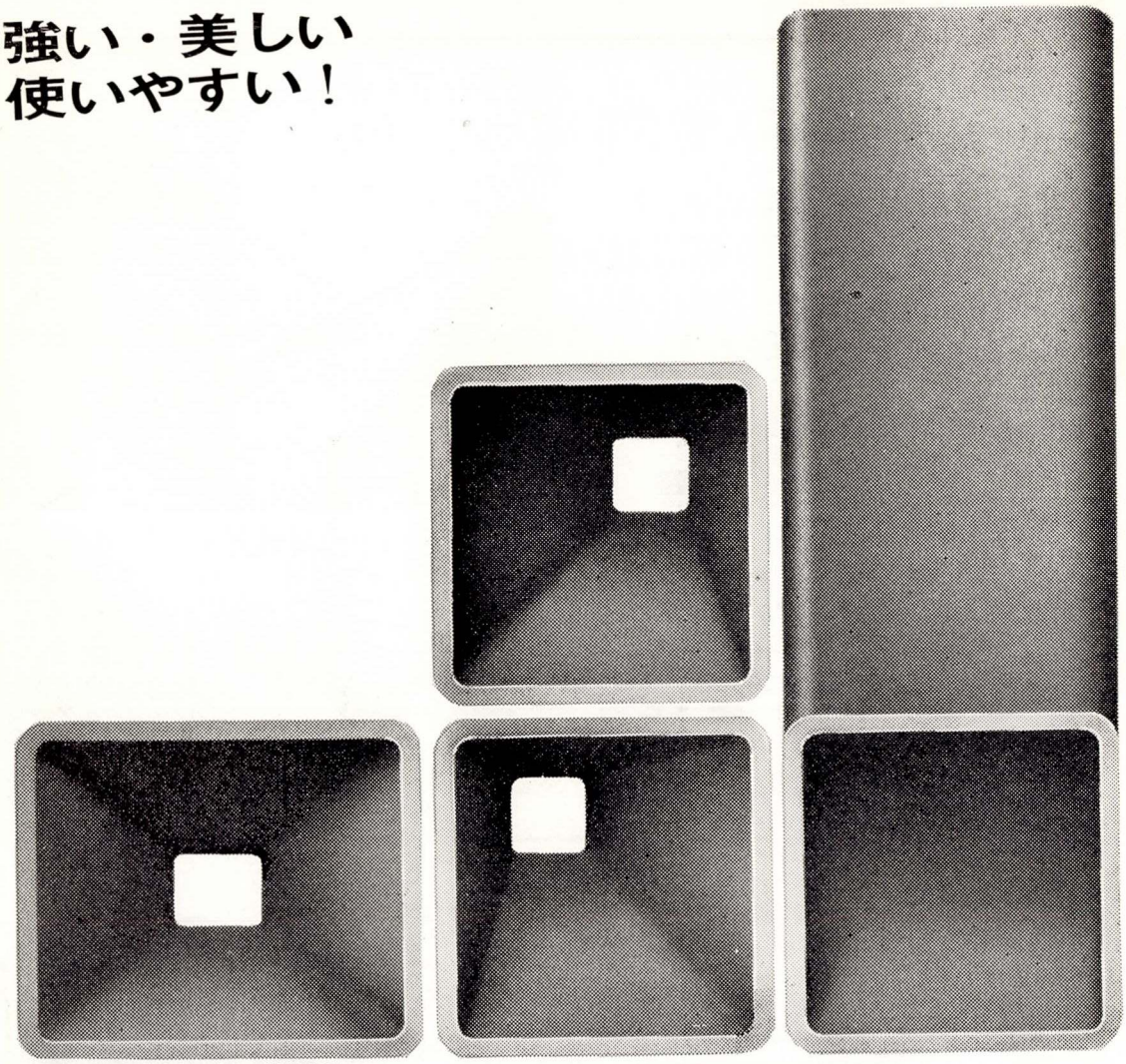
生きる近代建築に
魂ある文化材

30メーカー代理店

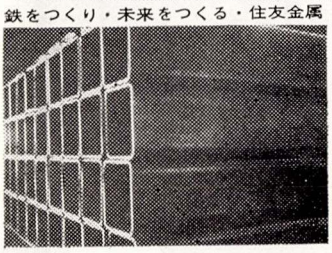
モデルハウスと展示
すまいの用枝店
西区立花通2電(531)2843

大阪・四ツ橋
株式会社 山本建材
TFL (541) 1861～5・2131・2233・7060・7161

強い・美しい
使いやすい！



鉄をつくり・未来をつくる・住友金属



住友の 角形鋼管

住友金属

住友金属工業株式会社
本社／大阪市東区北浜5の15（新住友ビル）
支社／東京／営業所／福岡・広島・名古屋・仙台・札幌

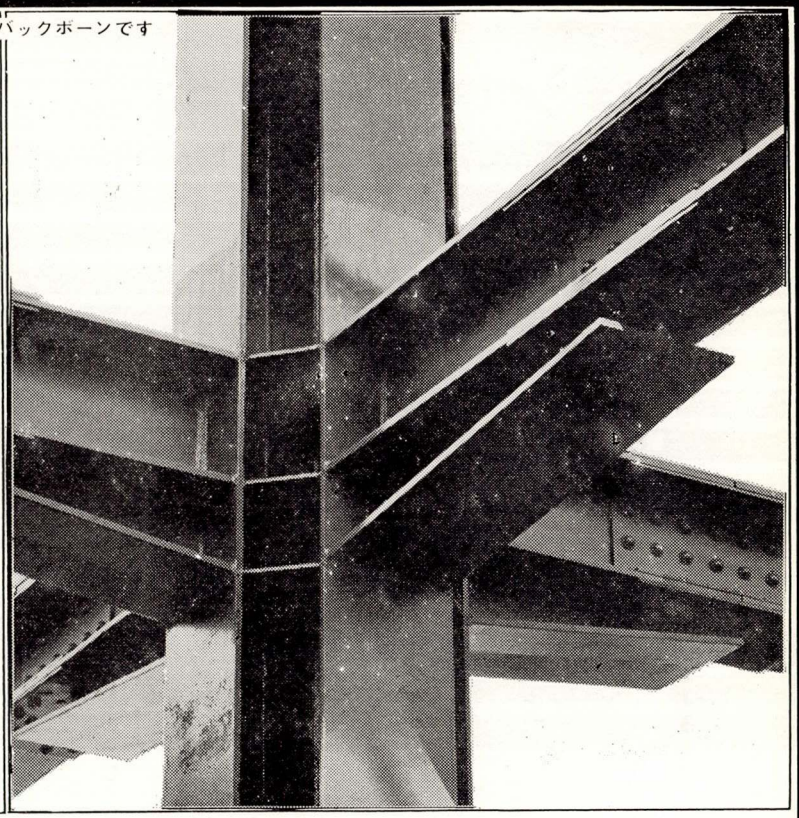
燃えない都市づくりのため
角形鋼管が　注目をあびてきました。欧米諸国では　角形鋼管の
シャープなもち味が早くから買われ　学校やビルを初め住宅などにもどしどし使われています。
■すぐれた断面性能　■パイプの強さに角形の使いやすさをプラス
■両端を閉鎖すれば　内面からの腐食度はゼロ。耐久力は抜群。
■仕上材とよく調和し加工・組立も簡単。
“強く　美しく　使いやすく”
現代感覚を生かすのに最適です。

H形鋼は、明日の日本を築くバックボーンです

〈細幅系列〉
40サイズ

〈中幅系列〉
40サイズ

〈広幅系列〉
40サイズ



120サイズ／H形鋼が使いやすくなりました!!

●弊社では、最新鋭のユニバーサルミルによって50サイズの〈H形鋼〉を製造してまいりましたが、このたび〈H形鋼〉をいっそう経済的にご使用いただくために、各ウェブ高さ、フランジ幅ごとに厚さの異なるサイズを追加し、合計120サイズの〈H形鋼〉の製造販売をはじめました。

●これによって、ほぼおなじウェブ高さ、フランジ幅のなかで、設計に応じて、最適の断面性能の〈H形鋼〉を自由にお選びになれるわけです。また、ご要望に応じて、即時、納入できるように、東京・大阪・名古屋の3地区に各サイズの在庫を準備いたしました。

〈特　　性〉

同一重量に対する圧縮耐力……広幅系列〉 中幅系列〉 細幅系列

同一重量に対する曲げ耐力……細幅系列〉 中幅系列〉 広幅系列

同一ウェブ高さに対する曲げ耐力……広幅系列〉 中幅系列〉 細幅系列

〈主な用途〉

広幅系列……柱材、基礎杭、山留材、トラスメンバーなど

中幅系列……柱材、はり材、桁材など

細幅系列……はり材、桁材、複合材〈十字柱、ラチス柱〉など

〈H形鋼〉のご使用については、弊社市場部建材サービス班へお問合わせください。＊＊＊＊＊＊＊＊＊

八幡製鐵

マルエス　本社　東京都千代田区丸ノ内1ノ1〈鉄鋼ビル〉電話・東京〈201〉大代表1141

東洋シヤッター

甲種、乙種防火シャッター製造施工

●品　種　キングゴールド（特殊チタメート処理）・亜鉛メッキ樹脂塗料焼付仕上

■スプリングシヤッター　■重量スプリングシヤッター　■手動式電動式シヤッター　■特許自動シヤッター

建築業者登録番号（チ）第5807号　甲種・乙種防火戸

東洋シヤッター株式会社

本社・工場　大阪市西淀川区佃町4丁目33番地　電話（代表）471－8331

支店出張所　大阪(351)-7308・東京(771)-1171・名古屋(32)-0933・京都(7)-3581・神戸(22)-1489・福岡(3)-4103　其の他全国主要都市

NS-85

●WHを自由に変えられるハーフメイドサツシ
●無理のない合理的な設計
●設計から取付まで一貫したサービス
●安直　廉価

スピンドルのハーフメイドサッシ

●オーダーメイド：アルミ、スチール、ステンレスサッシドア各式

日本スピンドル製造株式会社　金属成型事業部

大阪営業所	大阪市東区備後町(綿業会館内)	電大阪（202）7991（代）
茨木第一工場	大阪府茨木市太田新田60	電茨木(07262)4741(代)
茨木第二工場	大阪府茨木市太田上野	電茨木(07262)5065・5066
本社	兵庫県尼崎市潮江(国鉄尼崎駅北)	電大阪（401）5551（代）
東京事務所	東京都千代田区(丸ビル403号)	電東京（201）0875・3605



驚異的低価格

性能も乗心地もトップレベル
中高層建築に最も理想的な

規格型乗客用昇降機

パブリベータ

定　員	6人用・8人用
運転条件	交流可変速度45m／min
操作方式	セレクチブ、コレクチブ（運転手なし乗合全自動式）
位置表示	フラッシュライト式
扉	乗場、カゴ共1枚片引自動扉（セフティーエッヂ付）
乗場寸法	760㎜×2050㎜

規格化と量産
然も総てに画期的な

特許

クマリフト ジュニアー

J－30

食堂・喫茶店向
三相・単相　100V／200V与HP
積載量　25kg　毎分速度　20m
カゴ鋼製　有効500×500×600㎜
押釦式全自動運転・各階上下引分扉付
出入口　三方向自由
全機構が壁付のため通路工事簡易

特許

クマリフト マスター



M－50

食堂・旅館向
三相交流　200V与HP
積載量　50kg　毎分速度　30m
カゴ鋼製　有効600×600×750㎜
押釦式全自動運転・各階上下引分扉付　出入口三方向自由

M－100

料理店・ホテル・学校給食・商店・工場向
三相交流　200V1HP
積載量　100kg　毎分速度30m
カゴ鋼製　有効750×750×900㎜
押釦式全自動運転・各階上下引分扉付　出入口三方向自由

M－200

三相交流　200V　2HP
積載量　200kg　毎分速度　30m
カゴ鋼製　900×900×1050㎜
押釦式全自動運転・各階扉付

M－300

三相交流　200V　3HP
積載量　300kg　毎分速度　30m
カゴ鋼製　1,000×1,000×1,200㎜
押釦式全自動運転・各階扉付

クマガイ　日本エレベータ協会々員

クマガイ工業株式会社

大阪市西区京町堀二丁目三十番地
電話　441—4748・0209・7788　381—0822・2686・4527

東京支店	東京都北区岸町1—9	TEL　東京（911）4253・（919）3062
名古屋支店	名古屋市中区東陽町7—2	TEL　名古屋（24）0372
京都営業所	京都市中京区二条通西洞院西入	TEL　京都（23）9532

アスファルト防水は年限保證する
日本アスファルト防水工業会の仕様による
経験と技術の工業会員へ

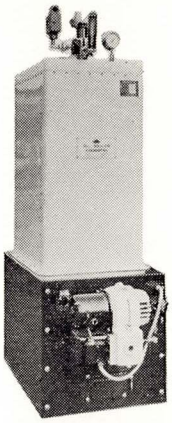
日本アスファルト防水工業会員名簿　（イロハ順）

地区別	会社名	住所	電話
北海道地区	日本スレート KK	札幌市北三条東４－１	②3458・4426
東北地区	大和工業KK 仙台出張所	仙台市二日町１－２	③7790・②0335
関東地区	井上瀝青工業 KK	東京都中央区銀座東２－13	(541)1974-5
	伊藤建材 K K	東京都台東区浅草田島町77	(871)5311(841)5729
	北条瀝青工業 KK	東京都中央区湊町３－７	(551)2676・4382
	Y K 金岡興業	東京都新宿区柏木５－1172	(361)5947・(371)1337
	高山工業 K K	東京都千代田区神田小川町１－８	(251)0161-3・1301-2
	瀝青建材 K K	東京都中央区銀座東３－11	(541)6945・7834
	桑原建材 K K	東京都文京区新歌訪町６	(921)0448・0647
	大和工業 K K	東京都荒川区南千住６－42	(891)1144-6・7155-7
	マサル瀝青工業 KK	東京都台東区新坂本町61	(841)8501・(871)2851
	藤井工業 K K	東京都文京区林町94	(941)0271・2582
	K K 三柏商会	東京都千代田区神田同朋町３	(251)8867・7517
	K K 金港商店	横浜市西区高島町１－１	㊹7846・8476-7
東海地区	中央建材工業 KK	名古屋市中区南久屋町３－12	㉔0496・2066・8700
	日本建材興業 KK	名古屋市西区南押切町５－12	㊺6860・2574・0415
近畿地区	日新工材 K K	大阪市西区新町北通１－17	㊽3785-6・2721
	マルエス工業 KK	大阪市福島区上福島南１－152	㊽2360・2030
	K K 新光商店	大阪市南区塩町通２－13	㉖7195-7・4467
	高山工業KK 大阪営業所	大阪市北区老松町２－19	㊸5976-8
	清水興業 K K	大阪市北区鶴野町34	㊼0251-3
中国地区	豊永建材 K K	広島市南竹屋町103	④3567
	東中國防水工業 YK	岡山市磨屋町22	③2211・6302
四国地区	大三工業 K K	高松市内磨屋町７	②8697
	K K 山本商会	松山市萱町２－95	②2717・8422
九州地区	日新興業 K K	延岡市本小路74	4305
	大同工業 K K	宮崎市橘通６－82	8155-6
	K K 工材社	門司市大里東通10丁目	㊳1468-9
	安藤工事 K K	福岡市大浜１丁目新町95	②6968・③5765
	KK 北原建材商会	鹿児島市上之園町62	④0001-2

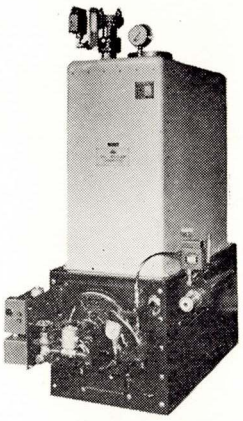
日本アスファルト防水工業会関西事務所

大阪市西区新町北通１-18　日新工業ＫＫ大阪支店　（531）5281-3

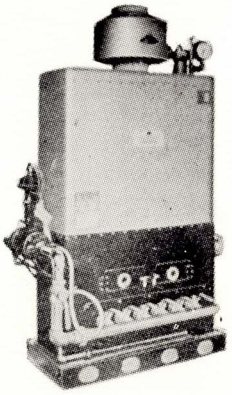
笠松式水管瓦斯重油温水ボイラ



軽油全自動ボイラ



重油全自動ボイラ



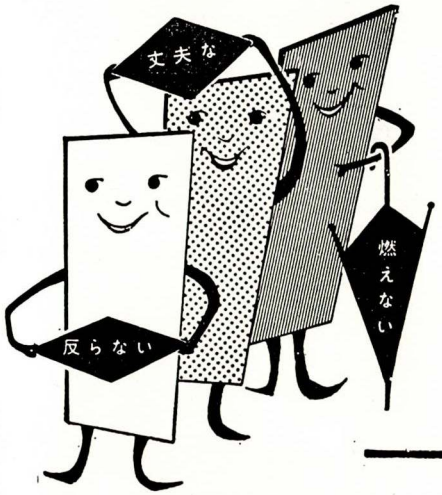
瓦斯ボイラ
NO.K200型

本邦最初
(84Sモリブデン
ステンレス製)
最高性能・経済的・安全な
(暖房・給湯)

営業品目
オイルバーナー
瓦斯熱風暖房機
軽油ボイラ(銅水管製)
重油全自動ボイラ
(水管モリブデンステンレス製)
都市プロパン瓦斯ボイラ
(銅水管製)
(型録贈呈)

JAPAN KASAMATSU OSAKA

笠松工業株式会社
取締役社長　笠松正治
本社工場　大阪市生野区大友町1—18　電話(716) 8183



最大の規模 最高の品質!!

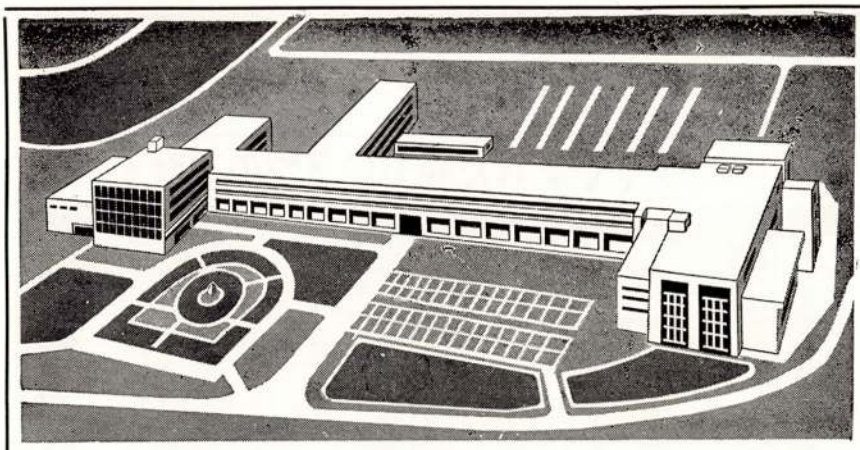
三菱
石膏ボード
石膏ラスボード
石膏吸音ボード

デラックスボード
ニュースノートーン
カラードボード
エスロンボード

SSS サンエス石膏株式会社
製造元 日東石膏株式会社
日本耐火ボード株式会社

総代理店 三菱商事株式会社
東京都千代田区丸ノ内2—20 TEL (211)代表0211

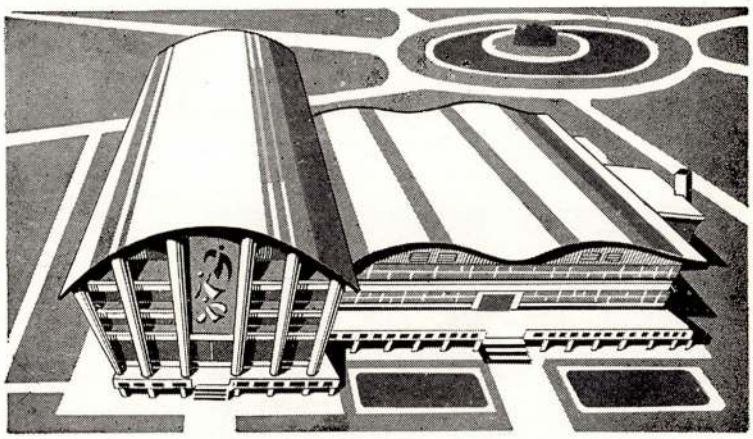

すべての柱型をしめる
特許 コラムクランプ
柱型枠締付金具
特許の誇るこの特長
・高度の精密度
・充分な安全性
・操作の簡易
・工費の節減
富国交易株式会社
東京都千代田区内幸町２－２　富国ビル５０２号室
電話　東京（５９１）６８５４・６８５９・７９７７



軽量、緩勾配屋根に
軽快な近代建築材

日泝スーパーアルソイド
日泝ゴールデンルーフイング

伸縮目地材　エキスパンタイト
　　セロタイト
コーギング材　シールセメント



日泝化学工業株式会社

本　　社　東京都中央区八重洲1—3
　　TEL (271) 7000・5463～5
営業所及東京工場　東京都荒川区尾久町6—101
　　TEL (807) 代表 0161～5

大阪営業所及大阪工場
　大阪市東淀川区堀上通り3—39
　TEL (391) 0924～5・2045・2079

あなたのセンスがそのまゝ生きる！

伝統と技術にはぐくまれた美しい3つのデザイン



●ダイナミックタッチ
ジュピター　L1305
陶器・金具セット
1級・¥15,400　並級 ¥13,900

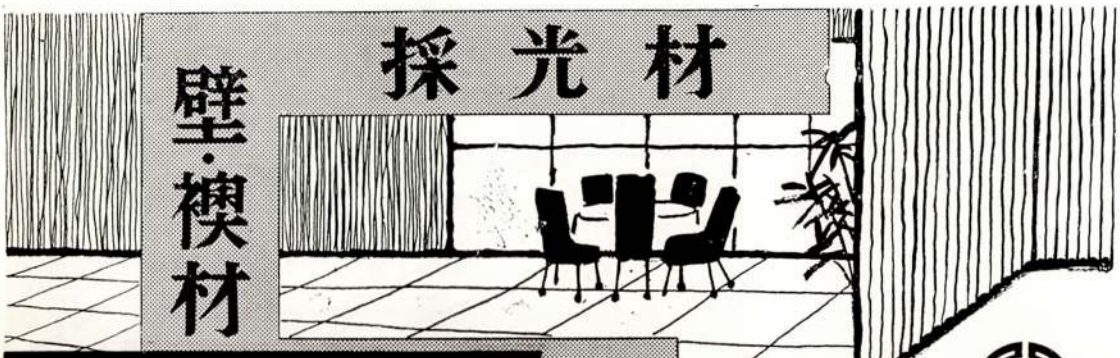


●やわらかい甘いムード
ヴィナス　L1223
陶器・金具セット
1級 ¥15,000　並級 ¥13,560



●端正な感触・・・・
アポロ　L1306
陶器・金具セット
1級 ¥14,200　並級 ¥12,700

Toyotoki 東洋陶器株式会社
本社／小倉　工場／小倉、茅ヶ崎、滋賀
大阪営業所／大阪市東区高麗橋 Tel (231) 4518～9 1424



採光材
壁・襖材
床材

優れた品質で定評のある丈夫な長物床材
ロンリウム
カラーフルで鮮彩な肌面が美しい床材
ロンタイル
全層同質で強く値段も安い経済的な床材
ロンリウムK
ロンタイルK
軽く強く美しい採光用の屋根・間仕切材
ロンガラスト
ロンプレート
ニューロンプレート
簡単に貼れ水拭き出来る優雅な壁・襖材
ロンフィックス

K
ビニール
川口ゴムの建材！

川口ゴム工業株式会社
本社　東京都葛飾区本田四ッ木町54　電話 東京(697)6141(代表)
東京営業所　東京都千代田区神田松永町13（川口ビル）　電話 東京(291)4941～4946
大阪営業所　大阪市南区北炭屋町33　電話 大阪(271)4358～9

会員の頁用

会員の頁へどしどしお便りを！

昭和38年正月号より，この「建築と社会」誌に新らしく「会員の頁」欄を設けまして，会員の皆さんの声をのせております。
協会に対する注文，掲載文に対する感想，ご意見，建築界のいろいろな問題に対するご感想，その他何でもよいですから，どしどしお便りをおよせ下さい。「会員の頁」欄に集録していきます。字数はハガキに書ける程度でよいと思います。このハガキをご利用下されば幸いです。

掲載の分には粗品呈上

日本建築協会編集委員会

郵便はがき

5円切手をお貼り下さい

大阪市東区北浜三―三七

日本建築協会

「建築と社会」会員の頁欄 行

会員の頁原稿

住　所

役　職　　氏　名

会員の頁へどしどしお便りを！

このハガキをご利用下さい。

1.字　数　600字以内（原則として）長くなる場合は別に手紙でお送り下さい。

1.期　日　自由。

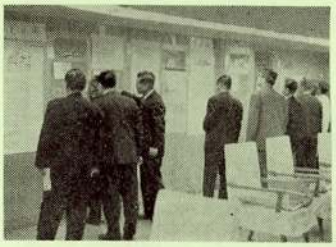
1.内　容　内容も自由です。

1.掲　載　掲載号を一冊呈上いたします。

1.粗品進呈　掲載の分には粗品呈上します。

1.とく名　とく名希望の場合はその旨明記のこと。

南海電鉄沿線住宅設計コンクール入選者発表



審査風景

日本建築学会昭和37年度設計競技課題

「アパート（工業化を目指した）」

全国入選一覧　　1963年3月8日

等級		氏名	勤務先	所属支部
1等		大江　幸弘	大阪建築事	近畿
		藤田　昌美	大阪建築事	近畿
2等	1席	多賀　修三	中央鉄骨工事	東海
	2席	青木　健	九州大学院	九州
		桑本　洋	九州大学院	九州
		鈴木　雅夫	九州大学院	九州
		弘永　直康	九州大学院	九州
		古野　強	九州大学院	九州
3等	1席	大沢　辰夫	日本住宅公団	関東
	2席	茂木　謙悟	九　　大	九州
		柴田　弘光	九大大学院	九州
		岩尾　襄	九大大学院	九州
	3席	高橋　博久	名古屋工大	東海
佳作		高田　英夫	声原義信設計研	関東
		遠藤　弘子	前川国男建築事	関東
		高宮　真介	大林組東京支社	関東
		田中　泰夫	佐藤兄弟建築事	関東
		荒瀬　巌	東畑建築事	近畿

南海電鉄沿線に建つ新住宅設計コンクール入選者発表

主催：南海電鉄KK，後援：日本建築協会住宅委員会でかねて募集中の標記コンクールの入選者が3月23日審査の結果きまりましたので，報告いたします。

入選　8名			佳作　10名		
A地区	細田　昭三	（名古屋市）	A地区	山敷　敏雄	（大阪府堺市）
〃	柳ケ瀬教介	（大阪市）	B地区	畑中　康	（千葉県）
B地区	福島　勲	（東京都）	C地区	永島　馨	（東京都）
〃	佐野　幸夫	（東京都）	D地区	清田美佐子	（東京都）
C地区	藤本　武男	（東京都）	〃	林　賢次郎	（東京都）
E地区	十亀　博昭	（大阪市）	E地区	城所　宏	（川崎市）
F地区	仲井　忠雄	（神戸市）	F地区	清水　欣哉	（〃）
G地区	海野　早男	（横浜市）	H地区	斎藤日出樹	（川崎市）
H地区	小倉　一彦	（〃）	〃	内田　実	（東京都）

審査経過： 全国各地より1818名の応募登録がされ，517 通という多数の応募作品があり，力作も多く，本企画に対するなみなみならぬ関心を痛感いたしました。応募者各位の御努力に対し深く敬意を表します。

各建設敷地別に，あらかじめ応募が区分されているため，審査に当っては原則としてできる限りそれぞれ入選および佳作を選ぶこととし，まづ各敷地別に優秀作品をとりまとめたのち，総合的に慎重審査の結果，上記の通り入選8点，佳作10点を選出いたしました。結果において，各地区の入選および佳作点数は同一ではなくなりましたが，これは例えば面積，工費などの設計要件への適否，各敷地別の優秀作品の相互比較，設計構想の非凡の有無等の点を検討のうえ決定したものであります。なお佳作点数は募集当初5点を予定しておりましたが，審査に伴い10点に増加されたことを付記いたします。

審査の進行について協力された南海電鉄住宅開発部ならびに協会住宅委員会に謝意を表します。　　（審査委員会委員長　佐野正一）

「建築工事の機械化」講演会　　本会後援

主催：社団法人　日本建設機械化協会関西支部

1. 日　時：昭和38年4月19日（金）　9.00～17.00
2. 場　所：大阪商工会議所講堂（大阪市北区堂島西一丁目）
3. 講　師：日本建設機械化協会関西支部長　吉川　吉三氏
   鹿島建設(株)建築工務部技師長　野平　　忠氏
   (株)大林組研究室長　菅田　豊重氏
   (株)竹中工務店技術部長　北山二十三氏
   建設省建築研究所長　平賀　謙一氏
   大成建設(株)研究部長　三浦　忠雄氏
4. 聴講料：(イ)会員および協賛団体の会員は金900円也
5. 申込先：大阪市東区谷町1—50　（大手前建設会館内）　日本建設機械化協会関西支部
   （電話(941)8845番）



営業品目
▶波型石綿スレート・大波・小波・大平板
▶厚型スレート
▶関西石綿煙突・普通品・特製品・火口用
▶メタルラス・リブラス　（日米ラス）

日本工業標準規格　No. 161厚型スレート
〃　No.6500波型スレート
法定不燃材認定番号　No.5009

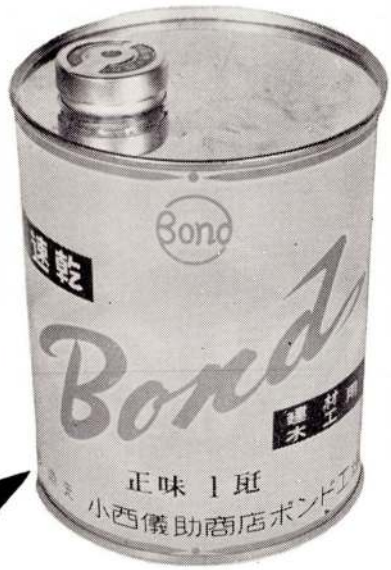
関西スレート株式会社

本社・工場　尼崎市尾浜字竹原３５０
電話大阪（481）8847～9・7310
営業所　東京・三島・名古屋・高松・広島

Bond

☆プレス可能の場合はボンドCHをあわせ御使用下さい。

10分間で完全接着



速乾性接着剤の決定版
〈ボンドG10新発売〉

〈速乾性ボンドG10〉は■合成ゴムを主成分とした溶液型接着剤で■塗布後の乾きが特に早く■その上初期粘着力が強く粘着保持時間が長いので■作業効率がグーンとよく、使い易くなりました。
〈速乾性ボンドG10〉は建材及び木工用として■特にメラミン化粧板・プラスチックス・スレート・金属板等と木材の接着にその効果を発揮します。

株式会社小西儀助商店ボンド工場

ボンド

大阪市東区道修町2の6　TEL (231) 2047
東京都中央区日本橋本町3の1　TEL (241) 5524

三星の床材

ソフトンタイル

株式会社　木下謹三商店
大阪市西区江戸堀南通5ノ35
電話 (441) 5408・5486

株式会社　久保商店
大阪市北区真砂町5
電話 (341) 0207～8・4836～7

三友工業株式会社大阪支店
大阪市西区南堀江大通1の19　電話 (541) 6161～4

合名会社　利倉幸商店
大阪市南区長堀橋筋2ノ20 (道頓堀電停前)
電話 (211) 0571　4
京都営業所　京都市中京区河原町夷川下ル　電話 ㉓ 3299

和泉産業株式会社
大阪市南区日本橋筋2ノ36
電話 (632) 0121～4

石井建材有限会社
神戸市兵庫区荒田町1
電話 ⑤ 2697・2140

タテバヤシ商店
京都市下京区大宮通四条下ル
電話 ㉞ 4468・㊶ 0871～2

岡田建材株式会社
名古屋市西区桜木町3－8　電話 ㊼ 7461～3

株式会社　名建商会
名古屋市中区宮出町41ノ2
電話 ㉔ 1329・2106・2817

日東物産株式会社
本社・名古屋市中区東瓦町39　電話 ㉔ 6176～9
岐阜出張所・岐阜市竹屋町27　電話 ③ 2201・2360

青盛建材株式会社
本社・広島市鉄砲町108　電話 ② 2281～6
岡山・岡山市東田町3　電話 ② 7911・8169
福岡・福岡市万行寺前町14　電話 ② 5566～8
③ 1225～6

関西三星タイル会員

自然の光を
そのまま室内へ…



アクリドーム

アクリドームは、自然の光をやわらかく室内に導き入れます。
アクリドームは、強くて軽く、耐候性に富んでいます。
アクリドームは、付属金具とセットの規格品で、広範囲にご利用いただいております。

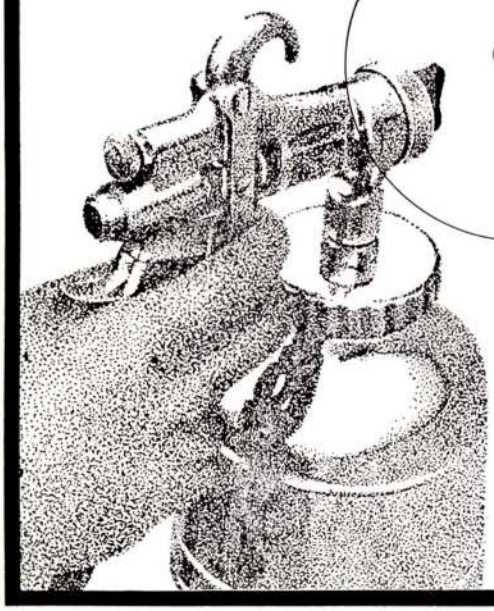
三菱レイヨン株式会社

本　　社　東京都中央区京橋２の８（新光ビル）　電話（281）5551（大代）
大阪支店　大阪市北区中之島２の２２（新朝日ビル）　電話（202）2241（大代）
名古屋支店　名古屋市中村区堀内町4の1（毎日名古屋会館）　電話（55）7131（代）

新発売

New Type

Soft



室内や廊下をソフトな感覚で包む新タイプのゾラコートソフトを新設計にご採用下さいソフトタッチの落着いた環境をつくりだします

ゾラコートソフト

関西ペイント株式会社
大阪市東区伏見町５・東京都中央区宝町３
● 色見本付型録ご希望の方は当社宣伝課Z係まで

建築と社会

1963年・第44集・4月号・目次

ARCHITECTURE & COMMUNITY ©　　レクリェーション特集 4

作品作風　大阪メディカルセンター……設計 日建設計工務株式会社……11
施工 不二建設株式会社

建築の眼　担当50音順：上田 宏二・島田 勝次・滝本 安規・田中 孝司……16

本文

[1]レクリェーションの今日と明日

都市生活とレクリェーション——その現状と将来——……林 実……17
大阪1999……MON同人……20

[2]国民レクリェーションの制度と施設

2－1 ソーシアルツーリズム

ソーシアルツーリズムとユースホステル……林 幸二郎……32
「国民大衆旅行」推進の一翼をになう国民休暇村……前野淳一郎……35
修学旅行施設（旅館）への夢……秋田 貞男……39

2－2 スポーツレクリェーション

スポーツの社会学……飯野 節夫……41
スポーツ施設の種類と発展方向……西田 泰介……44

[3]レジャー産業とレクリェーション（グラフイック・ルポ）

大阪のキタとミナミ……チェックの会……49
観光地ルポ・白浜……小島 将志・鈴木 茂……55

[4]観光開発と随想

久美浜観光開発計画……大久保昌一・湯川 利和……60
山の観光地開発——ドライヴウエー批判——……天城 三郎……66
フインランドの休日と余暇……タピオ・ペリアイネン……68

[5]資料紹介　ふたつの国民レクリェーション実態調査
「全国旅行実態調査報告」「スポーツに関する世論調査報告」…三村 浩史……72

会員の頁……74

近代建築調査委員会報告 40

旧長浜駅駅舎……近藤 豊……75

職人シリーズ　第4回・数寄屋師（笛吹嘉一郎氏）……中村 昌生……78

技術の頁　6. 施工部門：切梁材のない地下工法……金田 宏……79
7. 構造部門：大型鋼管を用いた高層建築の柱……山田 稔……83

アンケート　「建築と社会」アンケート結果報告……85

会報　（2月分）……87

表紙デザイン：表紙デザイン小委員会・SMデザイングループ

売価　1部 180円・送料共

昭和38年4月20日印刷　昭和38年4月25日発行

編集人 松井 昭光

発行所　社団法人 日本建築協会　大阪市東区北浜3丁目37
電話大阪㊇9648・9649・9640番　振替口座大阪39975番

発行人 沖田 誠一

印刷所　株式会社 研文社　大阪市北区堂山町66　電話㊇2091～3番

印刷者 岩野 栄

建物の洗ひと管理の店

住宅美素工事の創始者

- ビルディングの洗浄工事
- 木造建築洗浄・美素仕上工事
- ビルディングの清掃・一般管理

（登録商標）

美素工業所（株）
美素建物管理（株）

本　社　大阪市東区瓦町　三和ビル
電話（231）5888・4938
営業所　大阪市東区本町二丁目五
電話（261）4070・4079・617

ヨーギヨーセメント

大阪窯業セメント株式会社

本　社　大阪市北区堂島浜通1丁目25 新大ビル内
東京支店　東京都千代田区丸の内 郵船ビル内
名古屋支店　名古屋市中村区 住友銀行 名古屋駅前支店 ビル内
工　場　大　阪・伊　吹・高　知・横　浜



1. 外　　観

外装：擬石塗小叩
　スチールサッシ
　上層壁は化粧ＰＳコンクリート版
レリーフ：ブロンズ製
　顕陽偶（野崎一良作）

大阪メディカルセンター

設　計　日建設計工務株式会社
施　工　不二建設株式会社

大阪メディカルセンター

設　　計	日建設計工務株式会社
施　　工	不二建設株式会社
電気工事	中央電気工業株式会社
衛生・空調	株式会社　朝日工業社



2

2.　検査室出入口

3.　会館出入口

階段：みかげ石
壁：外国産大理石



3

所在地	大阪市天王寺区上本町三丁目33
規　模	地下1階，中地階，地上4階，一部5階 鉄筋コンクリート構造 遠心力鉄筋コンクリート中空杭打
面　積	R　階　66 m²
	5　〃　80
	4　〃　588
	3　〃　577
	2　〃　535
	1　〃　465
	中地〃　196
	地　階　587
	合　計　3,094m²
延面積	3,094 m²
建築面積	591 m²
高　さ	1階床高　SGL＋2.350m
	軒　高　〃　20.950m
	最高部高　〃　24.750m
工　期	昭和37年4月～38年3月



4

大阪メディカルセンター

4. 講　堂　（4階）
天井：ミネラートン
壁：練ベニヤパネル貼（ニレ）
床：リノタイル
正面ステージ大扉を開くと映写スクリーンとなる

■ 設計者のことば

この建築は，いわゆる〝医師会館〟と開業医の検査部門強化のため医師会と大阪市がタイアップして活動する〝オープンシステムの臨床検査室〟からなっている。

敷地の条件を考察して

- 前面道路の喧噪から室内空間を守る問題
- 敷地東半分に残された旧館との総合計画
- アプローチ，特に自動車利用者の導入方法

などを主な命題としてとり上げ，計画に当った。

建物中心部に設備（便所，湯沸，ダクトなど）を集中し，日型に耐震壁を設けて梁間を極力大きくとり，効率の高い自由な空間をえることにより，明日に備えると同時に，厳しい収容人員，予算の要求に応じた。旧館一階はパーキングスペースに改造し，さらに新館中地階と結んでスムースな導入を計った。また新しい試みとして，工場で仕上げられたＰＳコンクリート板を外壁に取付けた。表現としては，コンクリートの色相，材料感を主調とし，内部空間の機能を外観にまでおよぼして構成した。

最後に，終始積極的に支えていただいた医師会，大阪市の方々，短い工期をよく克服していただいた建設関係の方々に深く感謝いたします。



5



6

大阪メディカルセンター

設　　計　日建設計工務株式会社
施　　工　不二建設株式会社
電気工事　中央電気工業株式会社
衛生・空調　株式会社 朝日工業社

5. 談話室（3階）
天井：布貼
壁：白ラワンフローリング
床：ナイアンリノタイル

6. 談話室（3階）
天井：白ラワンフローリング
壁：打放コンクリート
白ラワンフローリング
床：ナイアンリノタイル

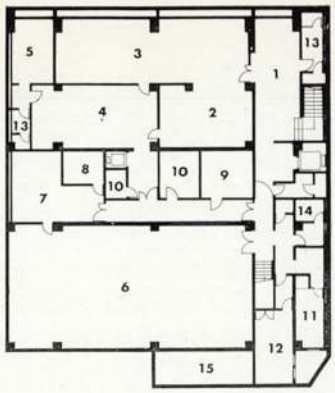
施工者のことば

不二建設株式会社　山口　吾郎

大阪メデイカルセンターの施工に当りましては，設計事務所の意図に対しまったく忠実に工事を完遂させていただきましたにすぎません。予定された期限にも十分間にあいましたことは現場指導が，行届いていた原因だと信じます。とくに施主側はまったく善意に満ちた協力をしていただき，作業員一同の意気に対し常に激励を与えられたことを心より感謝申上げる次第であります。私どもといたしましては，まったく光栄ある仕事でありまして，全大阪府および大阪市の医師の方々のご利用になる殿堂の施工のご用命を承り感謝と感激を持ちながら終始しました。先に大阪府歯科医師会の殿堂を完成させていただき，引続きここに大阪府医師会のメディカルセンターを竣功するにおよび，これにて全大阪の各医師の方々に関連を持ち得ましたことは私どもの最大の喜びでございます。工事業者も偶然にも各付帯設備業者ともどもライオンズクラブの所属者で構成され奉仕の精神を貫き得ましたことは，満足の至りでございます。この施設が今後十分活用され満足な成果が得られる日を期待しています。

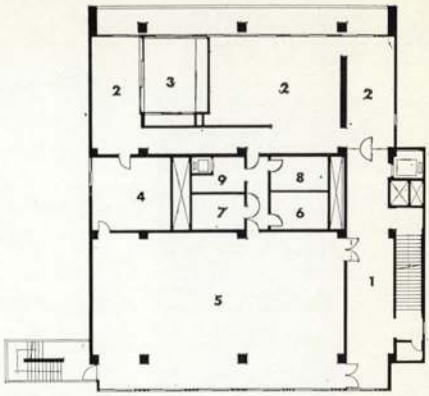
地　階

1. ホール
2. 喫茶室
3. 食堂
4. 厨房
5. 厨房事務室
6. 機械室
7. 電気室
8. 電池室
9. 焼却室
10. 倉庫
11. 宿直室
12. 更衣室
13. 便所
14. 浴室
15. 油槽室



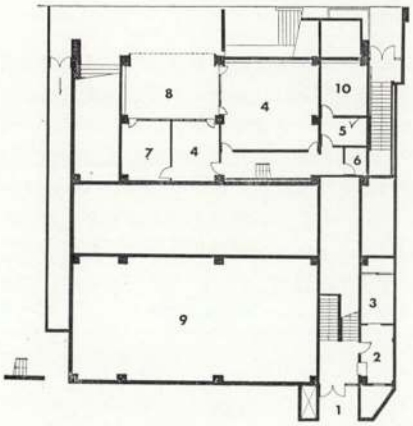
3　階

1. ロビー
2. 談話室
3. 和室
4. 図書室兼控室
5. 大会議室
6. 湯沸室
7. 倉庫
8. 女子便所
9. 男子便所



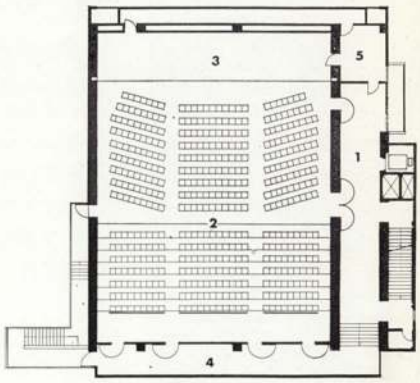
中地階

1. パーキングスペースからの入口
2. 守衛室
3. 宿直室
4. 事務室
5. 印刷室
6. 湯沸室
7. 電話交換室
8. パーキングスペース
9. 機械室上部
10. 倉庫



4　階

1. ロビー
2. 講堂（460席）
3. ステージ
4. 廊下
5. 控室



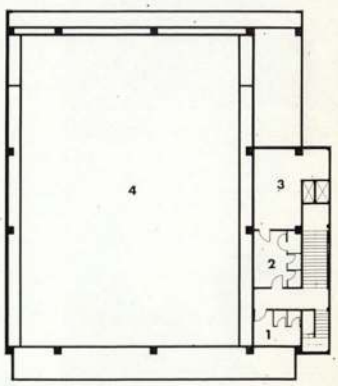
1　階

1. 検査室出入口
2. 会館出入口
3. ロビー
4. 事務室
5. 展示室
6. 心電図室
7. 金庫
8. 医局
9. 医療相談室
10. 断層撮影室
11. 撮影室
12. 暗室
13. 待合
14. 診療室
15. 食堂出入口
16. クローク
17. 女子便所
18. 男子便所
19. 植込



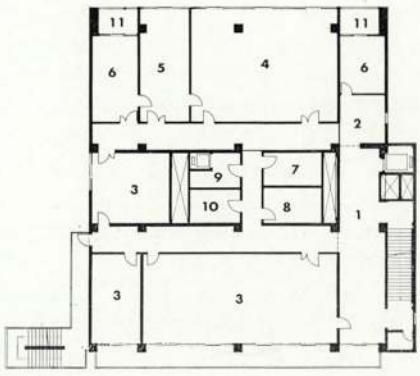
5　階

1. 女子便所
2. 男子便所
3. 水槽室・エレベータ機械室
4. 講堂上部



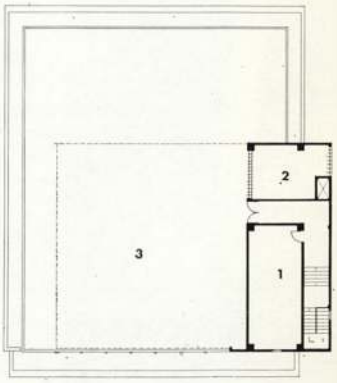
2　階

1. ロビー
2. 受付
3. 会議室
4. 役員室
5. 会長室
6. 応接室
7. 女子便所
8. 男子便所
9. 湯沸室
10. 倉庫
11. バルコニー



屋　階

1. 空調機械室
2. クーリングタワー
3. ゴルフ練習場



建築の眼



担当：上田宏二
島田勝次
滝本安規
田中孝司

本号と次号は左記の執筆者が担当します

■ 写真と言葉

建築雑誌や建築図書にはあじわいのある建築写真が豊富に入っていて，われわれの目を楽しませ，身近かに建築を伝えてくれるのでありがたい。しかし写真で知った建物を見学して，意外にその印象とは違った実感をうけることが多い。

また「淀どの日記」や「新平家物語」などの歴史小説を読んで，当時の街なり建物なりを視覚的にイメージできたが，こういう実感は建築史をひもといたり，歴史的建物を見学しても得られないものであった。

どうも「百聞は一見に如かず」とも「百見は一聞に如かず」とも言えそうで，建築を把握し伝達することはまことにむつかしい。しかし建築はものを通して生活空間をつくることであり，そこでこそ生きている。だから写真効果をねらったり，建築を抽象的な言葉に置き換えたりする姿勢は当然本筋ではなく，写真や言葉にこだわらずにのびのびと建築活動を続けて行くべきであろう。 (SK)

■ プレハブ住宅行政

量産住宅が脚光を浴び始めているのは，住宅建設が緊急の社会的要請であることの必然的な成りゆきであるが，行政面では技術的分野に対する措置が逐次進められている他は融資，補助などの公的な援助はほとんど従前のままである。しかしながら，目下のプレハブ住宅が直面しているコストダウン，製作精度の向上などの根本的な諸問題は，結局はある一定量の需要確保の見通しと資金的な裏付けがどこまで可能かという企業的な条件に大きくかかっている。 すなわち，モデュールを含めたひとつの定型を生み出すまでの試作援助，工業化試験に対する補助，コンスタントな需要獲得に対する援助などについて政府の財政措置が極めて必要であろう。建築生産近代化の一環としてプレハブ住宅に対する行政措置が主として技術指導の次元に留まり，プレハブの企業的な成否という大きなカケの重荷がプレハブ関係業者のみにしわ寄せされている限り，プレハブ住宅開発の真の発展はなかなか困難であろう。 (TT)

■ 建築家の自覚

人間何が大切といって自分の命ほど大切なものはない。その命の存否に直接手を下す医師は患者に全面的に信頼されねばならない。また彼ら自身その責務の重大さをよく認識している。それに比してわれわれの仕事ははるかに気の楽なもののように思われている。しかし原始人類の生命を保護するアブリとして発生した建築は，複雑な現代においても，本質的にはその同じ目的のために建設されている。厖大な資本を投じて建てられる現代建築は数十人，数百人の生命活動を保障し規制する。しかもその多くは人の一生に比してはるかに長い期間存続する。かかる価値水準の高い建築が製図室におけるわれわれの引く線一本で，現場における即断一つで生かされもしまた死にもする。けだし，われわれの職責もまたはなはだ重大であることを思い知らされる。かくも貴重な仕事をわれわれは目先のことにこだわり，つまらぬ意地張り，虚栄，間に合せなどで片付けてしまうことがありはしないか。施主に信頼されうる建築家の自覚が欲しいと思う。 (TY)

■ 天災か人災か

わが国は災害の多い国である。雨が降れば川は氾濫し，雪が降れば交通は遮断される。最近超高層ビルについて新聞や雑誌面をにぎわしているが，これも日本の経済成長が欧米並みにエネルギーを蓄積し得た結果だとたのもしい限りである。建築学会でも建設省の要請で超高層ビル実現の可能性を検討して答申したと聞いている。世間一般にはわが国が世界有数の地震国であるために，技術的に絶対に高い建物は建たないように印象づけられている。これが大きな衝害となっていることも事実であるが，現実の問題はわれわれの都市自体にあることが明確になってきている。 自然科学の一分野である工学の定義は別として，工学はその時代の文化経済の発展に貢献するものでなくてはならない。しかももっとも経済的にその可能性を追及しなければならない。現実の都市の混乱は過去の都市計画に対する政治的無計画性からきた結果であろう。

世論の求める場所に理想とする高い建物が建たないとすれば，これは地震国だからあきらめよとすましておられるものだろうか，それは天災だからと。 (UK)

特別広告載掲業者目次

（順不同）

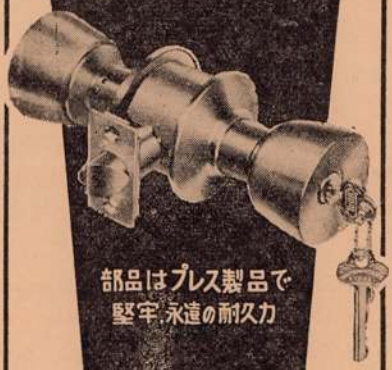
昭和38年4月号

◀大阪メディカルセンター関係

不二建設KK……作品頁
KK高島屋装飾部……Ⅰ
中央電気工業KK……Ⅰ
本田工業KK……Ⅱ
KK朝日工業社……Ⅱ
大鳥機工KK……Ⅲ
関西タイル商会……Ⅲ
大光電機KK……Ⅲ

玄関
GOAL
事務所
間仕切に.

近代建築には
ゴール
ユニロック



部品はプレス製品で
堅牢,永遠の耐久力

新製品
ゴールのホープ
ユニ-P
簡単な取付
手頃な価格

扉錠の専門メーカー
株式會社 谷山製作所

本社・工場　大阪市東淀川区三津屋北町4-44
電話（302）代1771～5
東京営業所　東京都港区芝汐留13－5
電話（581）7345・（431）3742
名古屋営業所　名古屋市中区大池町3－6
電話（24）代9281・9744



会長室

家具・窓掛・敷物工事　株式会社　高　島　屋　装　飾　部

大阪メディカルセンター

大ホール照明設備　中　央　電　気　工　業　株　式　会　社





鈴木式　防火シヤッタアー
　　リンクグリルシヤタア

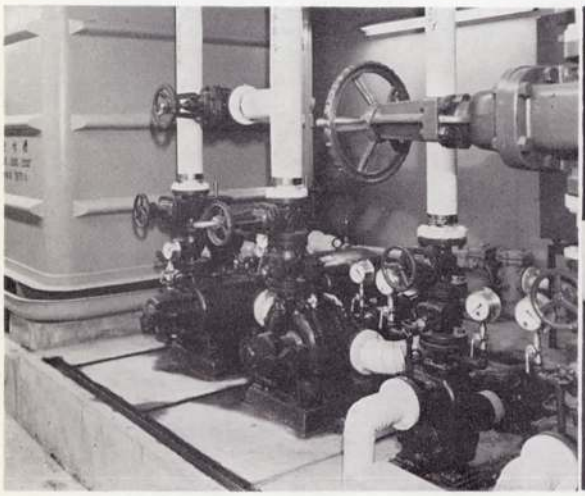
本　田　工　業　株　式　会　社
大阪市北区芝田町65（梅田商工中金ビル）
電話　大阪　（341）　0831（代表）

大阪メディカルセンター

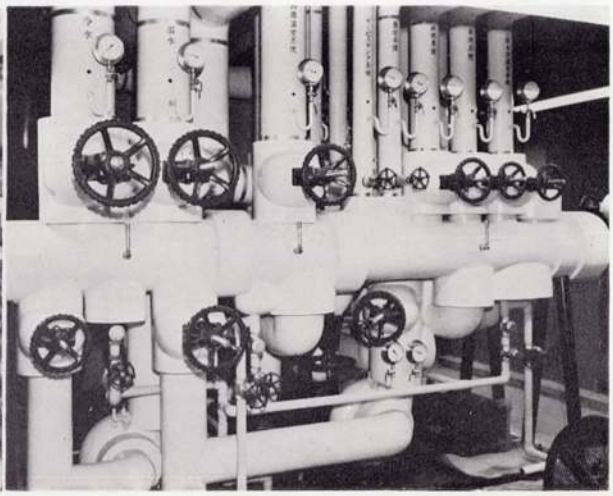
空気調和設備ならびに給排水衛生設備工事

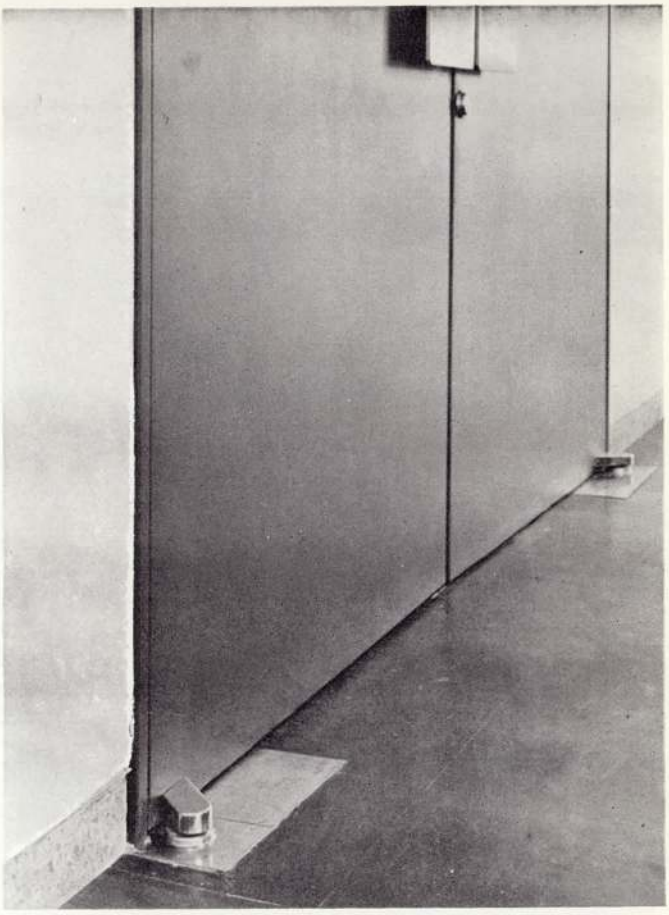
株式会社　朝　日　工　業　社

給排水設備用ポンプならびに受水槽



空気調和設備用冷温水ヘッダー





全館ダイヤモンド印
フロアーヒンヂ使用

大　鳥　機　工　株　式　会　社



陶磁タイル・マーベロン

関　西　タ　イ　ル　商　会
TEL (361) 5 5 7 8

照　　明

大　光　電　機　株　式　会　社

特集 レクリエーション

1 レクリェーションの今日と明日

2 国民レクリェーションの制度と施設

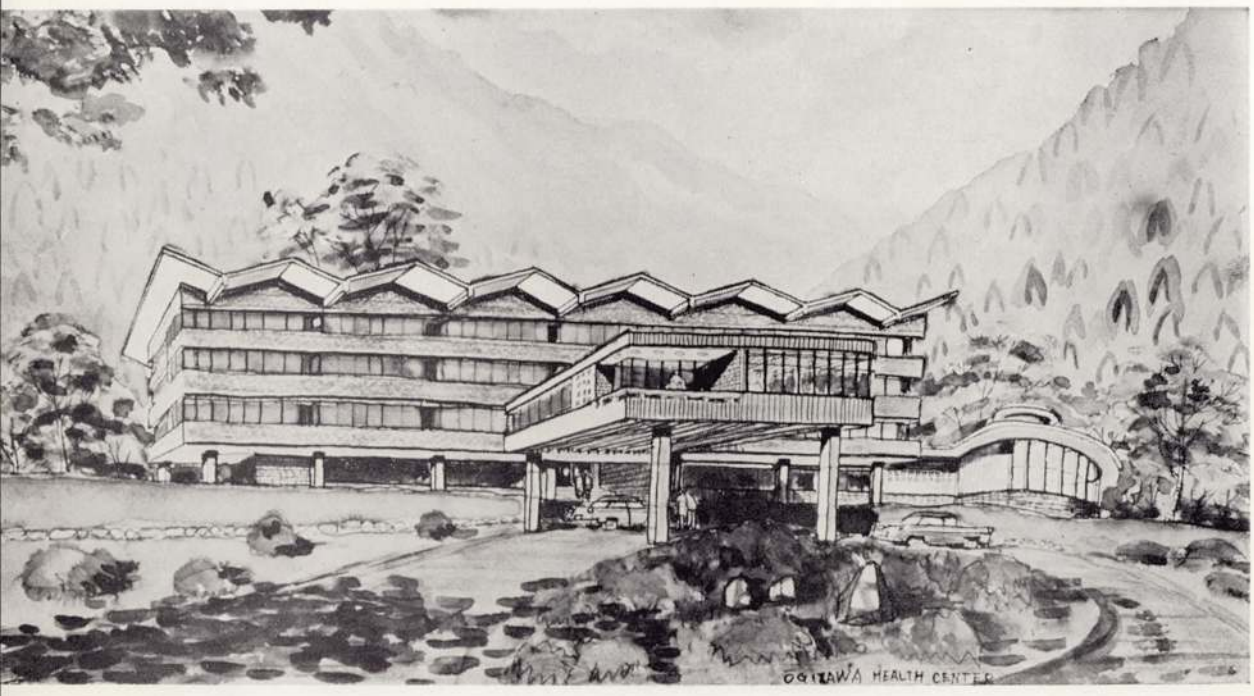
ソーシアルツーリズム

スポーツレクリェーション

3 レジア産業とレクリェーション

4 観光開発と随想

扉スケッチ：大久保昌一



1 レクリエーションの今日と明日

都市生活とレクリエーション —その現状と将来—

経済企画庁専門調査員
林　　寛

消費生活のなかのどの範囲をレクリエーションと呼んでいるのか，どうも，もうひとつ，わからない。
これは，人によってちがうし，たとえば，そうかと思えば，わたくし自身，ときによって巾をかえて，この言葉を使っている。

- 消費
  - 用事
    - 普通の家事
    - 買物
    - 冠婚葬祭
    - 社交
  - 参拝
  - 求知
  - レクリエーション
    - 必需的消費の超過的遂行
    - 体育
    - 娯楽
  - 必需的消費
    - 食，衣，排せつ，眠，休養，洗身
    - 性
    - 療養

こういう分類表のようなものをつくって，レクリエーションとは，この範囲だと規定してみはしてみても，とうとう「消費」の全部にまで，レクリエーションという言葉は，広がっていきそうな気もする。

しかし，今日のところ，レクリエーションとは，この表でいっているレクリエーションの範囲として考えを進めてみよう。

それならば，ここでいうレクリエーションの範囲で，現在までのところ，具体的には，どんなことをすることがあるのか。

食：　ごちそうを，ゆっくり，たらふく，食べる。
衣：　美粧，美装する。
眠：　十分に眠る。
休養：　ゆっくり休養する。
洗身：　入浴を楽しむ。
性：　遊戯として，性愛を楽しむ。
体育：　体操，ボディービル，スポーツ各種を行なう
娯楽：　芸術を見聞する，美術を自から行なう。
　　ゲームをみる，ゲームを自から行なう。

こんなふうなイメージが浮かんできそうである。これらをひとまず肯定しておこう。

レクリエーションを，人は，なんのためにそうするかについて，いろいろの意見がある。レクリエーションの定義を，きりつめていくとき「休養，娯楽」だけが，最後まで残る。その場合，レクリエーションとは「気分転換」を目的としていると考えられるようである。しかし，また，レクリエーションの巾を拡大していくと，そのズーミングに伴なって，いろいろの要素が入ってきてつまるところ「消費一般」となり，そのことは「労働力の育成」「人づくり」を目的としているといったことになる。上記の中角度の場合，レクリエーションとは「人生をエンジョイすること」ぐらいか。

そこで，つぎにいこう。
どの巾のレクリエーションにせよ，レクリエーションに共通な「やり方」がある。それは，第一段階で人間をもみくちゃにし，ゆすぶり，バラバラにすることであり，第二段階で，静かに，標準的なものに摑まらせ，感動させることであり，第三段階で，そのまま深い眠りに入れることである。やがて目覚めたとき，その人間は，新鮮でよく調整されて力のみなぎったものとなっている。

都市生活は，とくにどういうレクリエーションを求めるのか。
気分転換としては，「労働密度」の高さからくるストレスをレクリエートすることである。
ところで，現代日本の都市生活では，環境の不潔さ，不整頓さ，混雑さ，反自然さからくるストレスをアジャストするためにレクリエーションが必要だというもうひとつの課題がある。
人によっては，こういう。つまり現実の日本都市は，そうよくなるものではないので，その変りを，レクリエーションでのカバーに求めるといういき方を拡大すべき

だ。ボクはこれに反対である。都市のできの悪さは都市のつくりなおしによって解決すべきであって，レクリェーションによってなすべきでない。

ちょうど，いつもたべる食物には毒が入っているから，毒けしをもっと大量に生産供給すべきだといってるみたいだ。それよりも，毒のない食物をつくることがさきじゃないか。ところで，食物の毒をなくすことの方が，毒けしをつくることよりも，大変に骨が折れるから，まづ，さきに毒けし製造に力を入れろというのであるならばややわかる。

都市の改造には大変骨が折れるから，まづ，レクリェーションの方で対応療法を工夫しておけというわけである。が，まあ，多年あきらめきってきた日本の都市屋たちに対して，建設技術と財政が，都市計画を急角度に強いものとしはじめそうな気配をみせているようだ。そこで，都市改造について，少しは，つよいことも考えてみたい。

都市生活であるがために必要とするようなレクリェーションなどというものがあることは，本当は都市の恥であると思う。都市のできが悪いのだ。

「不潔」，「不整頓」，「混乱」などは原始都市のペルソナである。「反自然」などは，前科学都市のペルソナである。都市生活であるがゆえに必要だというレクリェーションについて，同情を感じようと思わない。

エア・ポリ，騒音防止，建築線，建築物外観の整頓，屋外広告物規制，緑化などは当然のこととして，徹底すべきもの。

労働密度がますます高まることは都市生活に限らない。で，あるから，労働密度のゆえのレクリェーションを以って，今後の都市レクリェーションの本質云々というのではない。今後の都市レクリェーションの中心課題がそうなっていくべきだというのである。

そこで，つぎにいこう。

現在の都市生活にあってのレクリェーションは，デコボコした，いやらしく，いい加減なものであることを述べていても与えられた紙数がすぐなくなってしまおう。むしろ，将来，都市生活にとっては，レクリェーションはどういう方向にころがっていくだろうといった予想のような仕事をした方がいい。将来について，わたくしなりのイメージを点描しよう。

ヘルスセンター

1960年前後にあったような，いい加減なものとはちがって，まづ，朝，起床後，寝間着の上にガウンでもはおってでかけていく。摂氏25度，湿度55%の室内でクルクルとはだかになると，そのままシャワーへ。シャワーはきちんと目盛りの温度どおりの湯がでる。

壁からハブラシを一本抜きとると，シャワーをあびながら口にくわえる。ハブラシにはハミガキ薬があらかじめくっついている。

足で台を踏むと上からシャンプーが降ってくる。

シャワーだけでなく，もっとあたたまりたいときは風呂もある。

最後に熱風室（40°C）に入って天井からぶら下っている大タオルを一枚引きおとして，掃きながら乾かすと15秒で全身が乾く。

更衣室ではめいめいの身体の各所の寸法をパンチしたカードをコンピューターにさしこんで，ほしい種類の衣料のボタンを押すと，15秒以内に一揃いでてくる。

人々は，下着や普段着は自分でもっている必要はない。自分でもっているのは晴着だけである。

それから，Polish Room へ入って，椅子に腰を下ろすと，理髪，美顔，マニキュア，足の爪切り，靴磨きが，すべて3分間で終る。

後は，ヘルスセンターの食堂で食事をしてもいいし，家に帰ってやってもいい。

夕方，職場から帰ると，まづ，ヘルスセンターへいく

今度は，まづ，ボデイビルへいき，ギッコン・バッタンやって一汗流し，それから，入浴，更衣ということになる。

孤独屋（ローンリー・ルーム）

そこへいくと，完全にひとりっきりにしてくれる，そういうサービスを売る店。

一室の面積　5 m²，

完全防音，無窓，

完全エア・コン，

壁面発光パネル，変色自在，明度自在，

机，リクライニング・シート，

一室に客一人しか入ることを許さない。

客が眠るときは，インターフォンでボーイに「起こしてもらう時刻」を告げ，ついで，ボタンを押せば誘睡音5分間。同時に気圧が1%だけ増加されて，呼吸を容易とする。

やがて，ボーイが起こしにくると，客が立ち上がるまで，見張っていてくれる。

静かに読書をするときは，椅子を起こして。

また，音楽を浴びたい，音楽のなかに入りたいときは，ボタンを押すと，ステレオがなりだす。

頭にうかんだことは，ボタンを押すと，壁のなかのマイクがこちらの小声を十分に採ってくれる。

もちろん，この施設は書き物をしたり，原稿録音のために使ってもいいが，第一義は睡りというレクリェーションのためにある。

だれでも自宅をでて最大限450m歩くうちにはヘルスセンターやローンリー・ルームにゆきあたる。

公共伽らん

何教の人も無神論者もそこへ入っていくと，ちょうど行事のない日の教会や国会議事堂のような具合にひっそりとしていて，大きな木の椅子があちらこちらに沢山あり，これに腰かけて何時間でも考えごとにふけることができる。

ここは，ローンリー・ルームとは，また異った佳さがある。心の奥底を洗うためにいい。

都市森林

だいたいにおいて，1960年前後まであったような，日本の都市公園という奇妙な存在は，しだいに影をひそめている。

変りに，ウィーンの森のような部厚い森林……一団地1 km² はあるような，そういうもの……が市街地のなかにポカリポカリとあるようになっていよう。

この森のド真中に200m平方ぐらいの芝生があるのが普通である。

市民は，ここで足をのばす。

スポーツ施設

1960年頃までは，スポーツとは，大衆にとって眺めるものであったのが，だれでも，クラブへ入れば，すぐにやれるようになっている。

都市でのスポーツ施設がグンと増えているからだ。

水泳，陸上，ボーリング，テニス……。

女性のために

1960年前後に，すでに発生している女性向き劇場，レストラン，喫茶店，ショッピング・センター等々はますます大規模なものとなっている。

旅行

旅行は，今後，市民生活にとって，ちょうど入浴のように必需化されてくるだろう。

労働密度の高さからくるストレスの深層部分は，旅行によらないと他のレクリェーションではとれないということが一般に知られている。

旅行は，1960年前後のようなストレス倍増効果をもたらすものではなくなっている。

法律にもとづく国民有給休暇旅行制度によって，国民はだれでも年間2～3週間の旅行にでかける義務がある。

また，いったん予約した乗物の座席，宿屋の部屋なども，これらをキャンセルするとき，あらかじめ，キャンセル保険に入っていれば，だれにも迷惑かけることなく，気安くキャンセルできるので，旅行の計画はまったく自由なものとなっている。

従来の国立公園，国定公園といったものは，今ではいづれも行って帰ってくるのに，4～5時間程度といった郊外公園の性格をもたされてしまっており，実は，その利用者には，外国人の方が多いといった姿に変っている。

日本人の多くは，もし旅行らしい旅行をしようと思うならば，海外にでることになっている。

マッハ3。500人乗りの航空機によれば，ロスアンゼルスへ，南極へ，ローマへ，いづれも片道3時間である。

酒色のたのしみ

どこの都会でも，デタラメのかぎりをつくした一角があった方がいい。ただし，警察力だけはいきわたりえるようにはじめから設計する。

失恋小路，合唱酒場，メリーゴーラウンド，ここでは環境からくるものでもない，労働密度からくるものでもない，もっと個人的な堆積からくるストレスを雲散する。

遊ぶところというものは，あっちの都市，こっちの都市に，ちょっぴりづつあっても面白くない。遊び場というものは，一団地1 km² づつはあってほしい。昔から日本をこめて，世界中の都市のいかなる種類のものにまれ，遊び場の団地が直径900m（8丁）の規模をもったとき，はじめて「味」をえているわけである。

また，このための勢力圏人口はおおよそ100万はなくてはならない。

これに遊びにくる人たちの片道時間距離の許容限度を45分とおさえると，1960年前後の交通事情をもってすれば，半径20kmを超えることを許されないが，将来は，都市間交通の高速化のおかげで，おおよそ，半径50kmまでの拡大を許されるだろう。

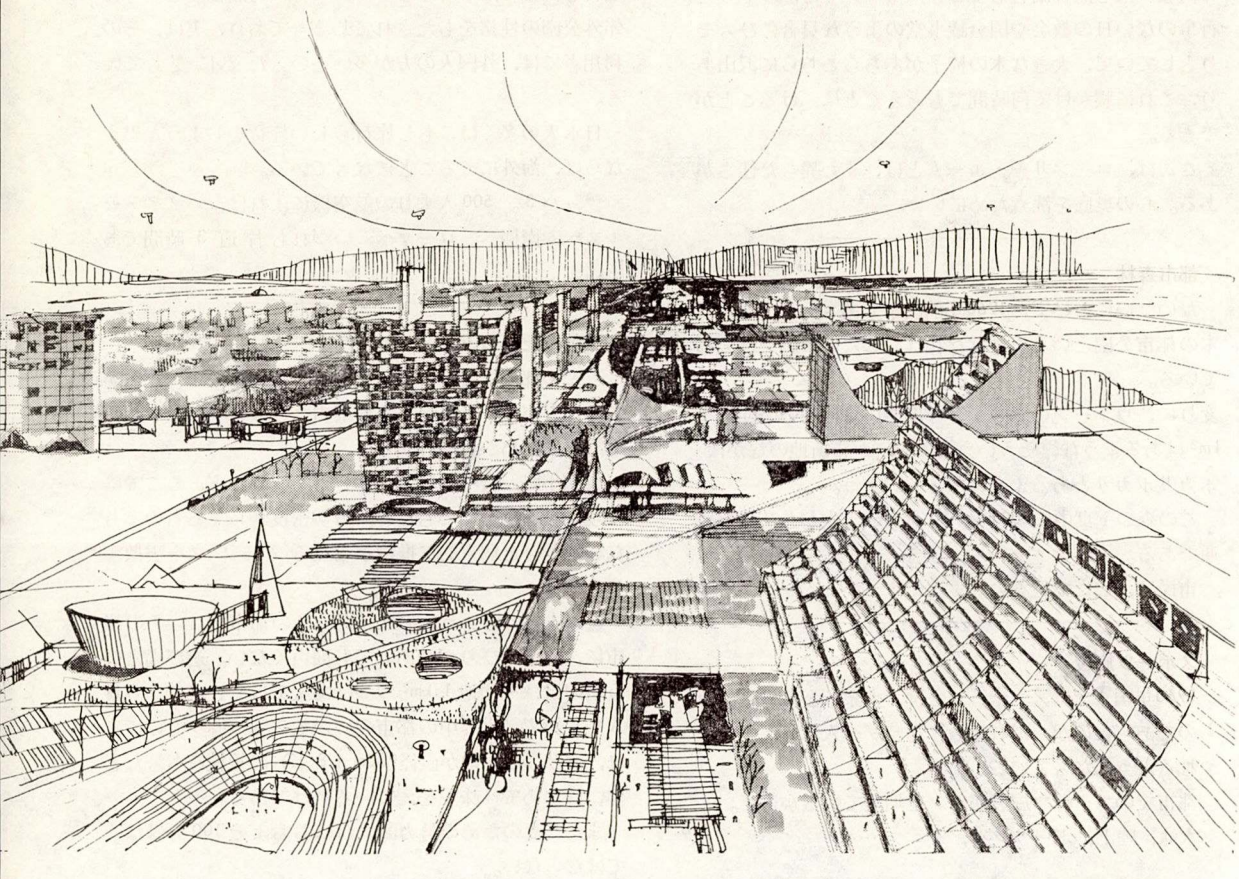
結果として，直径100km一円であるならば，全国大部分の場所で，常住人口100万をうることが可能である。

とにかく，自然地への旅行によって，都市民は太陽をよく吸収して帰ってくるだろう。

この場合，精進おとしがほしくないという仁は，インポである。思想堅固なるは別として，これも一つのストレスであって，そこで，都市の盛り場はできるだけ，たのしくしなければならない。

大　阪　1999

MON同人



まえがき―西田　隆雄
都市構成―大野木忠男
住　　宅―西田　隆雄
交　　通―湯川　利和
工　　業―中村　　年
レ ク リ―山本　　哲
あとがき―西田　隆雄

まえがき

編集子より「1999年のレクリ時代の大阪」というテーマで何かものにしてほしいというご依頼をうけ，われわれグループは，ここで何を語り，何を表現し，何を訴えるべきかと議論百出――結果，現時点を土台にして，1999年になれば，大阪の舞台はこんなに創られ，大道具（都市施設）も大巾に変るだろうというイメージを一夜の夢として，桜の花にうかれてご披露する次第です。

時代的背景

・赤旗を掲げた賃上げ斗争はみられない。「春斗」という言葉も，過去の言葉となる。賃金は人間が生きるための基本条件として平等に確保されるだろう。

・生活のリズムは古くから週・月・（四季）・年単位に考えられているが，週リズムは相当にくずれるだろう。すなわち，相対的時間の経過が速くなることを意味し——これは労働時間の短縮，余暇の増加に伴なう生活テンポ・振巾・生活の型の変化によってである今かりに昭和38年２月23日労働省の発表した昭和37年の労働実態を基にし，月平均一人の労働時間（超過勤務を含んで）が１時間づつ短縮されたと，非常に低く見積っても，1999年には，週40時間労働となる。（Fig.1）

・平日８時間労働と仮定すれば，土曜，日曜はまったくのフリータイムとなる。所得の増加と相まって，生活のテンポは速くなり，生活活動の振巾は大きく，さらに生活の型は多種多様となる。（Fig.2）

・こうした中での人間感情は，現在よりも，より個人に徹すると同時に地域集団としての民主的組織の形成をうながすだろう。更に数人のグループとして生活チームが編成されレクリ時代に適した社会集団形成をなすものと思われる。

・すなわち，一人一人が自分の労働生活をみつめながら，自分の精神的健康管理，エネルギーの再生蓄積を行なう，生活態度が充分身につき，1999年は生活革命の一応完了した時代である。



Fig.1. 労働時間推定

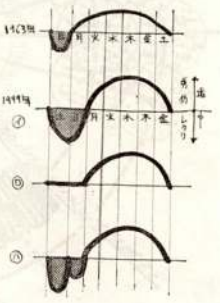


Fig.2 生活のサイクル

Fig,2 生活のサイクルの説明

・生活の周期は労働時間の短縮により早くなるだろう。

・振巾を仮に時間単位当りの生活行動係数(総生活行動距離/都市規模からみた標準行動距離/時間)とすれば，大きくダイナミックとなる。

・波型は生活のパターンとして表わされ，多種多様となる。（たとえば，(イ)(ロ)(ハ)……）

都市構成

＜コンビナート・エリア＞

重工業生産はかっては「臨海性」のものであった。今の日本ではその「大陸棚」の豊富さにものをいわせ，この大陸棚の海底に組まれた交通格子の交点に，角筒状の「多層工場」すなわち「生産ユニット」がセットされるという形をとっている。今やコンビナート・エリアはめまぐるしく変化してゆく技術体系にも，たえず順応してゆける。というのも「生産ユニット」をその時点の技術体系にあわせて，水中であるため容易に索引船と気球船の協力で別の交点に移動させうるからである。

これはまたダイヤモンドと通称されている。というのは，それがダイヤモンド結晶体のように六角形を基本形として有機的に結合され，相互に連契しあっているからである。

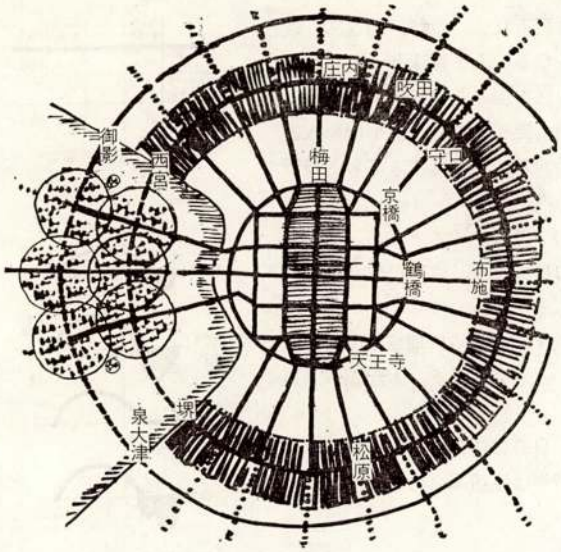
＜リング＞

コンビナート・エリアで生産された完成品や半製品は，60年代に大阪市と称されていたいわゆるインナーエリアを通らずに（インナーにとっては不要な通過交通である！）このリングにある自動化鉄道やオート・オートによって運ばれ，同じくこのリング内にある倉庫（仕分基点）や，軽工業基地に運ばれる。ここであるものは完成品になる。これらの半製品を含む製品は，インナーにある流通指令本部，すなわちマトリックス・センターの指令によってアウターや日本各地の必要に応じて鉄道やオートによって運ばれてゆく。

（アウターではオート・オートは未だ普及段階に達していない。）

またこのリングへはインナーに必要なコンビナート以外の製品（農漁製品を含む）もいったんここに運ばれてきて仕分され，インナーの各ブロックのオート・オート・ハーヴァ

ダイヤモンドリング模式図



オート・オート・アーテリー

リング

オートメ・リモートコントロールド・コンビナート

コミュニケーション・センター

へ運ばれてゆく。この運搬手段は，オート・オート・バン（ヘヴィー，ライト）である。仕分けもコンテナー単位でなされ，ほとんど自動化されていることはいうまでもない。

このリングが発明されるまでは，大阪のような「放射状＋格子状」都市構成ではダメである。「動物の背髄システムでなければならない！」とかいわれ，大ゲサに「構造改革を！」とか叫ばれたものであった。しかしこのリングの発明，オート・オートの導入（オートの追放！）は「古い！」といわれていた「放射状＋格子状」都市構成を生かしてくれたのであった。

このリングと大阪湾のコンビナートは「生産＋流通」の一つの体系をなしていることは今までの報告でおわかり願えたと思う。この体系を，あと数ヵ月で21世紀人になる「なにわっ子」たちは，おもしろおかしく「ダイヤモンド・リング」と呼んで，年に一度は家族や知人うちそろって，その壮大なメカニズムを見学にいき，相も変わらぬ，ダジャレをとばしている。

リングの外であるアウターではオート・オート・システムが普及していないため，そこからオートでやってきた連中は，このリングで「履きかえ」をやる。オートからオート・オートへのあるいは他の公共交通機関への「履きかえ」である。そのために，このリングは単に「玄関」とも呼ばれることがある。

＜インナー＞

ここインナーは，かって「専門的職種」といわれ尊重され，若ものたちのあこがれの的であった人たちの活動の場である。別のことばでいえば研究者や実務家の中のいわゆるスタッフである。いわゆるラインの仕事はほとんど「電子事務機器システム」が肩がわりしてくれているからである。この「自動ライン・システム」は，ここインナーのかってのグランド・レベルから十数メートル上の「歩行者デッキ」を支えている構造物に内蔵され，そのデッキより上で行われる精神的知的労働を支えてくれている。

「専門的職種」の人の活動の場であるといったが，決っして他の人たちを追い出すわけではない。実は99年には「専門的職種」以外の人はほとんど存在していない。ほとんどのものが「専門的職種」のものである。（真の意味で「豊か」であるこの社会では，ただものを売りつけるためにだけ，優秀な人材が駆りたてられるということもない。）

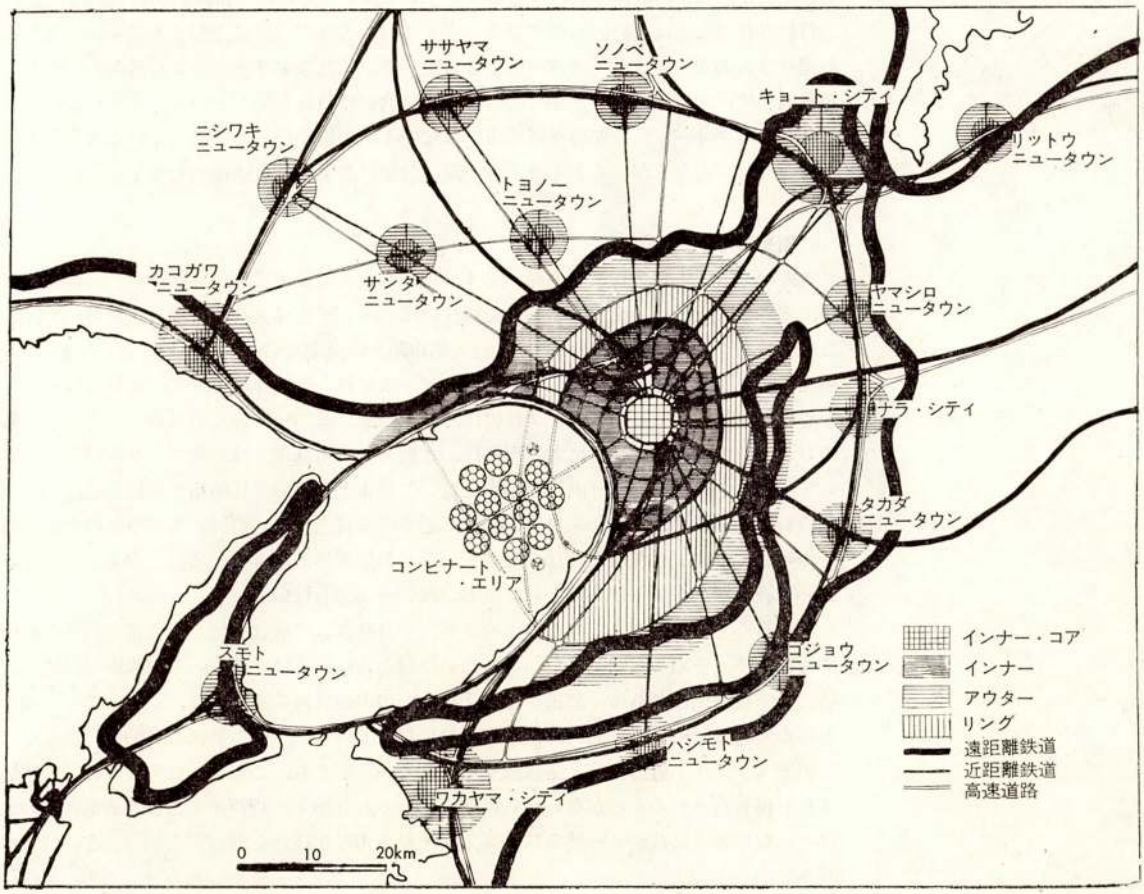
このため肉体的な消費が乏しくなりがちのためにたえず，知と肉体のアンバランスの危険がある。したがって，かなりの高密なこのインナーでも，一日の生活リズムの中での肉体消費の場を，つまりインナー・レクリ・エリアを必要としている。これは，より緊密な情報交換の場としてコンパクト性を要求されるインナーにとっては一つの矛盾した必要である。この矛盾した要求を両立させることが多年にわたって都市計画上の重要課題であった。ここでは労働の場を「高く積み重ねる」一方，レクリを単位スペース当り効率のよい卓球，排球，プール，ボーリングなどに限ることによってこの矛盾を解決している。アウターやリージョナル・レクリ・エリアではよりスペーシャスなレクリ要求が満たされることはいうまでもない。そのためインナーは週リズム，月リズムでそこへ人の波を送り出しているのである。季節ごとには他のリージョンへ。

またここインナーでは「工場」や「問屋」がなくなったために，またいっさいの生活妨害が存在しないため，実はもっとも快適な居住環境が創り出されている。ただコンパクトに収めるという要求が「庭つきの家」（それは今でも強い）がほしい人たちの要求を充分には満たしてやれないことはやはり悩みである。しかし住宅設計家たちは，できるだけ「庭つきの家」を建てる一方，高層住宅にも豊かな「バルコニー庭園」をもちこもうとして大きく精力を割いている。

インナーは情報交換の場である。大阪リージョンの諸需要の調査本部があり，生産・流通の指令本部がある。文化的，技術的，体系開発本部といわれるものは，もっとも大きい建物に入っている。芸術劇場，立体映画館も二，三にとどまらず，西日本におけるもっとも新しい試みはここ大阪のインナーでなされる。情報蓄積の場である図書館は世界連邦の東アジア分館になっていて，マイクロフィルム庫（フットデッキの下部にある）に収められリージョンの各住区図書館に情報を送っている。「健康管理本部」はかっての「病院」と呼ばれたものが予防医学側面を加味するにとどまらず，より積極的な側面，つまり健康管理医学を導入することによって成長したものである。ここでは「たべもの」と「健康」の関係も探究され，各急速冷凍食品コンビナート（農業・漁業基地にある）や地域食堂の製造指導や調理指導も手がけている。「くいだおれ」の大阪は，この面ではかなり他をリードしていて，指導的な役割を果している。

このインナーを訪れて驚くのは「静かになったなァ？」ということである。あの「都会の喧燥」といわれたものは今はない。あの非人間的な響きはなく，あるのは人間的な音である。たとえば「堂島川」畔の大阪湾まで続くリバー・サイド・パークを散策していると

大阪リージョン枢要部　1999



どこからともなく，ヴォーカルのメロディカルな響きが伝わってくるのであった。「江戸明治時代」にもかってそうであったように澄みきっている水面を川風とともに送られてくるそのヴォーカルの響きは，あのいまわしい「産業都市」時代の「葬送曲」とも聞えたものであった。申しおくれたが，このリバー・サイド・パークやインナー・グリーンベルトやシーサイド・パークを主な舞台として，今年の12月24日からいく日にもわたって「21世紀を迎える祭」が盛大に催される予定である。ここ1999年の大阪は，この祭礼的機能の場としても，つまり「舞台」としても，一まづその完成を終えているのである。大阪湾のむこうの河波・サブ・リージョンからは，あのにぎやかで楽天的で狂熱的なアワ踊りの一群が淡路島を通ってくり込んでくることになっている。ウェザー・コントロールのもとで真冬に真夏の祭が行なわれるわけである。このいく日間はほとんどその実務的機能を停止してまさしく「世紀」の祭の舞台となる予定である。

＜アウター＞

アウターは，リングと六甲，摂津，生駒の「天然グリーンベルト」との間のゾーンである。主としてかなり低い密度の住居区となっている。レクリ・スペースはインナーと較べるとよりスペーシャスになっているのは前に報告したとおりである。（住宅地の構成については「住宅」の項にゆづる）

＜天然グリーンベルト＞

イギリス都市計画思想においては大都市を取り囲いて計画的に配されるグリーンベルトの目的は二つあった。その一つはこれによって無計画な都市の膨脹を防ぎ，大都市を危機から救うことであった。もう一つは，これが大都市居住者のレクリ要求を満たす場になることである。都市の成長を意のままにコントロールしうる99年では，最初の目的はほとんど負わされることはない。このグリーンベルトは，大阪ならびに大阪リージョンの人たちの週リズムのよきレクリ・スペースになっている。また他のリージョンや外国のお客さまを案内して，大阪をよりよく知ってもらう展望台の役目をも果している。またここのよく保存されたグリーンは，他の平野都市にはないキメの細かい景観を与えているのである。大阪通でない人たちがくるとときどき大阪は盆地にあるのかと感違いしてしまう。

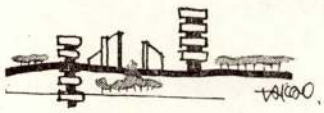
＜衛星都市ゾーン＞

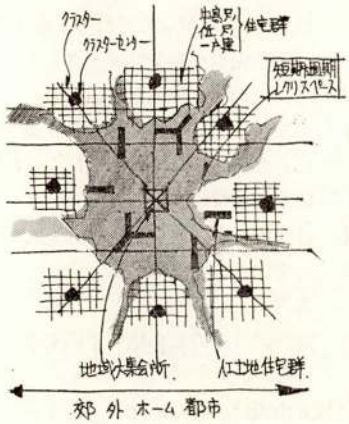
大阪のもっとも外の環状交通軸（第4交通環）と大阪放射交通軸の結節点には衛星都市が，まさしく大阪の「衛星」のごとく輝やいている。イギリス都市計画思想においては，これもまたグリーンベルトと同じく，過大都市防止の役割を負わされていたものであった。事実「大阪リージョン整備法」というあのザル法に終った法律によって，最初のはなはだ小心な衛星都市づくりがはじまったのは，この思想に基づいていたのである。しかし「都市」が人間の完全な制御下にある現在は，これら「衛星都市」は，サブ・リージョン（かっての「藩」程度の行政区画）の中心となって都市と農村の文化的格差を埋める役割を強く負わされている。ここから自分の農場へ通う農業技術者（「農民」というあの肉体的困苦のかたまりのような職業はなくなっている）の居住地となっていることが多い。かなりの高等教育がここでうけることもできるのはいうまでもない。

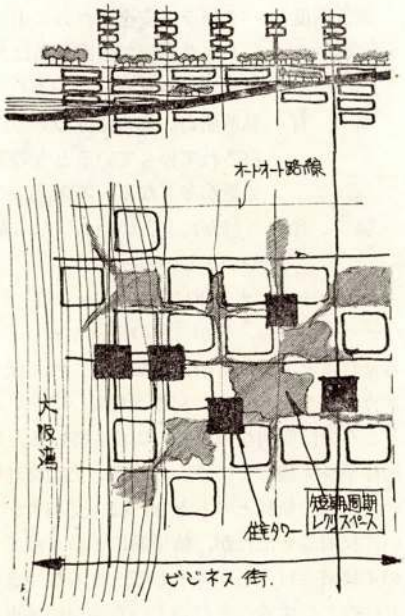
もちろん「衛星都市」であるから週リズムや月リズムで居住者は，大都市の利便を利用する目的や，その「雰囲気にひたる」ために母都市へ出かけてゆく。また大阪の居住者，特に小学校の生徒たちに「都市」とか「社会」の実物教育をするには，これはこじんまりとなんでも揃っているために，恰好の教材になっている。このため反社会的な行為をした「犯罪人」（「不適応者」と注意深く呼ばれているが）も，ここにつれてこられて「軟禁され」再教育されることがならわしになっている。しかし，1999年では「不適応者」の数はそんなに多くはないし，彼らによって衛星都市市民が迷惑を蒙ったということはいまだ聞かない。

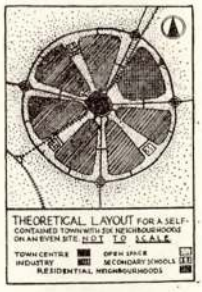
住宅に対する考え方が大巾に変った。従来の不動産的見方から，耐久消費財として需要供給のバランスがなされ，都心では，積み重ねられた人工土地に，緑の豊かな郊外地区では，滑らかなスカイラインを破って所々に創られた高層人工土地に，量産化された「テレビ付壁パネル」「間接照明用壁パネル」「テレビ電話付万能棚」等々。各種サイズの各部材が用意され，これが手際よく組立てられている。1999年の住宅産業はもはや時代の花形である。

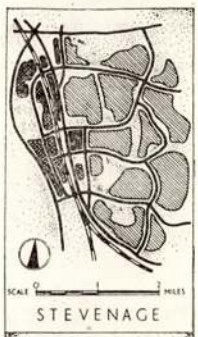
人々は，自由に選択した人工土地に好みの間取りの住宅を購入し，数日の中に組立完了楽しい住まいができ上る。そして，ここでは，睡眠し，食事をとり，性交，休憩，ときには知識の蓄積といった人間の基礎的行為が行なわれる。他方，国として，地域集団社会として社会保障は極度に発達すると同時に，人間の文化的諸行為は機能的に細分化され，その行為の場は専用化され，その行為の場は専用化され，完備されたものとなっている。住まいの空間の大きな役割であった育児行為までが，いくつかのグルーに分れた育児センターで行なわれている。「育児の人間性からみて一抹の寂しさを感じる」がといって批判する少数意見も聞かれるが，大多数の人々は，両親が子供を育てることにはならないまでになる。さらに，各住区の大集会所では輝やかしい21世紀を迎えるための色とりどりの催しに対し，地域社会の予算，事業計画が選出された委員によって活発に論議されている。今では中央集権的政治はほとんど行なわれなくなり，その地域に関する政治，政策は，その場で処理され，速やかに実行されてゆく。

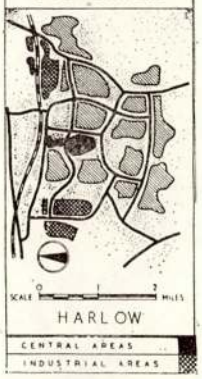


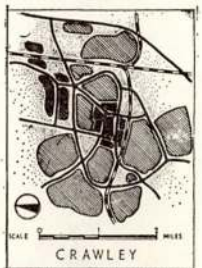


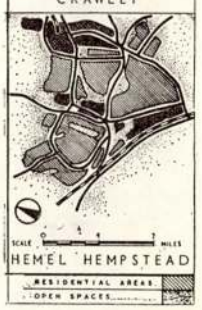


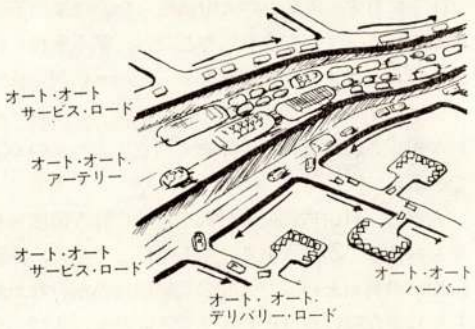












交通体系

大阪は過密とでもいうべき住まい方，暮らし方をしてきた日本の代表選手である。60年代すでにそのモータリゼーションは道路の「過少性(？)」によってつまづいてしまった。しかし，モータリゼーションのゆく手が「先進国(？)」においても，決して楽観すべきものではないことを知った大阪人たちは，これをあらゆる手段で抑える一方，公共交通機関を完備していった。しかし，自動車（オート）交通の便利さ，そのフレキシビリティに対する渇望はいやされることはなかった。そこでかなりの研究投資が，公共交通機関のよさとオートの便利さをもった交通手段の創造になされることになった。これは地域の問題として，ある住区の集会所でのちょっとした交通談議に端を発したのであった。ここに大阪そして最終的には日本の大，中，小全都市の協同研究体勢によってついに「オート・オート」が創造されるにいたった。

オート・オートとオートのちがいはつぎのようなものである。

	＜オート＞	＜オート・オート＞
動力源	有毒ガスを吐くガソリン	無毒の高周波エネルギー
運転	誤ちやすい人間制御したがって運神の弱いのや老人，子供，廃疾者は乗れない。	決して誤つことのない自動制御。（ここから「オート・オート」と命名された。）したがってだれでも乗れる。（行き先ボタンをワン・タッチ。）
交差	大ゲサな立体交差。	電磁誘による単純な立体交差。
走行密度	パラパラ（安全のために止むをえない）したがって道路面積は尨大なものが要求される。	ギッシリ（自動安全装置を完備しているため，前の車との間にムダな空間があかない。）
所有	私的所有。都市全体の必要以上に所有されて停っているときの空間の必要量が多くなる。不経済。	社会的所有。経済的。（貧乏人一残っている場合では一にも乗れる。平等的。）
騒音	「静かに」といわねばならないほどやかましい。	静か。（そのため横断平面交差歩道はない。）

このオート・オートは各（スーパー）ブロックに数ヵ所設けられた，オート・オート・ハーバーを発ち，しかじかのオート・ハーバーに到達するものであって，道のどこからでも乗れるといったものではない。この不便さを補なうためにエスカレーターやレベル・エスカレーターも大いに利用されている。これらはその他に大量で定常的な交通の発生するところでは便利なのりものになっている。四通八通している地下鉄やモノレールも自動制御体系を完備している。これらの公的交通機関がいっさい無料であることはいうまでもない。これを無料とするときには「受益者が負担せよ」とか「子供がいたずらする」とか大いに反対論も出たが，結果的に「ひとがごまかさないように貴重な人材を割くことは，その不経済さはともかくとして，こんなつまらん仕事にあたら創造力に富んだひとの一生をだいなしにすることだ。」という論が地域集会所の討論会において勝をしめてしまったの

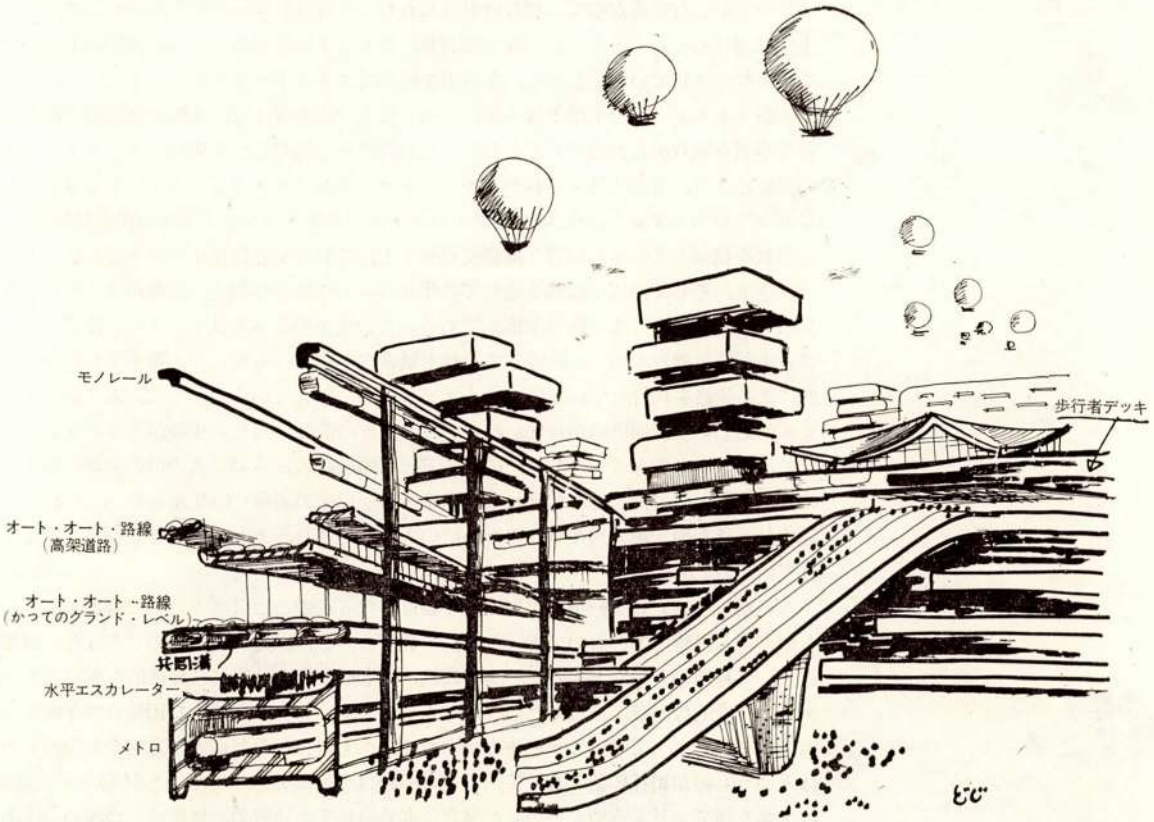
であった。そのため駅の設計は極く単純なものになった。

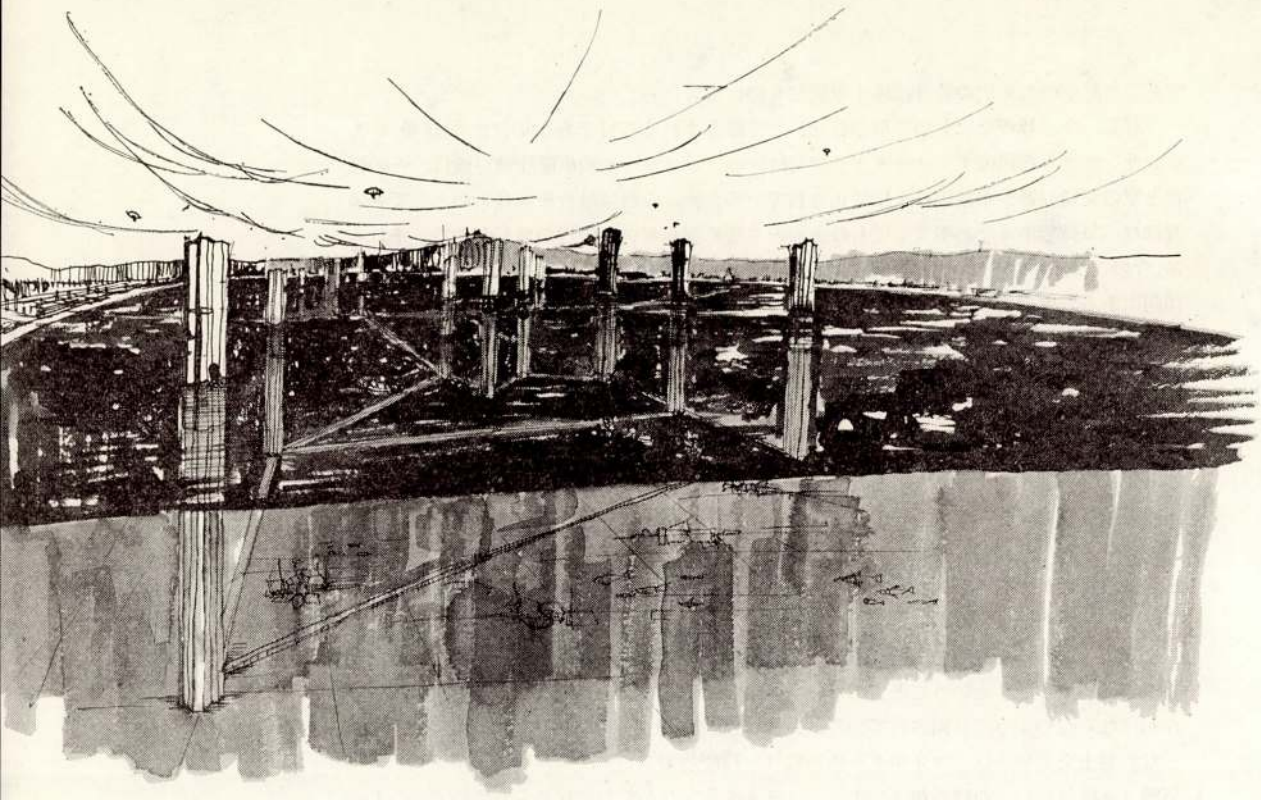
ただし，今，1999年において稀少なぜいたく品とされて有料であるのは，気球船である。リングより内部のインナー・エリアでは，ヘリコプターや垂直離陸飛行機は，その騒音と空の交通混雑や事故のゆえに禁止されているため，これは最近便利なものとして—騒音はなく気球であるため衝突してもほとんど事故に到らない—流行の兆しがある。それらは，今のところかなりエネルギーをくう非能率なものであるが，だんだんと改良されていく傾向にある。風のまにまに流されて日本旅行をするといったことが，文字通り風流なこととして通りいっぺんな遊びにあきた人たちの間ですでに大流行している。非爆発性のガスを入れる容器つまり気球には手芸の腕を競った大刺繍をほどかされているものも多いが，このの・り・も・のならではである。

空路は国際的，地方際的，あるいは都市間的な重要な交通機関ではあるが，インナー・エリアに立入禁止であることはもちろん，アウター・エリアに対する生活妨害にならないよう充分な心遣いがなされている。大空港は重工業地帯に設けられるべきことが「世界連邦コミュニティ計画法」に明文化されているが，ここ大阪では，その大阪湾のコンビナート地帯に設けられている。もちろんここへは地上（ないしは海上）交通機関が緊密に連結している。

交通手段はかくて充実し，統一ある体系をなしているが，この体系に欠かせないのは「自分のあ・し・で歩く」ということである。身体に支障のないものが，一日にして2km程度歩かねばならないように計画されている。これは健康管理上からも必要なこととされている。

なお地上交通軸には，エネルギー供給管（と残廃物搬送管），給水管（と排水管），給気管（と排気管），通信管がフレキシビリティをもったかたちで収めら・れ・て・い・る。いわゆる「共同溝」に収められていることはいうまでもないことである。





工業コンビナート

1960年代においては，石炭は斜陽であるといわれながらも，電力源として，あるいは都市ガスの原料として，また各工場においても，まだまだ盛んに用いられていた。スモッグについて早急な対策が樹てられなければならないと叫ばれていたにもかかわらず，大阪の上空は連日もくもくとした黒い煙で覆われ，スモッグ情報が流れ，人々は煙の下での生活を余儀なくされていた。しかし，今石炭を直接にエネルギー源とすることはなくなって原子力がエネルギー源の主役となった。このことも一因となって，大阪の街は再び青空と新鮮な空気を取り戻したのである。しかしこれに大きく寄与したものは，オートメーションの発展により，都心に建てられたリモート・コントロール・タワーにおいて全産業の工場をコントロールするという，いわばリモコン・オートメ・コンビナートの出現なのである。

これを構成しているものは「海底交通軸」と，これの交点にジョイントされた「生産ユニット」，そして海底交通軸を通して各生産ユニットに生産指令や運輸指令や原料受入れ指令を与えている「生産指令本部」である。この生産指令本部はインナーに位置し「リージョナル需要調査本部」に隣接してこれと緊密な連絡を—もちろん「電子事務機器」が人間による連絡を代行しているのはいうまでもない—保っている。かくて，人々の需要とたえず対応した生産即供給が行なわれている。人々の需要に対して生産が大きすぎることもなく，また小さすぎることもないのである。（原始時代からの「人の口の多さに対する物の少なさ」といったこともなければ「産業革命」以来の過剰(？)生産もない。ために倉庫建築は，ほんの「災害用在庫」のためにのみ必要とされ，あとは仕分け基点として設計されているのである）

この新しいコンビナートの出現は極く最近になってのことである。他で報告したことどもの実現も困難の多いものであったが，これはとりわけ困難の多いものであった。困難には主に三種類のものがあった。一つは政治的なものである。第二に経済的なものである。第三に技術的な困難，これもたいへんなものだった。第一の政治的な困難はつぎのようなものである。かってコンビナートといわれていたものは，ただ個々に意志をもつ××企業体というものが相互に話し合って「お宅の原料はうちの製品を使うことが多いから隣同志に工場を建てましょうや」といった具合に進められて，比較的，技術的に合理的ではある

が断片的である生産体系のことを称していたのであった。だから包括的な生産体系を築きあげるまでには，個々の企業の意志を翻意させるとか抑えるとかの政治的な手順を必要としたのである。第二の経済的困難――これはもっとも著るしいものであったが――といえば「果たして，日本にはこの建設につぎこむだけの生産余剰力があるのかどうか。ないのではないか？」という疑問に要約されていた。事実，東京にある「国民経済計画会議」は，80年代までは「その通りである。余力なし」としていた。90年になって会議はようやく「はじめることができる。」と判断したのであった。

第三の技術的な困難でこの90年までに残っていたのは「生産ユニット」と「交通格子」とのジョイント部分についてである。かなりの荷重に耐えるもので，しかも，ウォータープルーフでなければならず，また，移転に際しては取りはづし，取りつけの容易なものでなければならないという厳しい条件があったからである。海水に対する防錆も一つの技術的課題であった。これについで困難であったのは「生産ユニット」の水上貨物船や潜水貨物船の横づけされる原料搬入口（製品搬出口でもある）の設計であった。

かくて，これらの困難をのりこえていま「リング」の海に面するところにある「生産ユニット」製造場から，気球によって浮力をつけられ，索引船によって索いてゆかれ，所定の位置で特殊潜航艇の助けを借りてジョイントされるということが，いまでは大阪湾でみられる普通の風景になっている。

今，さらに淡路島の方へ一層これを延ばすべく，大阪リージョン・工業コンビナート建設計画会議で第二次建設計画を検討立案中である。

レクリエーション

都市計画図には用途地域が指定され，緑地地域も決められていた。しかし急増する人口のために，交通計画は幾度も練り直さなければならなかった。道路建設のために堀が埋め



立てられた。パーキング用地のために公園が少しずつ削られていった。大部分の人々は労働時間の短縮によって生まれた余暇の使い道をもてあましていた。大阪商人たちはこれらの人たちを引きつけようと，レジャ時代と銘打って，パチンコや，キャバレーや，ヌードスタジオの広告を街に氾濫させていた。こういったものに飽き足らない人々は，山へスキーへとゆくために，5時間も6時間も汽車を待つ列を作った。ところがやっとたどりついたスキー場では，人また人で都会の出店のような有様であった。

しかし現在では工場はすべてコンビナート化されて，大阪湾へと進出された。都心部の交通はすべて大量輸送機関とオート・オートにより，むだなパーキング・スペースは不要となった。ビジネス街は高層化され，十分な広さの公園と広場とが到るところに確保された。インナーでは所々にレクリェーション・センターが設けられたが，それらはごみごみした繁華街にではなく，緑の多い公園に接して建設された。そこではボーリング・コーナーや，スケート・コーナーや，卓球コーナーなどがあり，各人はいつでも好きなときに無料でこれらの施設を利用することができる。子供たちには，電車や飛行機の組立材料のある部屋も用意されている。子供たちは，今までのように高いお金を出して買ってもらうかあるいは交通博物館へいってでき上ったものを単に眺めているだけでなく，だれもが自由に組立てたり，分解したりして，楽しみながら工作の勉強にもなるようにできている。アウターには見せ物用ではない，自分たちで楽しむための野球場やゴルフ場がある。道具はすべて備えつけてあり，だれでも好きなときにちょっと立寄って野球やゴルフを楽しむことができる。

天然グリーンベルト・ゾーンにゆけば，キャンプ地，馬遊び，スキー，スケート場（天然＋人工）などがある。おもしろいのは，かってのオート・ドライブをスポーツ化した遊び場がある。かってオートを所有して，仕事場までの通いをスポーツ化しようとしていた人たちの夢はここで満たされる。乗馬をする人たちが，別に馬の新型を求めないと同様，ここでの遊び道具は20世紀当初のフォードから90年代のメーサーシュミットまでなんでも揃っていて，遊びにくる人たちの「よりどりみどり」になっている。毎回「買い替え」ては——実はこれも社会的所有になっているのだが——楽しんでいる人もある。

大阪に遊びにくる人たちに強い魅力をもっている遊びは，シーサイド・パークにある瀬戸内海観光基地からの内海旅行である。かって内海航路は薄汚ない重工業地帯にある朽ち果てた桟橋からロマンチックなるべき「出帆」をしたものであったが，今は，湾にわずかに頭を出している「重工業地帯(？)」を望みながら，海辺の森林公園からする「出帆」である。このごろは，新婚旅行者はたいてい海外に足をのばしてしまうので「別府航路」にみられるのは，旧い港を知っている金婚旅行者や銀婚を迎えた人たちが多いようである。彼ら二人の若かったときはやはり美しかった瀬戸内海が自分たち日本人の智慧でいかに保存され，いかに調和ある景観をつけ加えたかをみるだろう。そしておそらくそれらをすっかり「21世紀」の子孫たちに遺すことを誇らしく感じながら帰ってくることだろう。

あ と が き

果たして1999年の生活の場は，どこに，どんな装置で構成されるだろうか，その型の上でのイメージはいろいろと考えられるだろうが，いかなる時代にあつても，主役は人間であり，人間が生活する場に価する装置でなければならないことは，火をみるより明白である。

より自由な時間に，より自由な人間行動を行ないうる空間，装置が現在よりもさらに要請され，それは，人間の動物としてまた知識をもつた文化的行為を行なう者として，それが満たさなければならない。

人間の動物解剖学的諸機能は，高度に発達した科学技術，生産システム，これらの所産である都市空間といつた環境においては満足することなく，逆にますます相反するものとなる可能性も多分に懐在している。これが直線的に進めば進むほど，人間はむしろ，その主体性を失ない，自然を求めて，自然に帰るべく各地をさまよう，あわれな状態となり，ついには人間を滅亡に導くなにものもないと断言できる。この人間滅亡を未然に防ぐため清らかな空気，美しい水，緑したたる森や草原，そして輝やく太陽の下で，伸び伸びと活動できるスペース，時間の確保こそ，現在のわれわれに与えられた課題であり，1999年レクリ時代に対応した都市空間そのものなのである。

われわれは，この努力が数十年を経て，やがて1999年に未来が約束された輝やける都市の誕生として実を結ぶものと信じて疑がわないものである。

2 国民レクリェーションの制度と施設

1. ソーシアル・ツーリズム

ユースホステル/林幸二郎

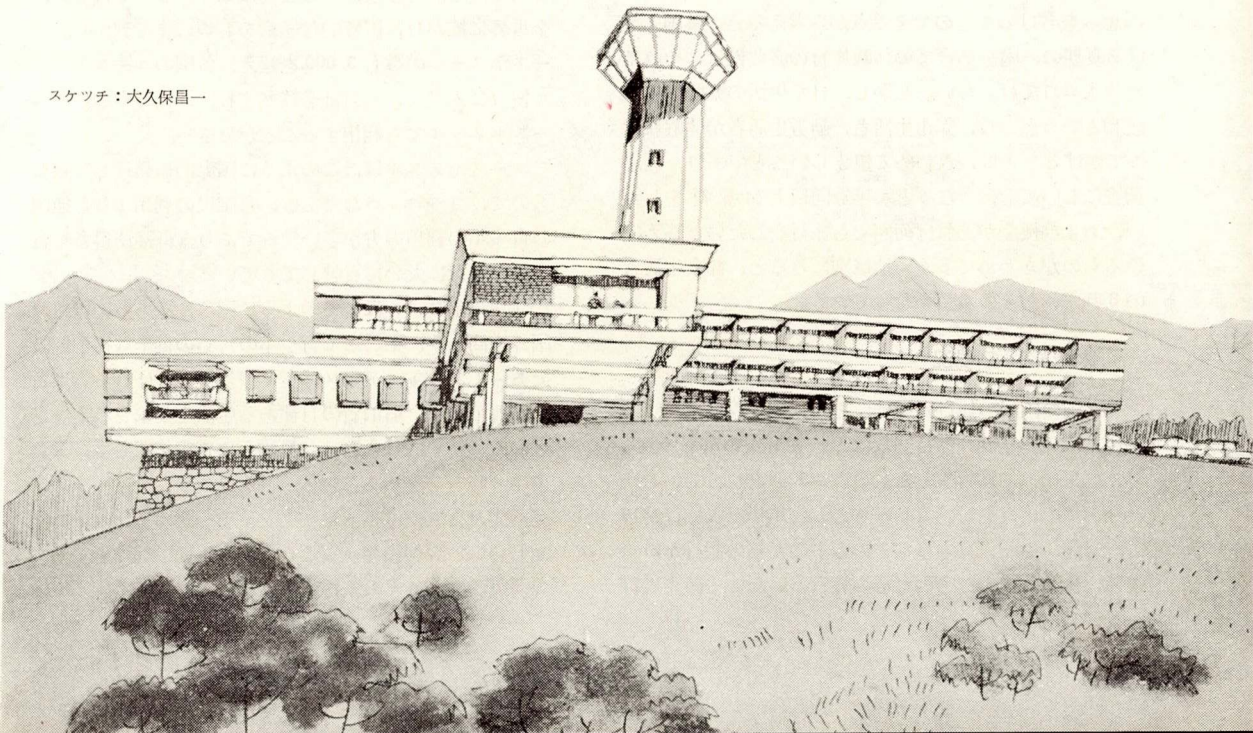
国民休暇村/前野淳一郎

2. スポーツ・レクリェーション

スポーツの社会学/飯野節夫

スポーツ施設の種類/西田泰介

スケッチ：大久保昌一



ソーシァル・ツーリズムとユースホステル

運輸省観光局整備課・課長補佐
林　　幸二郎

わが国におけるソーシァル・ツーリズム

ここ数年来，わが国においても，レジャーブームの声が聞かれ，休暇旅行を楽しもうとするものが，いちじるしく増加してきている。これは，国民の所得の増加の傾向と，労働時間の短縮や，家庭電化の普及，家庭生活の合理化による余暇時間の増大，さらには，余暇をレクリェーションとして有効に使うことを罪悪と考えなくなった生活感の変化などによるものといえよう。

個人消費の支払費目を年次別にみると，この余暇消費が含まれている雑費の占める割合が，目立って伸びており，昭和31年の25.1%が，昭和35年には28.2%となっている。しかし一方，この余暇時間の過ごし方をみると，家庭内における休養や，ラジオ，テレビなどで過ごすものが大部分で，旅行にでかけるものは，いまだきわめて少なく，休暇旅行が盛んになったとはいわれながら，まだ全国民的のもの，いわゆる真のソーシァル・ツーリズムといいうるものにはなっていない現状である。

北ヨーロッパ地方のソーシァル・ツーリズムの発達が，太陽を求めての，保健的，健康維持の目的の下に行なわれているのと相違し，わが国では，冬でも十分日光の恵みをうけることのできる点から考えると，外国における夏期の，国をあげての休暇旅行の必要性は，それほど要求されてはいない。しかし，日常生活の緊張からの緩和という点から，都市生活者，勤労生活者が休暇旅行にでかけることは，きわめて望ましいことであり，世論調査においても，少なくとも年一回以上は旅行をしたい，および機会があれば何回でも旅行をしたいと答えているものがきわめて多く，地域別にみると，都会生活者の8割内外がその希望をもっている。

休暇旅行の現況

わが国の国民の旅行動態は，その動態調査によれば，国民一人の一年間の旅行回数は，わずかに0.65回であり，国民のうち旅行をしたものは約32%となっている。

今，この旅行を目的でわけると，商用や出張旅行が19%，帰郷，出産，墓参りなどの家事のための旅行が21%観光，行楽，保健などのための旅行，いわゆる観光旅行が54%となっている。したがって，泊りがけの旅行の多くが，観光旅行であることがわかる。

また，旅行にゆけなかった理由については，世論調査によれば，金がないが第1位で47%を占め，ついで，家を離れられない事情があった，休暇がとれない，乗り物が混むと思った，旅行さきが混むと思った，などとなっている。このことから，将来の所得水準の向上や，勤労時間の短縮，家庭生活の合理化などが進むにつれ，これらの旅行が増加することは十分予測できるが，しかし，一方，今日の時点において，経費のかからない旅行施設の整備が要求されているといえる。1泊数千円のホテルや旅館の建設が相つぎ，互いにその設備の豪華さを競っているともいえるとき，ソーシァル・ツーリズムの振興のためにも，経費のかからない，低廉な施設が要求されている。

ユースホステル

今から約50年前に，ドイツの小学校の先生が旅行に連れていった生徒を，休暇中の学校の教室に簡単な施設で泊らせることを思い立ってはじまったのが，ユースホステルである。その後，この運動はヨーロッパをはじめ，全世界に拡がり，国際的な組織をもつにまで到った。ユースホステルの数も3,000を超え，各国のユースホステル協会に入会し，会員証を持参すれば，世界中どこのユースホステルでも利用することができる。

ユースホステルは，このように国際的に発達してきたもので，ヨーロッパなどでは，自国民の利用よりも他国の青少年の利用の方が多い状況であり，低額所得者や青少年の旅行に大いに貢献してきている。

ユースホステルは，このように国際性をもち，国内，国外を問わず，主として青少年のための健全な宿泊施設であって，ウォーデンヌはペアレントと呼ばれる管理者の監督の下に，宿泊者の自律ある生活を要求される。さらに，一夜を泊り合わせた見知らぬ青少年たちは，夕食後の一時をフォークダンスやコーラスや，ミィーティング，またときにはキャンプファイヤを囲んで，互いに交歓し合い，翌朝出発するときには，互いに健康を祝しつつ，東に西に各々の旅行に出立する。

したがって，ユースホステルは，単なる宿や旅館とは異なり，また青年の家などのような教育施設とも異なる。規律ある生活を通じて社会人としてのマナーを学びとり，友愛の精神と互譲の習慣を身につけるものである。ユースホステル内では，他人に迷惑をかけるようなことはせず，自分の仕事はもちろん，進んで仕事を分担し，寝具の整理，寝室の清掃，食器の後片づけや食卓の清掃も義務づけられている。また，ユースホステル内での禁酒はもちろん，酒気を帯びたものは，玄関に入ることも禁ぜられている。

ペアレントと呼ばれる管理人は，父であり母であって，泊り合わせたホステラーたちを，子供として愛しかつ指導する。施設的には，寝室や洗面所，便所，浴室などは厳重に男女別にわけられており，寝室は階層式のベッドで，一室に6人から20人位収容される。共用部分として全員が一堂に会することのできる食堂や集会室があり，その他に自炊用の施設が整備されている。給食希望者のために厨房施設も設けられているが，食事も簡素な，実質的のものが供せられ，朝食100円，夕食150円程度で，青少年に満足のいく食事がだされる。

公立のユースホステル

わが国では，昭和26年にユースホステル協会が設立され，昭和29年に，国際ユースホステル連盟への加入が認められた。発足以来10年余を経過し，その会員も20万人を突破して，急速に発展してきたが，専用のユースホステルはいまだ少なく，旅館，山小屋，社寺，邸宅などと低料金で宿泊させる契約を結び，日本ユースホステル協会の契約ホステルと呼んで，会員が利用できることにしている。協会専用のホステルなど近時数を増してはきたが，しかし，大部分はこの契約ホステルであって，その施設においても，立地条件においても欠陥のあるものが多く，また，管理者であるペアレントも，一般の宿泊客とホステラーの接客を同時に行なわなければならないような場合があり，問題も多い。

運輸省では，つとにソーシャル・ツーリズムの振興の一方策として，このユースホステルの必要性を痛感し，昭和33年度にはじめて，地方公共団体の建設にかかるユースホステル整備のための補助金が予算化され，以後毎年この予算によって整備されたユースホステルは今日工事中のものを入れて44ヵ所となった。

運輸省では，その建設地の選定基準として

1. 内外の青少年の利用度の高い観光地および観光基地であること。
2. 環境が良好であって，とくに思想，衛生，風紀などについて青少年の身心に悪影響をおよぼす事物のないこと。
3. 土地，気象，飲料水などの保健的条件が良好であるとともに，風水害その他の災害に対して安全であること。
4. 交通および物資の供給に便であること。
5. 各種の野外活動の根拠地として好適であること。

などをあげている。がさらに，ユースホステルはそれらを泊りつつ旅行していくことが理想であり，そのためにも相互の連繋的利用を可能ならしめるように，ホステル網を形成することを目標とし昭和45年度までにベッド数で15,000ベッドを整備する計画を立てている。

ユースホステルの問題点

公立のユースホステルは，その国際性から外国の青少年の利用に適するよう施設されているが，ヨーロッパにみられるような他国人の利用はきわめて少なく，全利用者の4％程度であるが，これはわが国の立地条件の特殊性からくるもので，ある程度やむをえないところである。しかし，近時これら外国からのユースホステル利用希望者は激増しており，東京などではシーズンにおいては満員のため，この外国青少年も断わっている状態であり，その増設が強く望まれている。

しかし，公立のユースホステルの利用率は，年平均で昭和34年度の14.8％が，昭和35年度には24.4％，さらに，昭和36年度には31.4％と伸びてきたが，年平均が30％内外であるにもかかわらず，7，8月の夏のシーズンなどでは，定員をはるかに超えた申し込みが殺到し，宿泊を断わっている数がきわめて多い。

このことは，わが国のソーシャル・ツーリズム振興の上からも，大きな問題であり，国民一般大衆の休暇制度の在り方について一考を要する点である。ユースホステルの利用者の47.5％と半数以上が学生生徒で占められており，したがって学校の休暇期間中が，わが国の旅行のピークを占めしていることでよくわかることであろう。この旅行シーズン以外では，きわめて利用率は低く，せっかくのソーシャル・ツーリズムのためのすぐれた施設も，十分活用されていない点からみて，休暇制度の確立はきわめて重大な問題であるといえよう。

また，公立のユースホステルが，ユースホステル協会の会員外の一般に公開されていることを知られていないことも問題である。協会の会員は急速に伸びている，とはいえ，ようやく20万人を突破した今日では，会員のみにその利用を限定したのでは，ユースホステルの発展は望みえない。今日公立のユースホステルの利用者総数のうち，協会の会員は約30％に過ぎない。一日も早く，ユースホステルが国民一般に普及し，同時に青少年の大部分が，ユースホステルを知り，進んで会員になる日までは，PRの期間としてここ数年の努力が必要であろう。

つぎに，ユースホステルの設置箇所およびその収容ベッド数の不足も大きな問題である。夏期における北海道

公立ユースホステル建設実績表

年度別	事業主体	名称	所在地	収容人員
昭和三三年度	長野県	軽井沢ユースホステル	長野県北佐久郡軽井沢町字北吉ケ沢	50人
	日光市	日光 〃	日光市所野1469	50
	山梨県	富士西湖 〃	山梨県南都留郡足和田村根場	50
	愛知県	犬山 〃	犬山市犬山自然公園内	98
	三重県	御在所 〃	三重県三重郡菰野町御在所山	50
	京都市	宇多野 〃	京都市右京区太秦中山町	100
	大阪府	服部緑地 〃	豊中市服部緑地公園内	148
	和歌山県	那智 〃	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町	50
	計	8カ所		596
昭和三四年度	秋田県	十和田ユースホステル	秋田県鹿角郡小坂町七滝	54
	宮城県	南蔵王 〃	宮城県刈田郡七ケ宿町	50
	群馬県	榛名高原 〃	群馬県群馬郡榛名町大字榛名山	52
	埼玉県	秩父 〃	埼玉県秩父郡大滝村麻生峰	50
	静岡県	伊東 〃	伊東市川奈区小室山	100
	兵庫県	芦屋 〃	芦屋市芦屋奥池	52
	岡山県	鷲羽山 〃	岡山県児島市鷲羽山	52
	香川県	小豆島 〃	香川県小豆郡土庄町池田町	52
	広島市	広島 〃	広島市半田町神田山	54
	下関市	火の山 〃	下関市塩ノ浦火の山	52
	計	10カ所		568
昭和三五年度	札幌市	宮ケ丘ユースホステル	札幌市宮ケ丘	54
	苫小牧市	ウトナイ湖 〃	苫小牧市植苗	56
	岩手県	八幡平 〃	岩手県岩手郡松尾村	52
	山形県	あづま 〃	米沢市大字関字湯ノ入沢	52
	東京都	市ケ谷 〃	東京都千代田区五番町	132
	岐阜市	岐阜 〃	岐阜市上加納山上	60
	兵庫県	淡路 〃	兵庫県三原郡南淡町	54
	長崎県	長崎県立 〃	長崎市立山町	92
	計	8カ所		552
昭和三六年度	千葉県	館山ユースホステル	館山市布良	54
	神奈川県	城ケ島 〃	三浦市城ケ島	120
	長野県	白樺湖 〃	茅野市北山	50
	石川県	奥能登 〃	石川県鳳至郡能都町字宇出津	50
	岡山県	蒜山 〃	岡山県真庭郡川上村上福田	52
	愛媛県	奥道後 〃	松山市大字湯山の内杉立	52
	恵那市	保古の湖 〃	岐阜県恵那市東野保古の湖畔	52
	出雲市	立久恵峡 〃	島根県出雲市乙立町立久恵	50
	高松市	高松 〃	香川県高松市岡本町立石	52
	計	9カ所		532
昭和三七年度	北海道	北海道立層雲峡ユースホステル	北海道上川郡上川町層雲峡	50
	釧路市	釧路市営 〃	釧路市鶴ケ岱35	50
	神奈川県	相模湖 〃	神奈川県津久井郡津久井町与瀬	120
	富山市	富山 〃	富山市浜黒崎松下3377	50
	宮津市	天の橋立 〃	宮津市字中野真名井905	60
	和歌山県	日の岬 〃	和歌山県日高郡美浜町大字三宅	50
	鳥取県	三朝 〃	鳥取県東伯郡三朝町三徳字密坊1057	50
	鳴門市	鳴門 〃	鳴門市撫養町林崎字北殿町146	50
	高知市	高知市営 〃	高知市小石本町30	50
	計	9カ所		530
昭三三年―昭三七年	公立計	44カ所		2,778
	国立	大津ユースホステルセンター	大津市山上町	310

の旅行ブームのさかんなことは新聞紙上を賑わしたが，各ユースホステルとも満員つづきである。急速に，重点的に施設の増備を計らねばならない。

さらに，ユースホステルにとっては，そのペアレントの重責である。ペアレントにその人をえなければ，単なる宿と大差はなくなる。ユースホステルの中心ともいえるペアレントにし対ては，遺憾ながらまだ十分な対策が立てられていないが，今後のユースホステル運動の飛躍的発展をはかり，ソーシャル・ツーリズムの一環としてこれを伸張するためには，ペアレントの勤務体制や給与体系をはじめ，宿舎設備などの待遇改善についても，早急に検討し解決しなければならないことが多い。

ソシアルツーリズム

「国民大衆旅行」推進の一翼をになう国民休暇村

—その計画と事業—

財団法人国民休暇村協会事務局
前野淳一郎

近年わが国においても，国民大衆旅行促進のための諸制度，施策は年を追って整備されつつある。すなわち運輸省によるユースホステル建設助成（**表1**），文部省による青年の家建設助成（**表2**），厚生省による国民宿舎建設のための年金還元融資（**表3**）などがそれで，これらはいづれも地方公共団体を運営主体とするものであり，地域開発の面における寄与も見逃しえないものがある。

「国民休暇村」の構想（本誌1961年9月号，糸賀論文参照）は，さらにこれらを一歩前進せしめたもので，国立公園など景勝地内の施設適地に一ヵ所数十ヘクタールないし数百ヘクタールの区域を劃し，宿舎も中心に各種の保健休養施設を整備して，広く国民大衆に低廉な料金で快適かつ健全な休養の場を提供することを目的としている。そしてその事業実施のため昭和36年12月，厚生省（大臣官房国立公園部）と表裏一体の法人として財団法人国民休暇村協会（東京都港区芝田村町3—3田村町ビル内）が設立された。

協会は国の計画（自然公園集団施設地区計画）にもとづき道路，駐車場，桟橋，上下水道，園地などの公共事業と併行して，宿舎，ケビン，リフト，舟遊び，水泳施設などの有料施設を，政府資金（年金福祉事業団の厚生，国民両年金融資を中心とする）の借入を主として，国費，地方費の援助をうけて建設し，その経営を行なうものである。ちなみに協

表1　公営ユースホステル設置状況

年度	33年	34年	35年	36年	37年（建設中）	計
設置数	8	10	8	9	9	44
収容人員	596	568	552	532	470	2,718

註）他に国立大津ユースホステルセンター310人収容があり，日本ユースホステル協会契約ホステルは317軒に及んでいる。

表2　青年の家設置状況

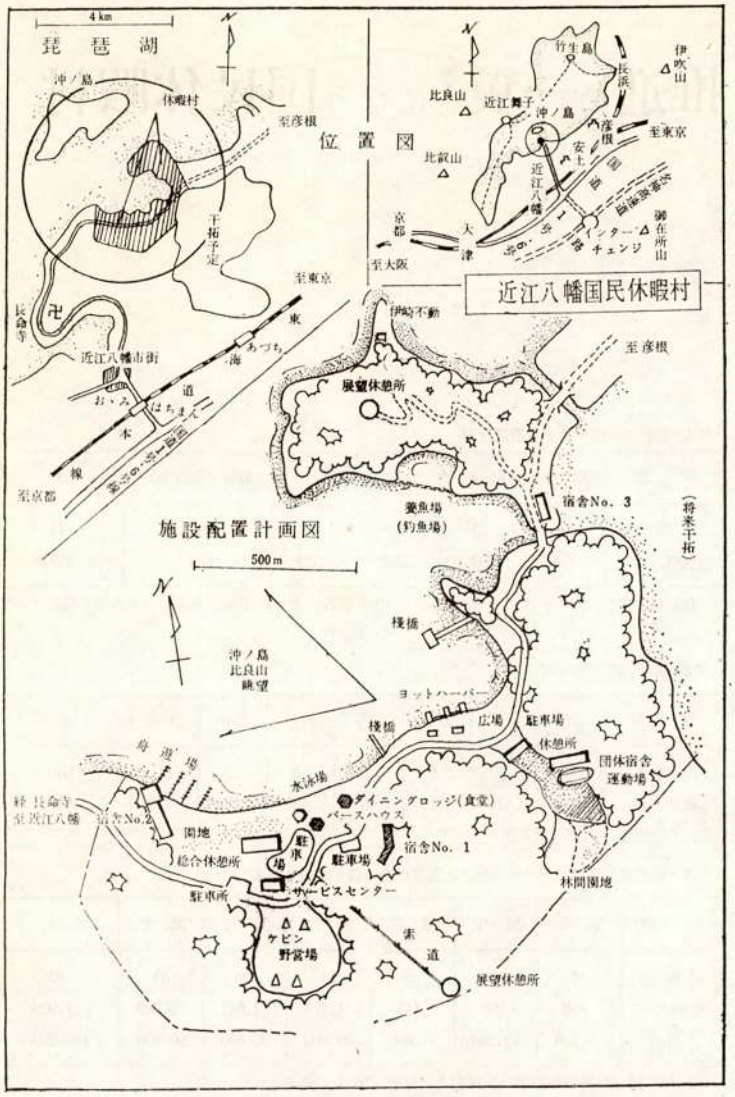
年度	30年	31年	32年	33年	34年	35年	36年	計
設置数	9	7	9	9	8	13	11	66
収容人員	678	415	716	464	452	978	773	4,476

表3　国民宿舎設置状況（厚生年金，国民年金の還元融資による）

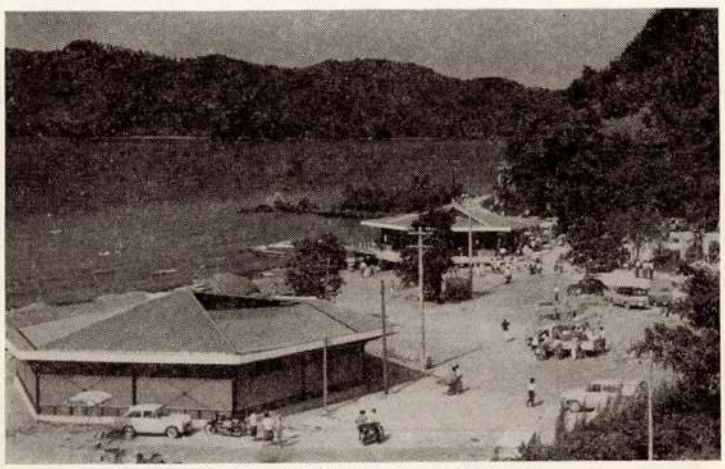
年度	31年	32年	33年	34年	35年	36年	計
設置数	4	8	5	14	20	31	82
収容人員	252	905	445	1,373	1,645	3,309	7,929
融資額（万円）	5,500	13,300	11,000	29,900	37,600	95,990	193,290

註）他に国立公園協会指定の国民宿舎は81軒（36.4.）ある。





近江八幡国民休暇村マスタープラン



近江八幡国民休暇村宮ヶ浜水泳場（'62.7完成）食堂およびバースハウス

会は36年度2,000万円，37年度3,000万円（38年度4,000万円見込み）の国庫補助をうけ，さらに当初建設の関係10県から 5,000万円（さらに昭和38年度 5,000万円追加見込み）を出資金の形で資金の導入を仰いでいる。

厚生省によって樹てられている国民休暇村の整備計画によると，差し当り第一期計画として，国立公園，国定公園の地域内に22ヵ所，事業費総額85億円（公共施設15億，有料施設70億）で整備する計画であり，その一ヵ所当りの計画内容は面積50～200 ヘクタール，事業費 3～5 億円宿泊収容力一日800～3,000人，年間延利用者数20～50万人となっているこのうち昭和36，37年度着工分として10ヵ所が指定され（配置図参照）協会では，その昭和36，37年度事業として，それぞれ 4 億 3 千万円，6 億 3 千万円の事業計画を策定，年金福祉事業団に融資の申請を行なうと同時に，各休暇村（集団施設地区）のマスタープランにもとづき，その公共事業計画と歩調をあわせて，昨年春より一斉に建設段階に移ったものである。

宿舎，ロッジなど主要建築物の設計者選定については，事業の性格上からも慎重を要するのは当然であるし，また，それぞれの休暇村につくられる一連の施設にデザイン上の統一がえられるよう，一休暇村，一設計事務所という原則がとられるべき意味からも，その選定には特別な考慮がはらわれた。現在までに決定，実施中の設計監理者(および施工者)は，つぎのとおりである。

裏磐梯（宿舎 200人収容）：日建設計工務東京事務所（施工：KK間組）
鹿沢（宿舎 200人，ロッジ70人）：RIA建築総合研究所・東京（施工：日東建設KK）
館山：未定
乗鞍高原（ロッジ 100人）：協会技術課（施工：KK熊谷組）
近江八幡（宿舎 200人・食堂・バースハウス：一粒社ヴオーリス建築事務所・大阪（施工：佐藤工業KK）

南淡路（宿舎 200人）：三座建築事務所・大阪（施工：KK新井組）

加太（宿舎100人・セントラルロッジ）：富松建築設計事務所・和歌山（施工：KK原庄組）

鏡成（宿舎 150人・ロッジ70人）：河内義就設計事務所・広島（施工：KK栗林組）

蒜山（宿舎 200人）：協会技術課・石塚建築事務所（未着工）

大久野島（宿舎 100人）：石本建築事務所・東京（施工：KK共立組）

休暇村の建設の進め方は，国の直轄ないし補助事業で行なわれる。（実施担当は県）公共事業と，当協会が年金事業団からの融資をうけて行なう有料施設の二本立てで進められるわけで，そのほか，指定条件として県市町村など地元関係で解決されることになっている土地問題，各種補償，電気，電話の引き込み，到達アプローチの改善，その他併行して進められるべき問題は各地に山積しており，これらをスムーズに調整しながら，工程にあわせて作業を進めてゆくには，国，県，地元および協会の間のよほどの緊密なチーム・ワークを必要とするわけである。

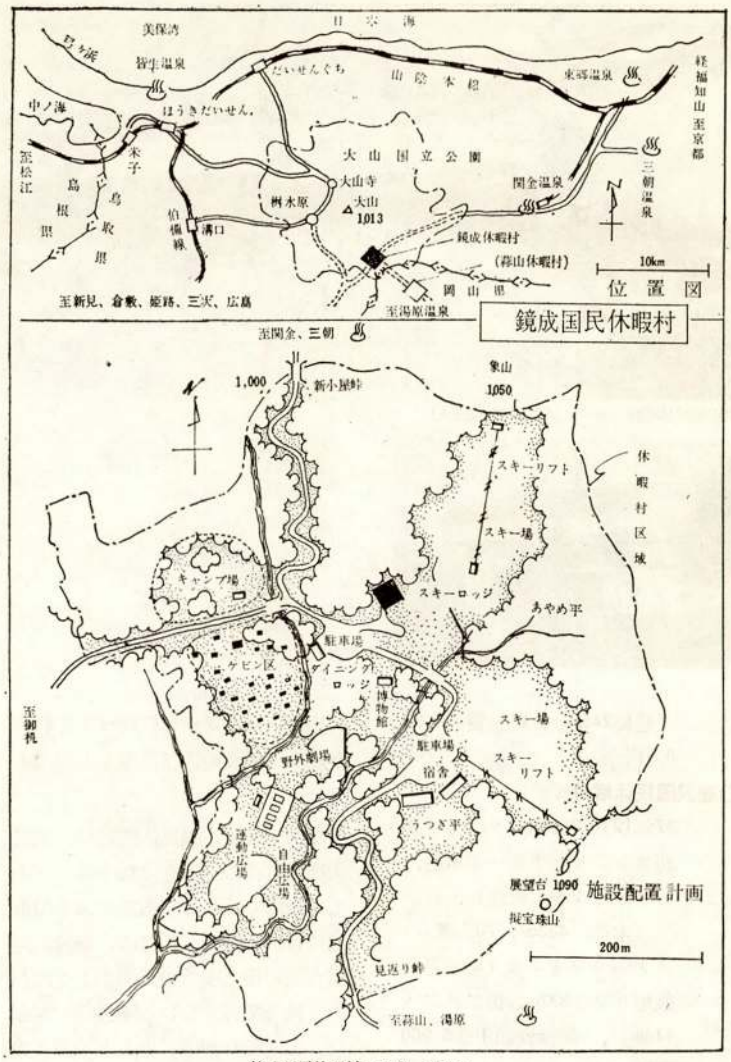
すでに一部完成し，営業活動に移った休暇村はつぎのとおりで，制限された工期，切りつめられた単価，不馴れなサービス活動など困難な条件にもかかわらず，その恵まれた自然，環境，質実な施設とサービスなどによって大方から好意的な支持をうけ，ほぼ順調なすべりだしをみせている。

○近江八幡国民休暇村

宮ケ浜水泳場：37年7月21日開所，食堂（166m²），バースハウス（259m²），大テント，ボート，カヌー，モータボートなど舟遊び施設，総投資額 1,500万円，利用人員推定延40,000人（～8月31日）最大日利用4,000人。

○鏡成国民休暇村

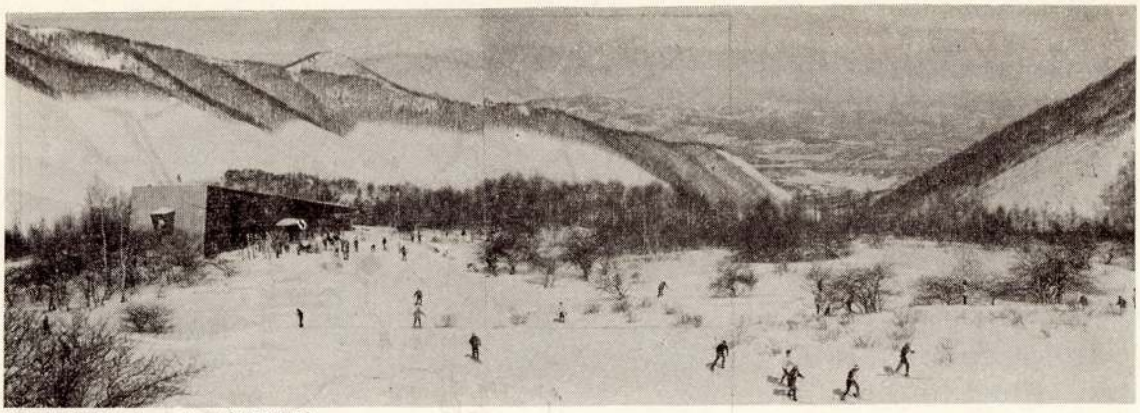
37年12月20日開所：ロッジ（木造一部鉄筋コンクリート造70人収容），スキーリフト



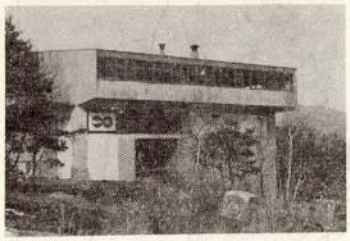
鏡成国民休暇村マスタープラン



鏡成国民休暇村スキーロッジ（'62.12完成）



鹿沢国民休暇村スキーロッジ（'62.12完成）



同宿舎本館（'62.12完成）

（延長245m），総投資額4,800万円余。

○鹿沢国民休暇村

37年12月22日開所：宿舎（鉄筋コンクリート造一部木造，2,760m²，220人収容），ロッジ（木造，433m²，70人収容）スキーリフト2本（第一夏山兼用リフト337m，第二リフト446m），総投資額1億5,000万円。

このほか現在建設中のもとに，裏磐梯宿舎（鉄筋コンクリート造一部木造，3,016m²，200人収容），乗鞍高原ロッジ（木造一部鉄筋コンクリート造，1,185m²，100人収容），近江八幡宿舎（鉄筋コンクリート造，2,714m²，200人収容），南淡路宿舎（鉄筋コンクリート造，2,853m²，200人収容），加太宿舎（鉄筋コンクリート造，1,548m²，100人収容），鏡成宿舎（鉄筋コンクリート造一部木造，1,895m²，150人収容），蒜山宿舎（木造一部鉄筋コンクリート造200人収容），大久野島宿舎（鉄筋コンクリート造，1,544m²，100人収容）などがあり，スキーリフト，舟遊び，水泳施設についても計画が進行中で，今春から秋にかけてこれらが続々と開設の運びに至るわけである。

このように，国民休暇村は，国民大衆旅行推の一翼をになうホープとして登場したわけであるが，その前途には，資金面，採算面，建設，運営などの面で多くの難関がよこたわり，決して軽々しい楽観を許さない。しかしながら，ともかく多くの期待と，そして課題をかかえたこの国民休暇村は実現の一歩をふみだしたのである。そこには「家族旅行」を中心とした真の意味での休暇旅行をうけ入れるべき容器（うつわ）が用意されるであろう。日常の生活サイクルの一環をうけもつ，レクリェーションの機能が十分に果されるよう大自然のなかに，憩いに満ちた生活空間が形成され提供されるであろう。そして，ユースホステルが健全な青少年旅行の発展に大きな寄与をなしているように，この国民休暇村事業は日本人の旅行慣習の転換，家族旅行の飛躍的発展をもたらす契機となるにちがいない。



裏磐梯国民休暇村宿舎完成予想図

修学旅行施設（旅館）への夢

財団法人　日本修学旅行協会常務理事・事務局長
秋　田　貞　男

バスが横ずけになる。降りてきた修学旅行生が正面玄関に立つとマジックドアが開き，順々にロビーに吸い込まれてゆく。ドアには光線の遮断で数字がでるような計算機がとりつけられているので，入館した人員が一目瞭然とわかる。先生や，付添いの校医，斡旋業者などは別の入口から入るようになっている。その標識は入口にあるが，係員もいて誘導する。

生徒を降ろしてしまったバスは，駐車場に待機する。全行程をバスで旅行する学校が乗ってきたバスで，今日の行程を終ったものは，エレベーターで地下の駐車場に運ばれる。そこで車体が洗われて明朝の出発まで待機する。この駐車場には簡単な修理ができる工場設備やガソリンスタンドもあり，旅館従業員と兼用の運転手，ガイドの汚れ物を洗う洗濯場，乾燥室もある。また，運転資料室もあり，ここには旅館を中心とした詳細な地図がおいてあり，交通情報板もあって有料道路のことや，工事中の道路，一方交通，右・左折禁止，駐車禁止から，混雑状態など，運転手に必要な事柄が張りだされ，天気予報板には明日の天気が書かれている。これをみて運転手は明日の心の準備をするが，ガイドのための必要資料もおかれている。この部屋は打合せ会ができるように設備されているので，引率の先生や斡旋業者を混えて打合せをすることができる。この部屋には自動点火式の湯沸器もあるので，お茶を飲みながら相談ができる。

ロビーに入ってしまった生徒は荷物置場にそれぞれ荷物をおいてから順々に清浄室に誘導され，この部屋のなかで洋服や靴の汚れを落し，手や顔を洗う。つまり一日の汚れと，ホコリを落すのである。この部屋を1階に設けたのは休憩だけの学生のためをも考えたからである。それと室内に入る前に身の廻りを清潔に整えることの教育目的をも果たすためである。

この1階には面会室があり，生徒はもちろんのこと，先生の面会もここで行ない，2階以上は外来者の立ち入りが禁止されている。この部屋には湯茶が飲める設備があるが，洗い場もあって，使用した湯飲茶碗は各自が洗って始末するようになっている。

また，生徒のための資料室もある。ここは名勝，旧蹟などの見学個所に対する資料，写真などが主であるが，物産から土産品までもある。この資料室は地元の先生方の指導によって，判りやすく，興味がもてるような工夫が凝らされているが，修学旅行の引率先生方の意見を十分にとり入れている。

目立つのは食堂である。この旅館の収容人員が楽に入れるこの食堂は，入口でお膳が渡され，それをもった生徒はあらかじめ指定された席に着き，全員着席を待って食事をする。食べ終ったら廻転するコンベアーベルトの上にお膳をおくと，そのお膳は洗い場の方に運ばれる。湯茶はテーブルの上にでている蛇口をひねるとでるようになっている。ここではセルフサービスなのである。目立つ個所に今日の献立とその材料，カロリーなどが書き込まれた掲示板がある。先生方の坐るテーブルの上にはマイクがあるので坐ったままで注意や指示を与えたり，テーブルマナーの指導，つぎの予定などを全員に放送することができる。食事終了後はこの食堂が講習会，講演会，映画会，演芸会の会場ともなる。そのために必要な舞台や映写室もあり，テーブルの上にでている蛇口も引き込ませてテーブルとして使えるような仕掛けになっている。

ロビーは到着したときの集結場所であるとともに，交歓室ともなる。ここで地元の生徒や，同室した他校の生徒との交歓会をする。それができるように椅子などの配置が工夫されている。

フロントの後の事務室には放送室があり，到着したときに歓迎のために，宿泊する学校の校歌を流したりすることもあるが，常時は子どもなどの喜びそうなもので，静かな音楽を放送している。この放送室から各部屋，洗面所，便所，廊下などにも放送ができる。その隣接に現像室もあり，今日撮影したものを自らの手で現像することができる。また，売店もあるが，ここで取扱っている品物はすべて教育委員会などの指導をえている。

2階は男女別の大風呂と小風呂が造られており，脱衣所は広々としていて湯上りが楽しめるようにしてある。この階は温室程度の温度が保たれているので，熱帯，温帯の植物をはじめとして，熱帯魚や小鳥などもいる。その一つ一つに説明がつけられていることはいうまでもない。女子の脱衣所は化粧室もあり，男女ともに脱衣所に

は体重を計る機械がおいてある。また，この階には診療所と患者用のベッドルームもある。このような設備を2階にしたのは見晴しが悪いことと，入浴のための見苦しい姿をみせないための配慮からであるが，1階の設備と，宿泊生活とを完全に切り離してしまうためである。

3階以上はすべて客室となっていて，その設備は各階とも全部同じになっているが，中央を境界線として左右に男女の部屋をわけている。中央は引率の先生の部屋となって，この部屋にはマイクの設備があり，その階の各室に放送できるようになっている。また，スイッチを切り換えると各室の話声などが聞けるようにもなっている。いわば居ながらにして連絡ができるし，ある程度の生徒管理もできる。中央にはエレベーターがあるが左右には男女別の階段があるので，男女の生徒が入り混ることがないのである。便所，洗面所も左右の隅にあるので顔を合せないですむ。この二つはとくに近代的な設備がしてあるが，女子の便所には生理上の始末をする設備もある。洗面所に付属した設備としては洗濯場と乾燥室がある。汗になった下着や汚れたハンケチ，靴下などを洗って乾燥室に入れておけば翌朝までに完全に乾くのである。この乾燥室は見学中雨に遭い，洋服などが濡れたときには非常に役立つのである。そのために乾燥室の傍にはアイロン仕上げ室もある。短い日数なので洗濯を必要とすることはあまりないので，この設備は大げさなものではないが，それでも電気洗濯機は備えつけてある。これは各階にあるが，利用するだけでなく教育材料として使える。

照明はとくに注意している。多くは間接照明の方式をとっているが，暗い感じは与えない。この階の電灯はすべて先生の部屋で操作ができるようになっているが，各室ごとに点灯，消灯ができる。消灯後，非常事態が起きたときは先生の部屋のスイッチで点灯ができる。照明でとくに留意したのは足下を明るくするための照明設備である。これは危険防止だけでなく，床を汚さないための効果をも考えてのことである。夜，就寝時間後は足下の照明だけにしてしまうので，電力の節約ともなる。室内の電灯は入口で点灯し，中に入ってからは内部のスイッチで点灯，消灯が自由にできるようになっている。部屋の内部は二段ベッドになっているが，そのベッドの壁面には一等寝台車のように豆電灯がついている。また，机椅子もあるので手紙を書くときは机上のスタンドをつければよい。部屋の中央の天井には非常時に鳴るベルがある。

各室ともにドアの裏側は鏡になっているので，部屋からでるときは服装などを整々してゆける。女子の部屋のベッドには鏡がついているので化粧直しができる。電話器もあり，荷物の整理棚もある。部屋をベッド式にしたのは洋式ホテルの宿泊訓練をすることを前提にしたためである。しかし，畳敷きの部屋も必要なことがあるので予備室として一室だけは純日本風の部屋にしてある。ときによってはこの部屋でお茶やお花が楽しめるように，その設備がしてある。この部屋で日本旅館に対する宿泊心得えなどの教育もできるような配慮がしてある。

屋上は展望台と花壇になっている。展望台には方向指導板があり，望遠鏡も備えつけてある。花壇は季節の花が植えられているが，宿泊した生徒が想い出のために郷土の花の種をまけるような場所もある。

このほか，全館を通じて苦心してあるのは通風，換気であるが，それとともに色彩にはとくに注意している。たとえば，廊下に巾30cmほどのセンターラインを引き，その色は各階ともに変えている。したがって色を覚えていれば階数をまちがえることがないという具合の配慮もある。改めていうまでもなくこの修学旅行生専用旅館は暖冷房完備である。

……と，いう具合に説明したが，こんな修学旅行生専用旅館は現存していない。これは私の夢の一部を組み立ててみただけであるが，近い将来にはこの程度の旅館が生まれることを願っている。現状では宿泊訓練の場として不足だらけであり，旅での楽しい夢も結べない。

トンデモナイ……そんな旅館など造れるものか，第一商売としてはなりたたないとおっしゃるでしょう。しかし造る気があれば，学校の延長として，教室的に解釈して，国家が補助し，地方自治体が土地を提供，利用する都道府県が建築費を分担し，特殊法人をつくって経営に当らせるようにすればできると思う。その意味で依然たる“夢”より実現可能性のある“夢”を思いつくままに書いてみたのである。

天井・間仕切には軽量鉄骨を・軽量鉄骨は日進式を御採用下さい・

耐震・耐火・軽量・堅牢

防錆完全・中空防音

合理的工法・責任施工

株式会社 奥村重兵衛商店

大阪市北区木幡町六〇番地
電話北(40)四一三一～四

＝特許＝
氣光式通風器 製造販売
開閉式レヂスター
特許第一五一三六号
カタログ進呈
大阪市西区江戸堀下通2-79
田辺工業株式会社
電話土佐堀(44)7437－9

スポーツの社会学

東京大学教育行政学研究室

飯野節夫

1. スポーツの本質

スポーツとはなにか，スポーツの本質はなにかという問に対してはさまざまな解答が今までに行なわれてきている。それは，スポーツの果してきた，あるいは，果している役割が多面的であり，一つの概念規定で片づけられるほど単純ではないからだ。

通説として，スポーツは，身体運動であり，遊戯，娯楽であり，あるいは競技であると定義されている。しかし，このような定義がどの程度，スポーツの本質に迫りえているといえるであろうか。この点については大いに疑問がある。というのは，このような定義においては，スポーツにまつわる外的条件がすべて捨象されているからである。外的条件とは，経済条件，政治条件，社会条件，生活条件などを内包している。スポーツの問題は，このような諸条件を抜きにしては正しくとらえられない。このような視点から，スポーツに目を向けた場合，まず第一に問題にされなければならないのは，スポーツがだれの手中にあり，だれによって，だれのために行なわれているかということである。スポーツから引き離され，スポーツに親しむ機会を奪われているのはだれかということである。これをつきつめて考えていけば，スポーツは勤労者大衆のために再組織されねばならないと結論に帰着するであろう。

その場合，勤労者大衆の間に広くスポーツが普及するかどうかは，大衆自身がスポーツをどのように考えるかということと密接な関連をもっている。つまり，スポーツを“私事”と考えるか，それとも“国民の共同利益”と考えるかによって“大衆スポーツ”が創造されるかどうかが決ってくるのだ。前者は，スポーツに従事することは，ピアノやヴァイオリンをひいたり，絵をかいたりすることと同様に私事だと考える。後者はスポーツをつぎのように考える。つまり，スポーツに対しては，現実に疎外されている勤労者大衆の人間を回復することが要請されているわけであるが，それは，大衆の生存権的権利であり，私事としてではなく，社会の共同利益として，権利としてのスポーツを国家に対して要求していくことなしには，国民のスポーツ要求は，本当には実現しえないのだという観点に立つものである。事実，スポーツを私事としてとらえてしまうと，好きなもの，技術のすぐれているもの，つまり選手だけがスポーツをすればよいという考えに堕してしまい，国民すべてのためのスポーツなどということは，とうてい実現されなくなってしまうであろう。

私は，スポーツをしたいという要求は，すべての人がもっているものと考える。世にいう“スポーツ嫌い”は，人為的なものであり，環境の生みだすものである。それは，過去の学校教育なかんずく学校体育が生みだしたものであり，一層基本的には，スポーツをする機会を生みだしえないような日常の生活条件に規定されてもたらされた結果である。国民大衆のスポーツ要求は日常のきびしい生活のなかに埋れてしまっているのだ。それらを堀りおこし，組織化していくためには，国民の一人一人が，スポーツは権利なのだということを自覚して，国家に対して，スポーツをするための条件整備を要求していくことが大切なことではないであろうか。

しかし，日本のスポーツがおかれている現状は理想からはるかにへだたっている。そこには非常に多くの弊害が存在している。つぎに，それらのいくつかを眺めてみたい。

2. 日本スポーツの現状

まず第一に指摘されなければならないことは，政治とスポーツは決して同じものではないが，密接不離の関連をもっており，スポーツはその独自の論理だけで自由に発展していくことはできないということだ。スポーツは政治的に利用されうるし，また現に利用されているのだ。その典型的な現われはプロ・スポーツである。それは今や“観るスポーツ”を通り越して“読むスポーツ”にまでなっている。スポーツ新聞の隆盛がそれである。現在，日本においては20種類近くのスポーツ新聞が発行されているが(註1)，それらがどんなに多くの読者をもっているかは，朝夕の通勤電車内を見回わせばおおよその判断はつくだろう。そのようなスポーツへの接近の仕方は，一時的には活のうさを忘れさせてくれるだろうが，それらを完全に忘れさせ，明日の生活のエネルギー源を生みだしてくれるほどの効能はもっていないのだ。つぎのような亀井勝一郎氏の危惧はだれも否定できないだろう。

「今日のスポーツは，精神にとって危険な存在と化しました。私は，スポーツを否定しませんが，そのために新聞や雑誌の特別版が必要だということになると，これは知性のために危険だといいたいのです。一種の阿片的役割を果しかねない」(註2)

“政治をスポーツにもちこむな”という一見もっともらしい言葉がいかにごまかしに満ちたものか。それは，東京オリンピック大会の準備過程をみれば明らかである。政府は，昨年の夏，川島国務相を中心とするオリンピック東京大会関係閣僚懇談会の設置を決定し，さらに，天皇のオリンピック東京大会名誉総裁の就任を決めている。これが，スポーツへの政治介入でなくてなんであろう。ましてや，オリンピックというものは，国が主催すべきものではなく，都市が主催するのが立て前になっているのだからなおさらだ。

つぎにアマチュアリズムについてふれてみたい。私は逆説的になるが，アマチュアリズムについては言及しない方がよいと思っている。というよりも，どんな人でもそれを納得のいくように説明できはしないということだ。というのは，厳密にいえば，日本にはアマチュアリズムなどは存在しえないし，現に存在していないからだ。たとえば，都市対抗野球(実際は会社対抗野球だが)を本当のアマだと思う人はいないだろう。それは，大会社の宣伝合戦の道具であり，宣伝のためには強くなければダメだから，そのために大金を使って優秀な選手を集めたり，一般社員より選手を優遇しているのは周知の事実なのだ。学生野球の場合においても，選手にさまざまな特別待遇が与えられており，授業料などの免除などという事実をみれば，果して学生スポーツと社会人スポーツの間に本質的な差があるのだろうかということが大きな疑問になってくる。結論的にいえば，学生スポーツも本当の意味ではアマチュア・スポーツではないのだ。そのことは，大学運動部が毎年引き起こしている“アマチュア規定違反”事件をみればよくわかる。たとえば，昨年夏，北大スキー部，東北大ボート部という伝統をもつ名門校のスポーツ選手がテレビのビタミン剤宣伝に出演し，アマチュア規定にふれ責任を追求された。北大のスキー部長は「大学の予算やOBの寄付金だけにたよっていては部の運営ができない現状だ」と語っているところからみて，報酬をうけたととられても仕方がないが，このような事実こそ，日本スポーツの現状を忠実に反映したものだといえないだろうか。

もはや，アマチュアリズムなどということは過去のスポーツ精神であり，破産にひんしているしろものだ。アマチュアリズムというものは，いろいろな美辞麗句で飾り立てられており，表向きはなるほどと思わせるところもあるのだが，基本的には，すでに時代の進展についていけなくなっているのだ。アマチュアリズムとは，もともと，新興ブルジョアジーが肉体労働者をスポーツ界からしめだすために考えだした自分勝手の規則である。スポーツが広く普及すればするほど，カネとヒマのある人びとしかスポーツに従事できないようなアマチュア規定が現実に合わなくなるのは当然である。

また，プロ野球の選手引き抜きに対する対抗策として社会人野球協会では一昨年夏に「一度でもプロのめしを食った選手，監督，コーチが退団しても今後いっさいやとわない」という強硬な内規をとりきめたが，そうなると，もはやプロかアマチュアかなどという空虚な論議の問題を通り越して，人権問題に連なっているといえよう

もう一つ言及しておきたいことは，スポーツの世界では，他の世界と異ってプロが尊ばれずアマが尊ばれているということだ。芸術家，学者，弁護士，医者，裁判官などそれぞれの領域で専門家として尊敬されておるのに，スポーツ界においては専門家であるプロ選手は金を得るがゆえに賤しい存在と考えられているのだ。そうでなければ，プロのコーチをうけてはいけないなどという規定がつくられるはずがないのだ。オリンピック選手強化対策を立てるときにも，プロ・コーチをおくべきかどうかが大きな問題になった。スポーツに限ってプロ・コーチをどうして排除しなければならないのか不思議なことだ。絵画や音楽や芸能の世界ではそれが問題にならないのに。

以上において，主として批判的立場から日本スポーツの現状を眺めてきたわけであるが，その最大の欠陥はスポーツが大衆のものになっていないということである。以下において，スポーツの大衆化をはかるための具体的な方法について若干の問題提起を試みてみたい。

3. 大衆スポーツの創造

スポーツの大衆化とは，厳密にいえば，知識の上での大衆化と，実践の面での大衆化とにわけることができる。前者の場合には，大衆はスポーツを見たり，聞いたりして，知識として知っているに過ぎないのに対して，後者の場合には，身体づくりのために，あるいは，レクリエーションのために自主的にスポーツ活動に参加するのである。この場合，いうまでもなく，スポーツの真の

大衆化とは後者の場合である。

このような観点からみた場合，日本スポーツの現状はきわめて貧困である。内閣と日本体育協会の行なった調査によると，スポーツの普及度はつぎのようになっている。「スポーツの好きなものは内閣の調査では49％（男65％，女36％）体協の調査は74％（男85％，女64％）である。……スポーツを実際に行なっている者は，内閣の調査では13％（男19％，女7％），体協の調査では35％（男46％，女23％）となっている。スポーツの愛好者が4人のうち3人であるのに比べ，スポーツの実践者は，3人に1人であり，いちじるしく少ない」（註3）ここで，スポーツ実践者に入れられている人でさえも系統的に満足のいくだけスポーツを行なっているのかどうか疑問だが，それはともかくとして国民の3分の2がスポーツ実践に無縁な存在であるという事実は軽視すべきではない。

スポーツの大衆化を実現するためには，大衆自身がスポーツの必要性を自覚できるようにならなければならない。その前提として，労働とスポーツとの関連をどうとらえたらよいかということを考えておかねばならない。学生や生徒の場合なら，勉強とスポーツとの関連におきかえることができる。労働や勉強は人間の生活にとってもっとも本質的な活動であり，人生において必要不可欠なものである。それは，人間が生活の資をえるために必要であるばかりでなく，人間がその_もて_る潜在的可能性，諸資質を調和よく全面的に発達させるためにも不可欠なのだ。しかし，現実の資本主義社会においては，労働は正しく組織されておらず，労働者の労働条件はそれほど恵まれているとはいえない。とくに，オートメ化の進んだ大企業においては，労働者の神経系統に激しい負担が加えられており，これらの負担を軽減し，神経の過度の緊張を解消することは，ゆるがせにできない問題なのだ。

これらの課題に応えるべきものとして，スポーツが大衆の前に登場してくる。この場合，注意しなければいけないことは，労働とスポーツを対立関係においてとらえてはいけないということだ。労働とスポーツは対立したものではなくて，むしろ，互に相補い合って人間生活に奉仕し人間の完全な発達を保証するものなのだ。もちろん，その場合，労働が正しく組織されていなくてはならないのだが。

つぎに問題にされなければならないのは，設備とくに運動場の不備というよりも欠除である。競技場は少しずつつくられつつあるが，一般大衆のための運動場がつくられたなどという話はほとんど聞くことがない。大衆の運動場としてはわずかに公園のグランドがあるに過ぎない。理想をいえば，少なくとも都市の場合なら各区に一つの総合競技場と体育館が大衆のためにつくられるべきだろう。

つぎに運動種目の選択にも意を用いることが大切である。たとえば，野球は非常におもしろいゲームではあるが

1. 広いグランドを要すること
2. 用具が高いこと
3. ゲーム時間が長いこと
4. 一時に多くのプレーヤーがゲームに参加しえないこと
5. 危険率が比較的高いこと

などの欠点ももっており，大衆スポーツとしてかならずしもすぐれているとはいえない。大衆が容易に実施しうるスポーツであるためには，狭いグランドで短時間多くのプレーヤーがプレーしうるものでなければならないその上，興味の伴なうものがはじめて大衆スポーツの資格を有するのだ。そのような意味合いからみて，大衆にふさわしいスポーツ種目は，バレーボール，バスケットボール，卓球などであろうか。とくに，バレーボールの場合は，ボール1個（ネットがあれば一層望ましいが）あればとにかくパスのトレーニングだけはできるのだから簡単である。ゲームに要する時間も比較的短かくてすみ，その割に運動量が多く，両軍合わせて18人のプレーヤーが狭いコートで（野球場の数十分の一の広さのところで）楽しむことができるのだ。といっても，私はこれ以外のスポーツを否定しているのでは決してない。ただ野球中心主義のスポーツの在り方に少し疑問を感じているということなのだ。

以上において，スポーツの大衆化に関して私の考えを二，三述べたのであるが，スポーツが国民生活のなかに本当に根づいていくためには“たかがスポーツのこと”などと考えないで，できるだけ多くの人が真面目にスポーツ問題にとり組んでいくことが必要なのではないであろうか。

（註1）生活科学調査会編「スポーツの社会学」昭和37年10月刊，p81
（註2）角川文庫「愛の無情について」亀井勝一郎著，p17
（註3）文部省体育局運動競技課「日本スポーツの現状」昭和36年3月，p21～p22

スポーツ施設の種類と発展方向

文部省 体育局スポーツ課長
西田泰介

1. スポーツの歴史と施設の関係について

現在わが国で行なわれているスポーツの種類は40種以上もあり，スポーツの意味を広くとるとその他にもキャンプ，ハイキング，遊泳，フォークダンスなどたくさんのものがある。

これらのスポーツの中には，わが国に古くから伝わったもので，武道と呼ばれていたものが近年スポーツ化したものもあり，アメリカやヨーロッパから伝えられたものもある。わが国のスポーツの起りは，明治6年に米国から野球が伝えられたのが最初であるといわれているが，その後，ボート，テニス，陸上競技，サッカーなどがつぎつぎと伝えられたが，これらのスポーツは主として東京帝国大学，東京高師，慶応大学，東京高商などの大学または高等学校に伝えられ，学校のクラブを温床として発展してきたものである。

中には在留外国人の間でスポーツクラブがつくられたり，日本人の手による街の野球クラブなども生れたが，これらはあまり長続きしなかったし，普及もしなかった。

明治45年（1912年）アントワープのオリンピック大会に参加するために，その前年に大日本体育協会が創設され，オリンピック代表選手の選抜を行ない，その後もオリンピックを中心にスポーツの普及をはかったが，参加者の多くは学生かまたはその卒業生で占められた。

また大正2年（1913年）に学校体操教授要目が制定され，大正15年（1926年）にこれを改正するなど，スポーツを含む学校体育は大いに奨励されたので，学校におけるスポーツは他の国に例をみないほど普及し発展を示してきたが，その反面社会におけるスポーツの発展は遅々として進まず，今日においてもオリンピック選手の70%は学生で占められている有様である。（欧米諸国では社会人の方が多い）

その原因は，歴史的な政治制度，教育思想，経済事情あるいは生活観などいろいろな理由によるのであるが，とにかく学校だけがスポーツを受け入れ得る基礎をもっておって，社会にそれがなかったことによるものである。

このことは当然その施設に影響を与えるもので，学校のスポーツ施設は欧米と比較しても一般的にあまり遜色がないほど整備されているが，社会のそれはまったく零に等しいほど発達しない結果となっている。

学校の施設といえども，その設備が高級なものということはできないけれども，どの学校でも相当な広さの運動場を備えることが常識とされ，近年はほとんどの学校で体育館，プールなどを整えるようになり，それがぜいたくだとは考えられなくなってきているのに反し，一般社会においては今日においてなお他の施設の犠牲になるか，後廻しにされることが普通である。

戦後大都市においては，国民体育大会などの影響もあって，県立または市立の体育施設が設けられるようになったが，その形式はほとんど大会用のものである。

このことは，わが国のスポーツが，オリンピック大会やアジア大会（戦前は極東大会）などを中心として発達してきたために，常に選手中心主義的な方向で進められてきたことに起因している。

この点もまたヨーロッパなどのように，街のクラブ中心のすなわち市民のための市民によって整えられ発展してきた施設と趣を異にするところである。

わが国でいえば，ちょうど街の柔道場や剣道場などのような形式（もっと立派ではあるが）で整えられたヨーロッパのスポーツ施設に比較して，選手養成や大会用として（大衆よりも選手の方が要求度が高いことを示す）大きなスポーツ施設がまず整えられてきているのが現状であり，目下のところスポーツに親しみたい大衆は学校の施設以外に利用できるものをほとんどもっていないのであり，これが目下のわが国スポーツ施設の在り方に対する歴史的因縁である。

2. 環境とスポーツ施設の関係について

その昔，海や山が近く，日光も空気も水も豊かであった時代には，日々の生活そのものの中から運動も楽しみも得られ，新鮮な空気や水で自然に健康を保つことができたであろう。

ところが人が増え，その人が無数に集まり，科学が進歩するにつれて，空気はにごり，日光は弱まり，水は不潔になり，そして人は生活に疲れ運動不足になると，とてもそのままでは過されなくなる。

スポーツは本来人間の遊戯本能にもとづいて行なわれるものであるといわれるが，このような生活環境の変化は一層スポーツの必要性を高め，またその種類に強い影響

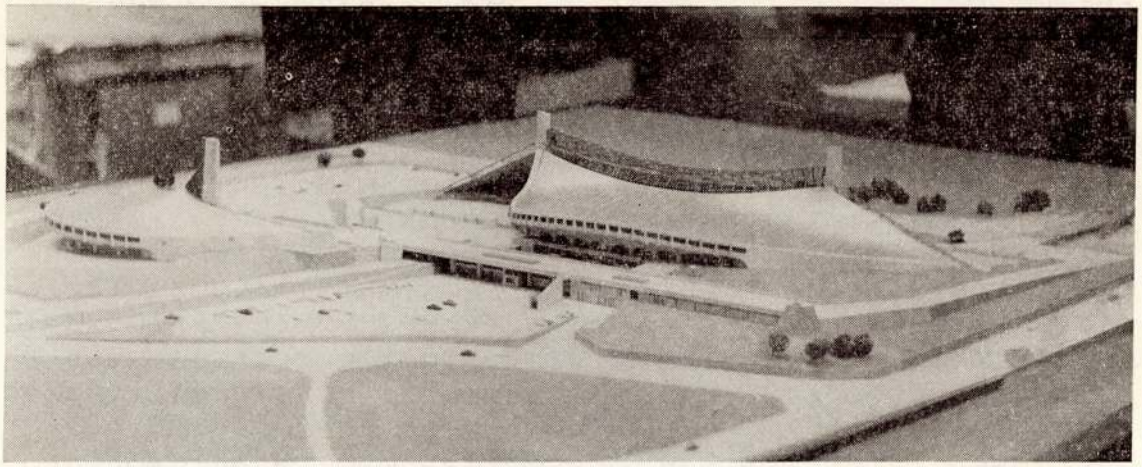
を与えずにはおかない。
今から20年前のわが国の人口分布は，農山村60%，都市40%であった。この時代にはまだ子供たちも大人も割合自由に水に親しみ山に登ることができたし，スポーツをやりたい人でも大体学校の運動場で事足りた。
それが今では逆に都市人口が60%，農漁村が40%となり，ますます人間と産業が都市に集中する傾向にある。その上農村でも山は荒れ，川は農薬で汚れて自然に親しむこともできなくなりつつあるという。
こうなると，いきおい自然環境だけでは人々の楽しみも活動欲も満足することができなくなり，都市，農村を問わず人工的なスポーツ施設を必要とするようにならざるをえない。
ことに都市生活者にとっては，その環境の悪さはひどいもので，その不健全さを防ぐために若い人のスポーツ施設，老壮年者の憩いの場は絶対不可欠のものとなったといっても過言ではない。このことは，このような人々の不満のはけ口をねらって，無数の商業娯楽が濫立し，そのいづれもがそれ相応に繁昌していることをみてもわかるのである。
これら商業娯楽の安っぽいあるいはいかがわしい慰安の提供が，またさらに人々の生活をゆがめてゆく悪循環を繰り返えしている現状をみて，人間の真の幸福，さらに民族の将来を考えるとき，健全なスポーツ施設の提供がまことに急を要することを痛感せざるをえない。
もちろんもはやわが国の現状において，広々とした緑の運動場をのぞむことは難しいであろう。その代りに手軽に，自由に，低廉に，気持よく使えるスポーツ施設が無数に造られねばならないということである。

3．経済の発展とスポーツ施設の関係について

この問題は二面から考えることができる。その一面は個人の収入の増加とそれにともなう消費の増加である。食うや食わずのときにはなんといってもスポーツどころではない。生活を楽しむとか高めるということは，やはり衣食住のつぎにくる欲求であろう。
終戦後の10年間位の間は，恵まれた人や一部の心ある人々の間でスポーツが行なわれ，多くの人々の家計簿にはスポーツのための出費は計上されなかった。
それが近年一応生活が安定し，収入も増加してくるにしたがって人々の関心はスポーツに集中しはじめた。海も山も季節毎に人で埋まり，プールも体育館も，狭い野球場も若い人であふれるようになった。
スポーツ施設は造っても造っても追いつかない状況が続くであろう。
もう一つの面は，産業界の経済と技術的な面の進歩を考える必要がある。
昭和13年に神田にできた国民体育館（厚生省で建設）は約400坪ほどの鉄骨の体育館であるが，当時は日本でもっとも大きく立派なものとされていたが，今では小学校の体育館でももっと立派なものが沢山あるほど前近代的な代物になってしまった。
それはここ20年間における産業経済の発展や技術の進歩を物語るもので，同じ国立でも目下約25億円をかけて1万5千人の観客を収容するオリンピック水泳競技用の国立屋内総合競技場を建設中であるが，その二つの体育館の差がそのまま時代の差を表わしているといえるであろう。それには一頃はぜいたく品と思われていたスポーツ用具が，子供のお小使いでも買えるほど格安になり，どんな田舎にいっても手に入るようになった産業技術の発展を無視することはできない。
かくてスポーツの発展は，ある時代にはぜいたくなものであったスポーツやその施設用具が，今日ではもはやありきたりのだれにでも手のとどくものとなってしまった。経済の進歩と無縁ではないことを書き加えておく必要があろう。

4．学校と社会のスポーツ施設の関係について

前にも述べたように，わが国の学校体育は欧米のそれに比べても遜色のないもので，見方によってはそれ以上だともいわれている。
その理由は，正課の体育の時間（各国とも2～3時間）のほかに，クラブ活動と学校行事を合せて，全体として学校体育を組織し，指導もよく行なわれているからである。
これに反して欧米諸国では，正課の時間はよく研究し指導しているが，それ以外のクラブ活動や体育行事をあまり重視してないからである。
ところが残念なことにわが国の青少年の体育は，もっぱら学校体育に依存し，体育やスポーツは学校でやるものであり，それで十分だとだれしも考えがちであった。したがって青少年体育やスポーツ活動は学校に任せ切りで，社会ではほとんどその対策というものを持ち合せていないのである。
これに対し欧米諸国では，学校では正課の体育時間だけをしっかりやり，青少年のスポーツ活動は社会で受け持つべきものと考え，その責任は父兄や一般社会制度の中に含まれるとして，学校よりもむしろ社会でのスポーツ活動を重視する傾向がある。
したがって，青少年の体育全体を考慮すると，学校だけではわが国の方が熱心だといえても，学校と社会と合せるとやはり欧米のそれの方がはるかに充実しているということになるのである。
施設の面でも当然この傾向にしたがって，学校中心の体育施設しか持ち合さないわが国に比べて，欧米諸国では社会のスポーツ施設が非常に発達していて，青少年は好



昭和39年8月完成予定の国立屋内総合競技場模型（設計：丹下健三）オリンピック東京大会の際，水泳，柔道およびバスケットが行なわれる。

みのクラブに加入して，そのクラブの施設で自由にスポーツを楽しみ，体力をつけることができるのである。

学校だけのスポーツ施設，それもごく一部の選手（中学で32%，高校で28%程度）が専用しているような施設だけでは，はなはだしく立ち遅れているといわざるをえない。

5．今後のスポーツ施設の発展の方向

今まで述べてきたことを前提として，わが国の将来のスポーツ施設の在り方を考えてみると，

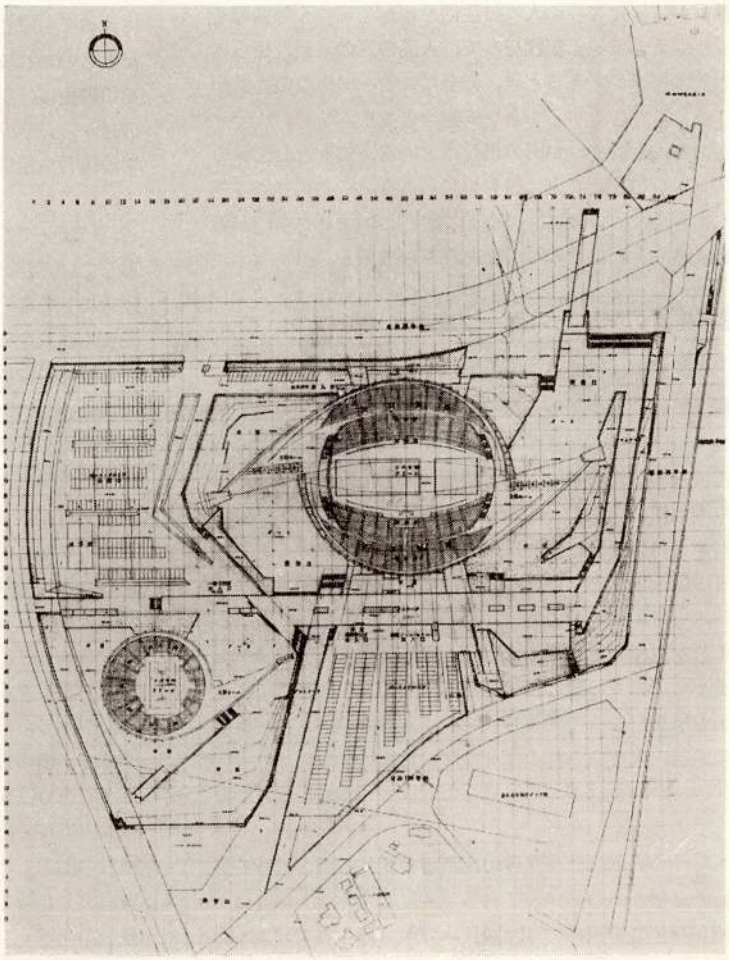
A　社会スポーツ施設の整備を急ぐべきこと

学校の施設は，前にも述べたように十分とはいえないまでも相当整備され，目下体育館，プール* などが計画的に順次建設されているが，心細いのは地域社会のスポーツ施設である。

*36年度体育館設置率		プール設置率	
小学校	43.9%	小学校	10.1%
中〃	46.0%	中〃	7.5%
高等〃（推定）	55.0%	高等〃	14.0%

都道府県や人口20万以上の大都市および大工場などはそれぞれスポーツ施設を保有しているが，これらのものは規模が大き過ぎたり，もっぱら大会に利用されるだけで，地域に密

屋内総合競技場（東京都渋谷区神南町1）



着した施設は皆無に近い状況である。
今後必要とされるものは，小規模のもので誘致距離が短く，庶民が利用しやすくまた親しみやすい施設が，あちらこちらに無数に造られるということである。
選手以外の一般の青少年や，働らいている人々にとっては，形式張った広壮なものよりもいつでも暖かく迎えてくれるようなレクリェーションセンターを必要としている。
つぎに考えられることは学校のスポーツ施設の利用であるが，従来学校の施設は生徒，児童が登校中に使用することのみを考えて造られたものが多く，一般に開放した場合に利用しにくくまた管理上不便で学校施設の開放を叫んでも案外その実があがっていない。
したがって，今後造られる学校の体育館やプールは，生徒，児童が下校後にも使用でき，その地域の人々にも開放できるような利用と管理の二面を考慮した設計のものを採用することを考えるべきである。

B　公営施設中心にスポーツ施設の整備を計ること

スポーツ施設は，学校のもの以外はぜいたく視されてきたので，公共団体がスポーツ施設を造るのには非常に多くの困難がともなうのが通例であった。
しかし，その必要性は近年急速に高まり，今や国民生活にとって必需のものとなったこと，しかしてこれを個人や民間団体などの手ではとうてい造りえないものであることから，当然その整備は公共団体の責任とされなければならない。
昭和36年6月に制定されたスポーツ振興法においても，このことを明示してスポーツ施設の整備を国と地方公共団体の任務としたのである。
西ドイツやイギリスなどでは，早くから民間団体の手によってスポーツ施設が造られてきたが，近年ますますその必要性が高まったので，市町村や団体の計画したスポーツ施設に対して，国も州もそれぞれ多額の補助金をだしてその整備を計っている。
わが国でもスポーツ振興法の成立を機としてようやくその必要性が認められ，地方公共団体の体育館やプールの建設に対して昭和37年度1億7千万円，38年度3億円程度のものが補助できることになったが，この程度ではまだ九牛の一尾にすぎないというべきである。

C　スポーツ施設の生活化と多角化

海や山のような自然環境を利用したスポーツ施設を整備し，また利用することは，現在も将来も必要なことであるが，同時にこれらのものの利用にはいろいろな点で限度があるので，日常生活と密着したスポーツを行なうためにはもっと身近かな施設を増設する必要に迫られている。
たとえば簡単な広場，小体育館，プール，柔・剣道場といったような狭い地域で建設可能なものである。
そしてこれらの施設は，競技本位のものから大衆的なものに，単一目的から多目的なものに，青少年本位から全住民対象のものに多角的に利用できる施設としなければならなくなった。すなわちレクリェーションセンターの性格をもったスポーツ施設であることである。
バスケットボールの試合ができることだけを考えて造られてきた体育館と，もっと体育室を小割りにして，バスケットボールも，バドミントンも，フォークダンスも，体操も，柔道や剣道もあるいは簡単な集会もできるといった具合にいろいろな階層や希望に応じられる施設とすることである。

D　指導と管理が行きとどくこと

とかくスポーツ施設を造ると，後の運営面において経費を少なくすませるために単に貸施設になってしまう例が多いが，今後のスポーツ施設は，それが地域の生活と密接に関係して運営されるべきことを考慮して，安全と適切な指導と快適な雰囲気とをもったものとならなければならない。そのためには設備の上から更衣室，シャワー，便所などが完備し，よく訓練された指導者または管理者が配置されて，行きとどいた配慮をもった施設とならなければならない。汚れた便所も困るし，汗まみれで帰らなければならないのでは不愉快であるし，いつでも選手級のものに場所をとられて，初心者が近寄れないようでは意味がないのであって，ときには子供連れでいっても面倒がみてもらえる位の親切さと設備が整えられていることが大切な条件となるであろう。

6.結び

以上にわたってスポーツ施設の発展の方向を述べてきたが，紙数の都合で議論が抽象的で本紙の読者に満足を与え得ないものであったと思う。
しかし，一応その必要性と方向についてふれてきたので，その具体的な方法については専門家によってつぎつぎに書き加えられることを期待し，来年にひかえたオリンピック東京大会を絶好の機会として，わが国のスポーツ施設が飛躍的に量と質の面で発展することを希んで結びとする。

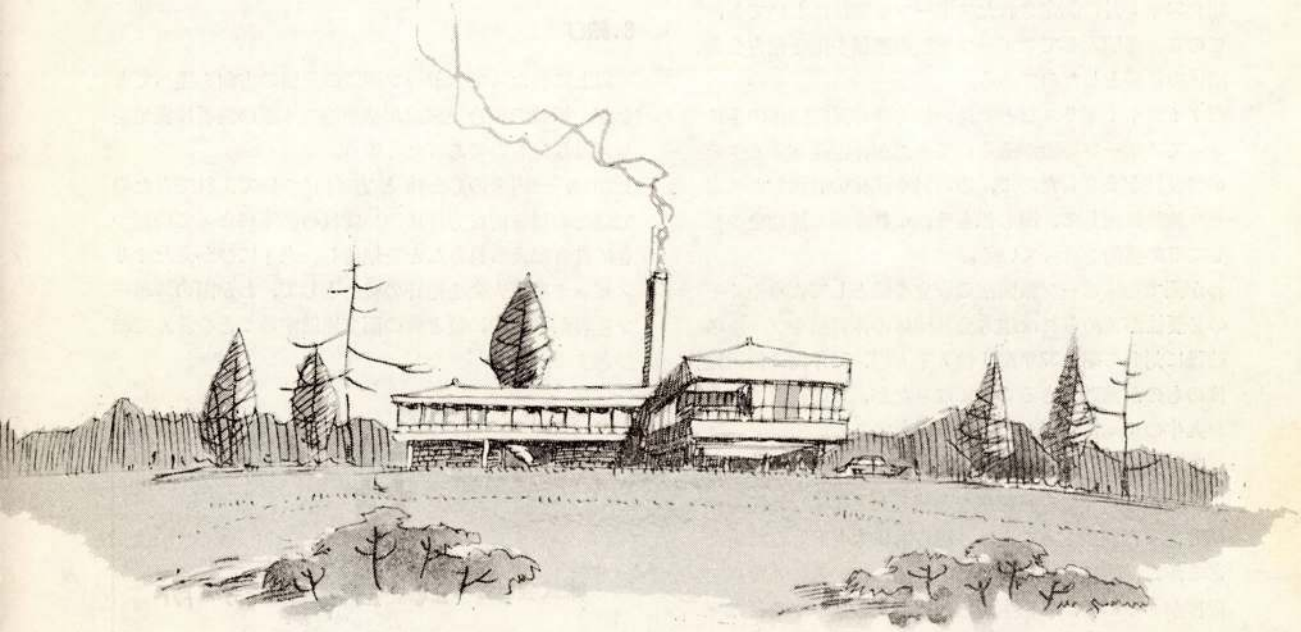
杭
株式会社　武智工務所
取締役社長　福留並喜
大阪市東区瓦町3ノ11(井池筋)旭洋ビル3階
電話 (202) 3233・3234

3 レジァー産業とレクリェーション

グラフィック・ルポ

1. 都市のなかのレジァー大阪のキタとミナミ

2. 観光地ルポ—白浜





大阪のキタとミナミ

都市のなかのレジャーを探る

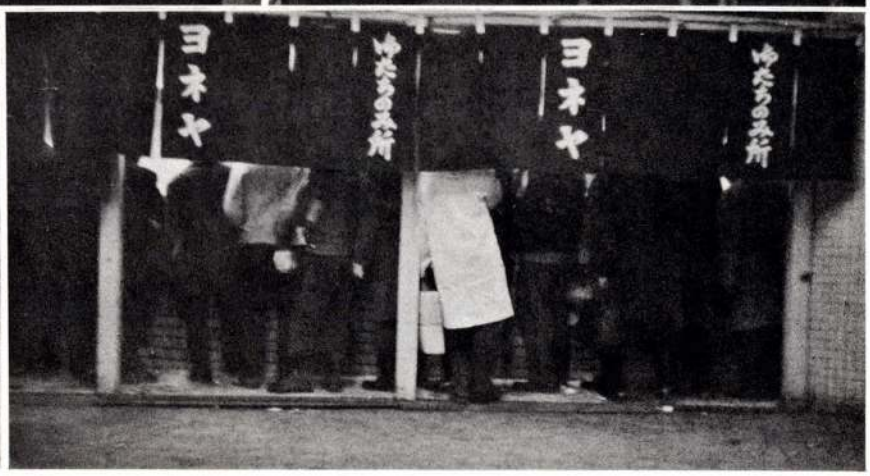
●製作　チエックの会 / 東　孝光 / 紙野桂人 / 小林邦雄 / 辻野純徳











「眠り込んだま、大阪駅に着く。オヤ、東京に戻ったのかナと錯覚することがある。しかし、御堂筋から道頓堀でワァッと来るネオンの重なり――トタンに大阪を感ずるね。」

たしかに、東京―大阪3時間の時代には「キタ」は「ミナミ」よりももっと「ギンザ」に近くなる。

そこにあるものはすべて現代都市のターミナルの問題。オフィス街とベッドタウンの間の百万をこす人間の流動と、それに群がるターミナルのレジャー・コンビナート。

生理的な最低の休養さえ取れないま、で、慢性の欲求不満に駆り立てられ、消費ブームの虚像を追い求める人たち。すべてが「こしらえ上げられた欲求」に対して待ち構えている「通りがかりのレジャー」。





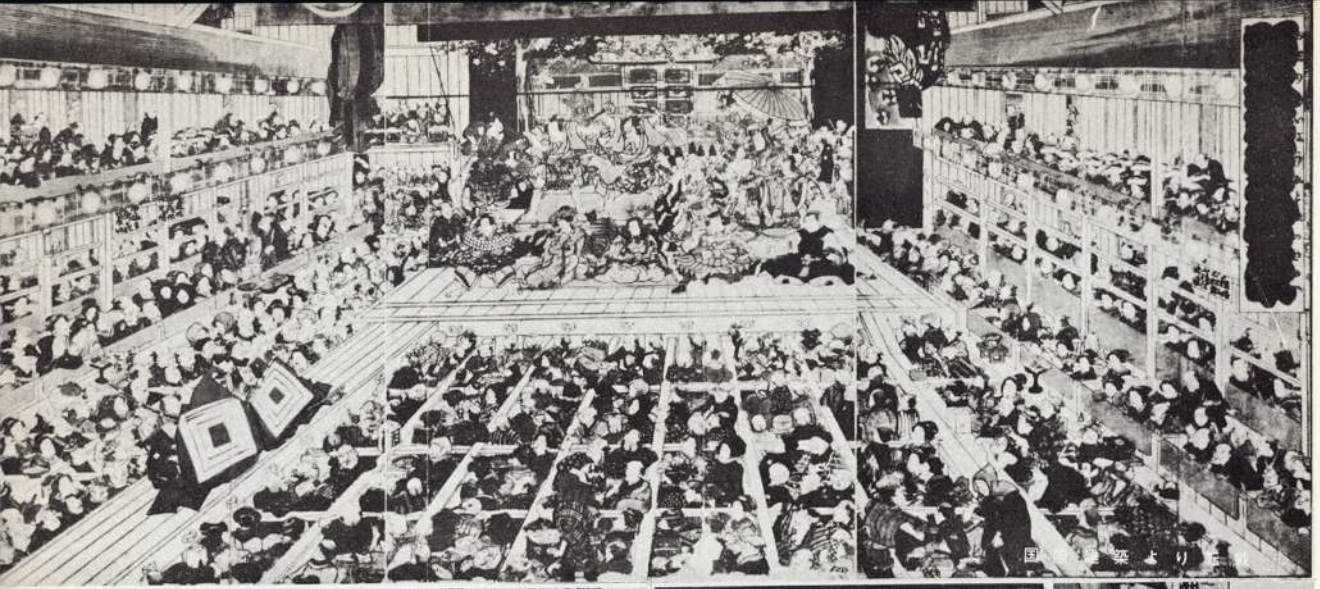




「レジャーにおける人間の自己疎外とは、労働において（人間性を）疎外されたわれわれが、その主体性を回復しょうとおもむいたレジャーにおいてふたたび主体性を奪われ、人間性を喪失することであり、……自己を開発させるはずのレジヤーを自己のレジャーでなく、他人のレジヤーと化してしまうことによって、レジャーにおいてすら自分自身にめぐりあうことが出来ないでいる。…」

（山崎進編「レジャー時代」）

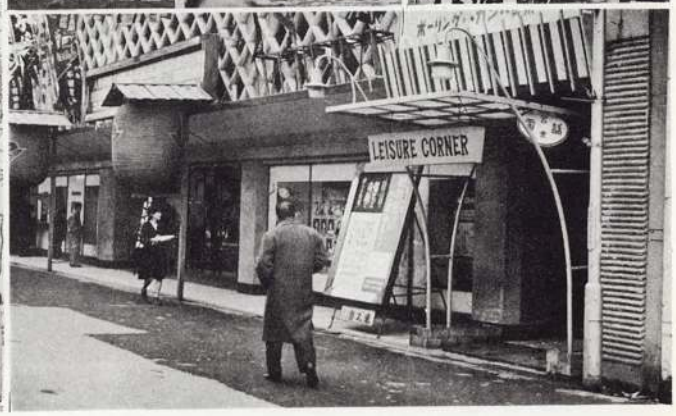
「心斎橋筋」――長年保たれて来たヒューマンスケールの道巾に天井と床が加わって出来た、流れる群衆を包む幸福な外部空間。そこには、ターミナルには見られない何かがある。ショッピングの楽しみだけでなく、群衆の一員となって、そこに流れること自身の楽しみ――広場などに見られる機能の一つの変型として見逃すことの出来ない性格を持つ。











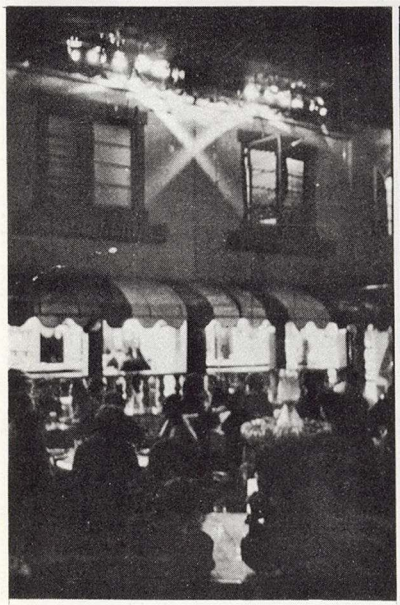
江戸後期の大阪地図。船場を中心とした市街地の周辺を取り巻いて、城や武家屋敷の官庁街と、神社やお寺と同一に、レジャー区域としての芝居小屋と「いろまち」が明確に区分されている。人の集まる所に自然発生するのでなく、都市の各部分の機能的な分離と秩序への意志。「キタ」のバー街が主としてオフィス街の延長であり、キャバレー、アルサロと混在するのに対し、「ミナミ」ではそれぞれ一群となった巾と厚みを持つ。

だが「道頓堀」にはかっての活気はもう失なわれている。現代の古典演劇は、団体と招待客に支えられているにすぎない。芝居小屋での舞台と客席の或は客席の間のいきいきとした交流は、茶の間のテレビに分散してしまったのか。無制限に拡がる郊外のベッドタウンと都心部の再開発の追いかけっこの間で、やがて「ミナミ」もターミナル・レジャーの中に吸収されてしまう日が来るだろう。











その日、心斉橋は、サン・マルコ広場や、ミラノ・アーケードのごとく、観光客で満ちあふれるではないか。

もっと切実な問題は、都市のなかでの市民の孤独。洋酒喫茶やアルバイトサロンで、明日の労働のための低次のリクリエーションを求めることが出来ても、果して我々はそこで自分自身を見出し、市民としてのお互いのつながりを発見することが出来るだろうか。

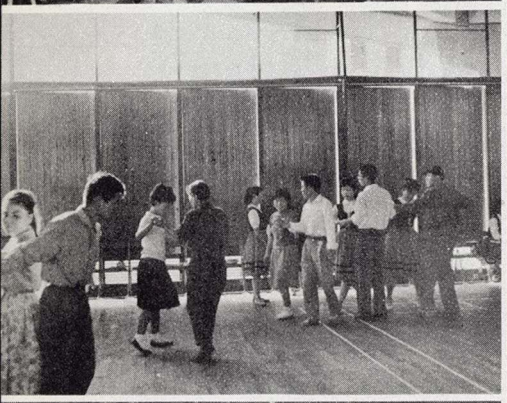
むしろ家庭の中で十分満されていない応接間やサロンとしての機能しか果していない。

ネオンに輝やくホテル街でさえ、見失なわれているプライバシーの最低保証と言う人間のギリギリの欲求を思い起させる。

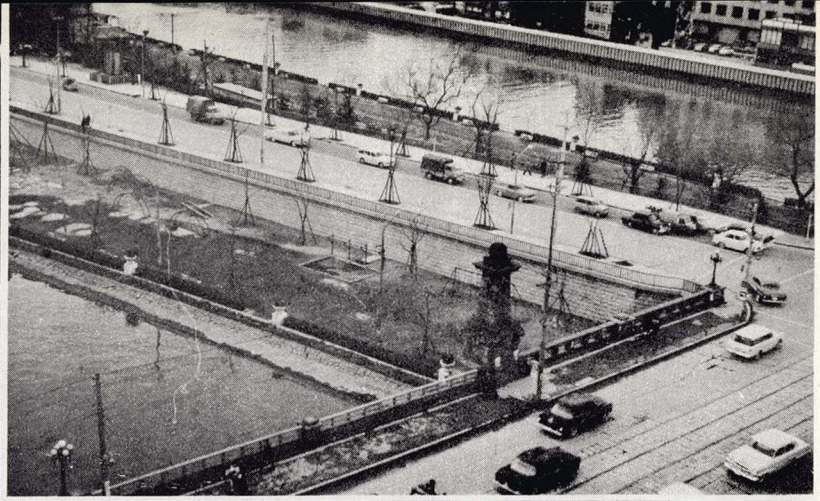
現代都市のなかでのマス・レジャーの不在と、ますます個人の殻の中に閉じ込もろうとする傾向。













だが我々は文化財保護委員ではない。滅んで行くものを嘆くよりは、変化して行く都市の機能に応じてそれを再生させて行かねばならない。

例えば「労音」――大阪に発生したこの組織は、会員自身の手による音楽会の企画だけでなく、労音フェスティバルやサークル活動を通じ、職場毎に孤立する人々に社会的交流の拡大を取り戻させつつある。

華やかなレジャーブームのかけ声のかげでも、府や市の青少年ホームに熱心につめかける若者達の意欲。

自動車交通に断ち切られた中之島公園、昼夜兼行の地下街建設――手をこまねいて待つだけでは、刻々に押しよせる都市のデーモン（ゼニとチカラ）に流されてしまう。

「キタ」と「ミナミ」の問題が我々に教えるものは、必要なものと不必要なものをはっきりと意欲する、我々自身のレジャーに対する姿勢らしい。

観光地ルポ

白　浜

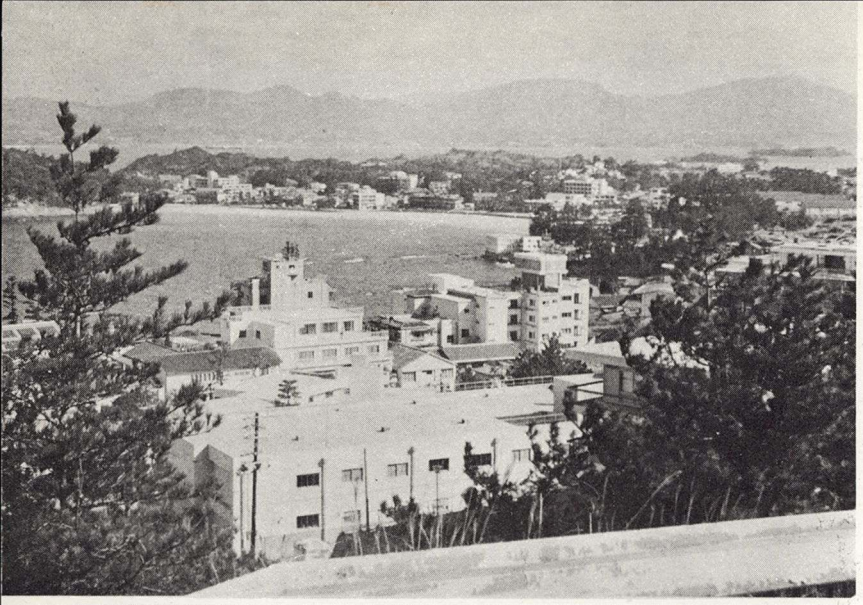




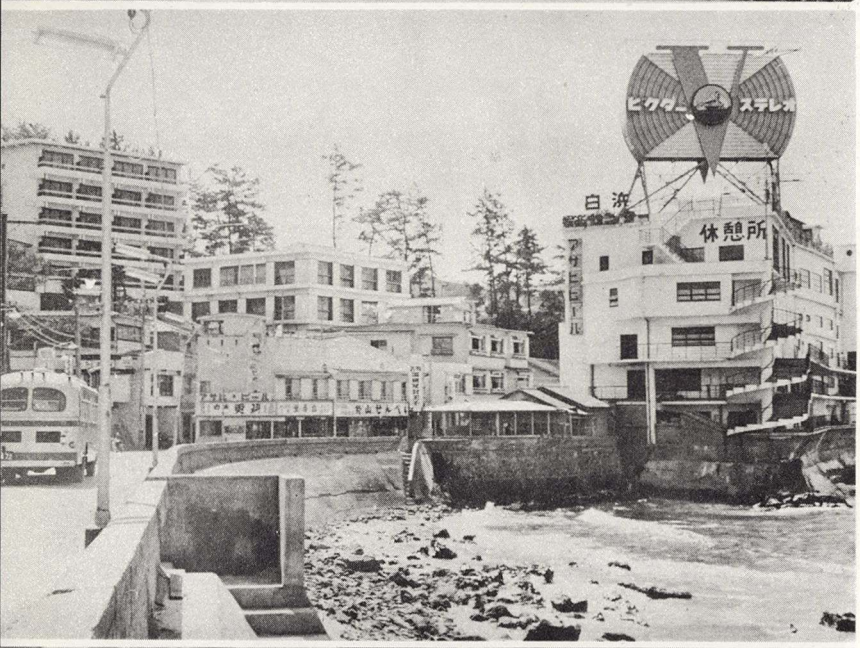
1．白浜口駅の団体客
2．バスで閉された繁華街

大阪市大　小島将志
大林組　鈴木　茂

白　浜



3



4



5

3．白浜の全景
4．右端：海上娯楽センター
5．旅館の娯楽場
　スロットマシンあり，ガンセンターあり、ボーリングも備えている
　スナックバーもある

白　浜

小島 将志・鈴木 茂

▲国鉄，白浜口駅の改札をでると，駅前の広場は人と車とノボリで埋っている。白浜，湯崎への団体専用貸切バス十数台，タクシー，ハイヤー4，50台，6輌の客車からはきだされた人々，旅館，ホテルの出迎え，客引きの番頭さん……広々とした紀州の自然を背景としながら，ここにはチャンと，通・退勤時の満員電車の味わいがあるし，交通マヒもある。

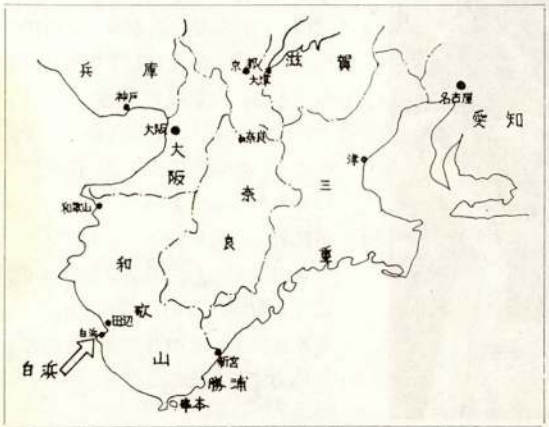
▲旅館で湯量豊かな広々とした風呂につかり，ユッタリとして，夕食の膳につくと，前日まで大阪で食っていたものと変りばえのしない品々が，お皿の上にのっている。エビとハモのフライ，マグロとイカの刺身——大きく切ってあるところが白浜らしいが——チーズとカマボコの加工品……「現在，白浜，湯崎には一日1万人の宿泊収容力がある。年間ざっと300万人，とてもこの附近の特色ある料理をどの旅館もが準備することはできない。大阪からトラック2台で毎日仕入れてくる」（温泉旅館組合の話）とするならば，われわれは大阪から弁当持参でやってきたのと同じようなことになる。

白浜から京大臨海研究所の水族館のある塔島——植物園のある番所ノ崎——水中翼船，水上機の着く綱不知——白浜への環状道路は一方交通である。——「観光地になると，道路がよくなってよいという観光地賛成の地元の声があると同時に，交通量がふえて交通事故が多くなるから観光地反対の声がある」（立教大学ホテル研究会アンケート）

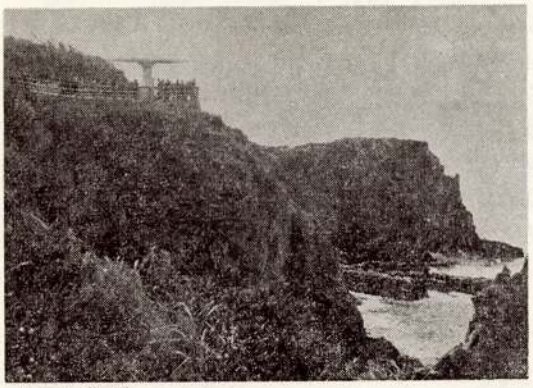
▲「紀勢線が全線開通しても，単線では輸送力に限界がある。これを早く複線にしてもらはなくては，宿泊収容力に輸送力が追いつかない。

（90%の観光客が国鉄を利用している）和歌山——白浜間の道路は実力建設大臣が視察にきて，オリンピックまでには完全に整備すると約束したので，バスによる輸送力は増加するだろう。（貸切バス伸率13%，国鉄伸率10%）自家用車も「この正月3日間には300～400台きた」（旅館組合）白浜町の交通量はますます増加する。

▲人間は，自分の労働と同種のリクリェーションを求めるという話がある。ローラースケートで紡錘の間を走りながら糸の切目をつなぐ女工たちの休憩時間は，静かにお茶を習うよりも，ピンポンを楽しむ方が趣向に合うといったことである。白浜から湯崎への海岸線の丘陵に沿ってギッシリ立ちならぶ旅館，ホテル，遊興施設は，保養にきた人たちが，ウィークデーに汗を流して働いているオフィス街や，工場群と大差ない外観をしている。何十人も入る旅館の宴会場にお膳を前にして同じ浴衣や，丹前を着て，ヅラリ坐った客たちの姿は，揃いの事務服や作業着をつけて，机や機械を前にした姿とまったくよく似ている。——「この頃のように建設費が高くなったら宿泊と料理だけではとても施設の償却をすることはできない。多角経営，多角経営こそこれからの旅館の在り方である」（旅館組合）どの旅館にいっても，ホテルのいわゆるパブリックスペースに相当するものがとってある。そこにはかならず，パチンコ，卓球台，ビリヤード，米国から輸入したスロットマシン，ミュージックボックス……がおかれている。なかにはベビーゴルフやボーリングの施設のあるところもある。これでは温泉地も都会も変りはない。多くの旅館はスナックバーをつけている。だから旅館のほかにあるバーやキャバレーは“豪華アトラク，毎夜豪華ショー開演”といったことでもやらないかぎり，客は集まらなくなっているようだ。その辺が一時，熱海とともにもっとも風紀の悪い温泉地というレッテルを貼られた原因でもあろう。一時はその目的のためだけで白浜を訪れた人もないことはなかったらしいが，しかし，今は，日本でもっとも礼儀正しい人がおいでになるということもあって，そのような部分は数年前にほとんど取締られたそうだ。その代りかどうか不明







6. 三段壁

だが，娯楽センターという娯楽に関するあらゆるものが含まれた建物が建っていた。因みに内容を紹介すると，1階売店，2階遊戯場，3階ダンスホール，バー，4階ストリップ劇場，5階温泉プール——ここははやらないせいか闘鶏場になっていた。いや闘鶏の方が儲るのだろう。娯楽センターなどとしゃれた名前をつけてあったので，白浜健全化への第一歩かと思ったら，酔客の乱跡あるだけだった。

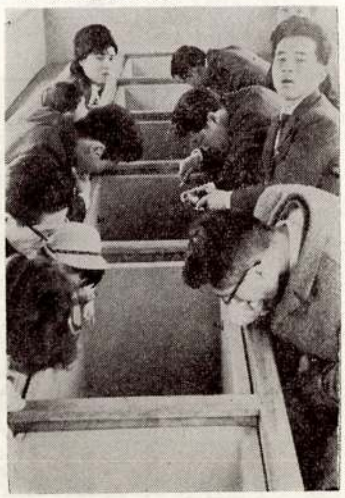
▲温泉地も，都会の繁華街と同様，裏町のキタナさがないとはやらないし，面白くないことはよくわかる。しかし，都会での生活と同じようなメシを食い，同じように飲み，同じようにあわただしいのはどうであろうか。バスにつかれて，海底見学船などというものにのっても，船底に貼ったガラス越しにみえる海中には，ときどき小魚がチラチラするだけでは“何んもみえへん”と不満をいいだすのも無理はない。大魚の大群がみえるときもあるそうだが，いや魚は人間みたいに同じ場所にいつもゴッタがえしてはいないのだろう。

▲個人を主体とし，一地点に長期にわたって滞在した昔の暇人や，特権階級の旅行に代って，庶民の団体による遊覧バス，汽車などを利用しての名所から名所へと点々と移動する遊覧旅行客に対応した観光地の姿かも知れない。白浜は，かっては，湯治客の保養地であった。直通する交通機関はなく，大阪からの客は，田辺で汽車を降り，海路か，細い道を徒歩でやってきたのであった。今は京阪神から団体で汽車，バスでのり入れてくる。水上飛行機や，水中翼船でもやってくる。中京方面からは串本，勝浦を廻ってやってくる。

▲温泉は人を呼び，人は施設を呼び，施設は人を呼ぶ循環を重ねているうちに，白浜は京阪神，中京の人口をバックとして南紀州一周および1泊旅行に適した地利をえて，大観光地としての地位を獲得したようである。宿泊施設の伸率は昭和35年以来毎年約11～13%づつ伸びている。

▲ところで，白浜にはこれから庶民の観光地として発展する可能性が残っていないわけではない。熱海などとちがって，バックに大きな自然をもっていることである。今は旅館内のスロットマシンや，バーなどに沈潜している活動力が，外に向って発散させるだけの施設がつくられたときそのことが可能なのではないだろうか。——「観光客の年令層は年々若くなっている。30代，20代が最近ではもっとも多い年令層になってきた」（旅館組合）彼らは，別にビリヤードやパチンコをしに白浜にやってきているのではない。水族館や植物園がにぎわっていることでもわかる。彼らの活動力を発散させる施設がないのである。旅館組合は，専ら宿泊施設の拡充ばかりを考えている。交通の便がよくなれば，年間1千万人を全国から集めてみせると豪語する。しかし，白浜健全化，1千万人の観光地になるためには，もっと魅力のある施設をつくりだす必要がある。その意味ではキャンプ地，水泳場，競技場をうまくミックスして多くの人を集めている箱根などは，金儲けのにおいが強すぎるとはいえ，結構うまくやっている例であろう。

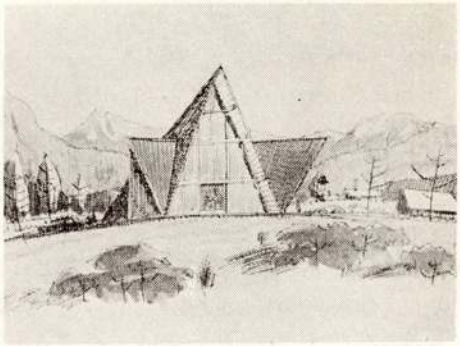
7. 海底をみる遊覧船

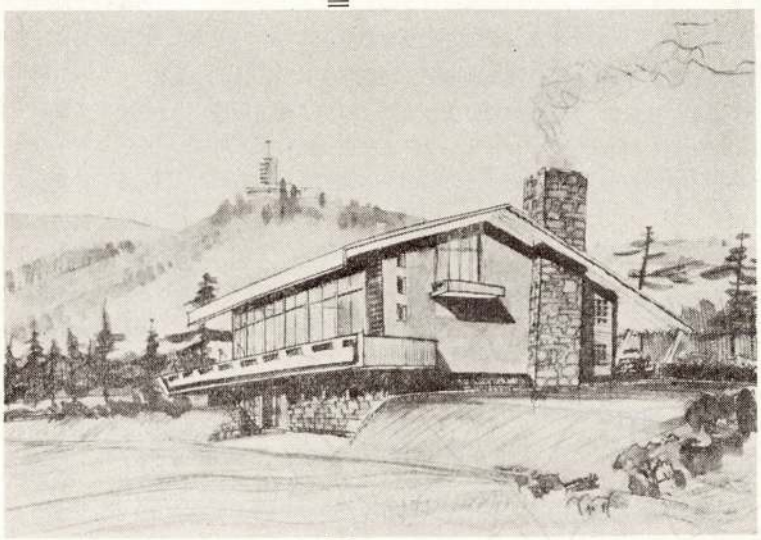


▲白浜観光協会（白浜観光関係などのもっとも強力な組織）では，多くの発展的なプランを用意していた。

1) 観光総合センター
2) 国際的屋内競技場としての施設をもつスポーツ会館
3) 温泉会館
4) 三段壁，南白浜開拓地内に大自然遊園地
5) 番所山植物園の拡張整備
6) 水族館施設の拡張
7) 海水浴場新設
8) 冬期練習場として利用可能な総合陸上競技場
9) 史蹟開発等々……。

しかし，観光協会の予算600万円白浜町観光予算2,000万円（37年度）では，白浜に観光客が落した約40億円（37年度）に比較してあまりに少なすぎる。大きな計画があり，また，その現実性と必要性が充分にあるとき，かならず多くの民間大資本の介入があるであろう。要は，白浜町民および観光客にとって，経済的にも肉体的にも，健全な利用が可能になる方向に進むことによってこそ，建築家もその計画に積極的に参加協力することができるというものである。





4 観光開発と随想

久美浜観光開発計画

山の観光地開発

フィンランドの休日と余暇
/ペリアイネン

随　想

特別原稿

久美浜観光開発計画

日本住宅公団大阪支所　大久保昌一
日本住宅公団大阪支所　湯川利和

Ⅰ）開発の前提

A）開発のための条件

観光地の開発そのものを否定する立場がある。それは自然保護を叫ぶ姿勢ではあるが，同じ自然保護といっても，自然に対するまったくの無為を主張するものもある。手を加えることによって，その自然がもっている魅力をさらに増加することがある程度可能なはずであるが，彼らにとっては，そこに附加された魅力は，少々ニュアンスの異る式のものであって，彼ら自然主義者たちは実はこれをも否定しているにちがいない。もしそうだとすると，そこにはまったく歩み寄る余地が見出せなくなる。多少の条件は異るが，最近この辺の限界以前でいろんな論義が出ているが，見受るところ，歩みよる気運がなさそうである。

観光地の開発を提案する目的は，ここでは少々大げさになるが，国民のマス・レクリエーションの要求に適応できるものを計画的につくろうとするところにあり，こうすることによって，無政府的に観光地の風光が蚕食荒廃されることを防止し，可能なれば経済的に立ち遅れた地方に対して，彼らが持っている眠った資源を活用できる場において，多少ともその土地の経済向上に役立てようとすることにある。

ここで計画を提案する前に，風景の保全と計画の歪曲防止等々のためにつぎの条件をあげておきたい。

a）観光開発委員会の結成

地元関係各層による委員会をつくり，計画を地元の総意という形でまとめる役を果す。特定の個人が特定の観光資本と結託することを防止し，地元全般の利益が確保されるような施策を立てる。

b）観光開発連合協議会の結成

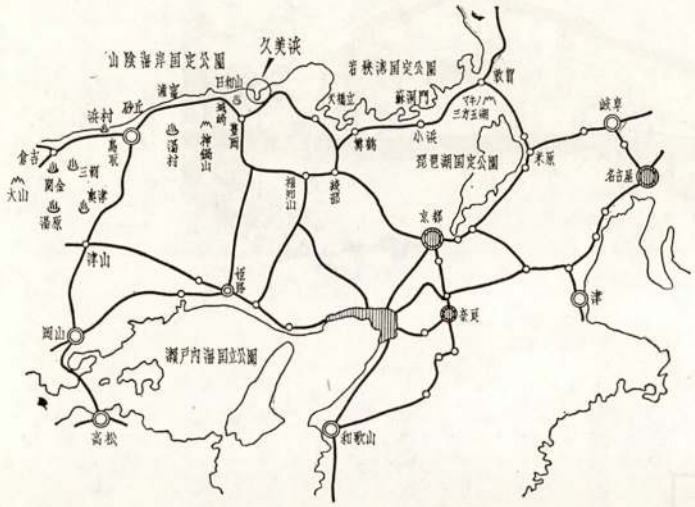
計画がこの地域に狭く固定して萎縮してしまうことのないよう，山陰海岸国定公園，若狭湾国定公園内に含まれる関係市町村の総合的な討議の場をつくり，互恵的計画の推進をはかる。

c）風致保護審議会の結成

地元が希望する方向に開発が行なわれ，健全な観光地を創造するために，都計審議会と同様な審議会を結成して，強力に風致保護策を推進する。

B）観光需要

当地は大阪，京都より約 150km のところにあり，城崎からはわずか 6～7 kmにすぎない。京・大阪からの隔りから比較すると，丹後地区（宮津，天ノ橋立），芦原地区（芦原温泉，東尋坊），片山津地区（片山津温泉），伊勢志摩地区，三河地区





（第1表附記）

主要観光地（京阪神観光圏の）は第1表で三つのグループにわかれよう。その特長は以下のとおり。

A：おおむね日帰り圏に属するもの。（四国は別）

B：一泊圏でかつ有名な温泉地をもつもの。これを組みなおすとつぎのごとくなる。

北陸温泉郷	1,397
南紀地区	1,173
伊豆温泉地区	1,121
丹後但馬地区	1,096
美作三湯地区	655

C：山岳地帯と二泊圏以上の遠隔のものと，近くにかかわらず魅力的でないもの。

（蒲郡），下呂犬山地区，南紀地区（白浜），美作三湯奥津地区（三朝，奥津温泉），淡路島徳島地区，赤穂御崎地区，下津井鷲羽地区などがあげられる。（表1），（表2）これらはみな京阪神を起点とする1泊圏を形成している。また宮津とは25kmの隔りにあり，山陰および若狭湾の両国定公園のベルトの上にのっかっているというきわめて有利なロケーションであり，しかも先述の如く城崎に近く，その飛地としての発展を約束されているということができる。また，京阪神からの1泊圏であるのでピストン型の利用が当然考えられるが，土地のベルトにのっかっている関係上2泊以上の周遊コースを選ぶ客の立寄的利用も考えられる利点をもつわけである。（表3.1）

城崎の観光客数の推移（表3.2）を参考のためにみてみると，昭和33年には565,000人（普通旅館収容人員3,900人）（表4）であり，（天ノ橋立は10万人程度と推定される—普通旅館収容人員840人），昭和45年の但馬丹後地区の観光客数を400万人とすると，昭和35年にほぼ100万人と推定されるので，10年で観光客数は4倍と飛躍的に増加する予定で，宿泊などの施設も同様の倍率だけ増加する必要がでてくるし，おそらく今の城崎や天ノ橋立や宮津および湯村や神鍋山などの観光施設の3倍の施設が必要になるわけである。これらの施設は従来の拠点における

第1表　京阪神地帯発主要観光地別需要量（順位）

		40年想定人員	備考	主要観光
1. 東海	湖東地区	5,760(千人)	日帰り圏	景色・水泳
2. 関西	大和地区	5,832	〃	景色・古蹟
3. 四国	小豆島，讃岐，土佐鳴門眉山	2,515	広域	景色
4. 参宮	伊勢志摩	1,983	日帰り可能圏	景色・参詣
5. 高山	木曽川地区	1,597	〃	景色
6. 紀勢	南紀地区	1,173	一泊圏	温泉
7. 東海	伊豆地区	1,121	二泊圏	〃
8. 北陸	芦原温泉	817	一泊圏	〃
9. 山陰	但馬地区	670	〃	〃
10. 姫新	美作三湯地区	655	〃	〃
11. 北陸	片山津温泉	580	〃	〃
12. 宮津	丹後地区	426	〃	景色・温泉
13. 中央	善光寺地区	366	二泊圏	登山・スキー
14. 中央	志賀高原地区	342	〃	〃
15. 山陰	鳥取温泉地区	327	〃	温泉
16. 中央	中信高原地区	321	〃	登山・スキー
17. 宇野	下津井鷲羽山	311	一泊圏	景色
18. 山陰	米子出雲	299	二泊圏	景色・参詣
19. 山陽	赤穂御崎	267	一泊圏	景色
20. 山陽	鞆之浦地区	234	〃	景色
21. 山陽	宮島地区	84	二泊圏	景色
22. 中央	中部山岳地区	58	二泊圏	登山・スキー
23. 高山	乗鞍平湯地区	54	二泊圏	登山・スキー

第2表　近畿の観光ルート

（1）広域観光ルート　二泊以上を要するもの

（a）瀬戸内海四国ルート　大阪—姫路—岡山—小豆島—高松—琴平—徳島(鳴門)—和歌山—大阪

（b）南紀伊勢ルート　大阪—和歌山—白浜—勝浦—伊勢—鳥羽—名古屋—大阪

（c）山陰，山陽ルート　大阪—京都—城崎—鳥取—三朝—奥津—津山—姫路—大阪

○(d)山陰若狭ルート　大阪—福知山—城崎—宮津—小浜—敦賀—京都—大阪

（2）中ルート　二泊ないし一泊を要するもの

（a）南紀ルート　大阪—和歌山—白浜—勝浦—新宮—五条—大阪

（b）京都，奈良，伊勢ルート　名古屋—京都—奈良—伊勢—名古屋

（c）知多，渥美ルート　名古屋—内海—岡崎—篠島—伊良湖—豊橋—蒲郡—名古屋

○(d)山陰ルート　大阪—福知山—城崎—宮津—綾部—京都—大阪

（3）局地ルート　一泊ないし日帰りコース

（a）京都，奈良ルート　大阪—京都—奈良—大阪

（b）琵琶湖ルート　大阪—琵琶湖一周—大阪(名古屋琵琶湖—名古屋)

（c）大阪湾，淡路島ルート　大阪—淡路島—和歌山—大阪

（d）和歌山，奈良ルート　大阪—和歌山—奈良—大阪

（e）岐阜，犬山ルート　名古屋—岐阜—犬山—名古屋

この他のルートとして，北陸温泉郷を取り込んだもの，もしくは中部山岳を取り込んだものが典型的である。

第3-1表　但馬，丹後観光需要量の推定

地域別人口推移		(,000人) 1960	1965	1970
近畿	滋賀	854	854	854
	京都	1,955	1,983	2,015
	大阪	5,257	5,712	6,560
	兵庫	3,876	4,037	4,170
	奈良	785	791	799
	和歌山	1,016	1,024	1,031
中部	中京	7,120	7,322	8,440
	北陸	754	754	754
	その他	9,921	10,056	10,400
大都市圏	京浜	12,670	14,066	16,100
	北九州	4,244	4,467	5,130
その他	中国	7,055	7,103	7,390
	四国	4,260	4,269	4,430
	九州	9,221	9,313	9,680
	関東	9,760	9,825	10,260
	東北	9,430	9,556	9,940
	北海道	4,982	5,202	5,670
総計		93,230	96,333	103,563

資料　「滋賀県観光開発計画構想案」 p.26。

第3-2表　但馬，丹後観光需要量の推定

		A 1970年総人口	B 観光回数	C 誘致係数	A×B×C 観光需要量
近畿	滋賀	854	5.4	0.01	46,000
	京都	2,015	8.5	0.04	686,000
	大阪	6,560	9.6	0.02	1,180,000
	兵庫	4,170	7.7	0.04	1,274,000
	奈良	799	6.2	0.01	50,000
	和歌山	1,031	6.1	0.01	62,000
中部	中京	8,440	7.4	0.01	625,000
	北陸	754	5.6	0.01	42,000
	その他	10,400	5.8	0.001	60,000
大都市圏	京浜	16,100	9.2	0.002	296,000
	北九州	5,130	7.9	0.002	80,000
その他	中国	7,390	5.8	0.01	—
	四国	4,430	5.4	0.002	—
	九州	9,680	5.6	0.001	—
	関東	10,260	5.8	0.001	—
	東北	9,940	5.3	0.000	—
	北海道	5,670	6.1	0.000	—
総計		103,563	—	—	4,401,000

資料：前掲表 p.26，誘致係数以下を組みなおしたもの。

拡張拡大はもちろんのことだが，必然的に自己飽和に達して外延的に発展せざるをえない。城崎の場合は現在西に延びる傾向があり，今日の但馬観光道路も城崎から竹野に延びている。しかしこれが東に延びて差支える理由は少しもないし，当然，宮津方面へのルートと結合して一連のベルトを形成する必然性をもっている。城崎の久美浜への外延的発展はすでに熟しているとみてよい。

ここで城崎の現況を少々みてみよう。ここの日和山地区は城崎駅から北4km（全但バス15分）のところにあり，円山川河口の日本海に面した，海岸遊園地である。これは今日日和山観光KKの経営になるもので，昭和9年の出発当時は，まったくの経営不振で，以後3年間に経営者が2回も変っている。しかし現在では城崎を訪れる観光客のほとんどがここを訪ねている。（表5）施設の建設年代を追ってゆくと，昭和25，6

第4表　京阪神地帯発主要観光地別需要予測表

	輸送機関別	(A) 入込年率	(B) 大阪府民個人所得年率	(C) C=A-1/B-1	(D) 40/34年大阪個人所得倍率	(E) 輸送量倍率1+C (D-1)	(F) 34年度入込人員	E×F 40年度想定人口
							千人	千人
但馬地区	国鉄	1,085	1,135	0.63	1.84	1,529	284	434
	バス他	1,212	〃	0.57	〃	2,318	102	236
	計	1,110	〃	0.74	〃	1,621	386	670
鳥取温泉郷	国鉄	1,085	1,135	0.63	1.84	1,529	201	307
	バス他	1,200	〃	1.48	〃	2,243	9	20
	計	1,090	〃	0.66	〃	1,554	210	327
米子出雲	国鉄	1,085	1,135	0.63	1.84	1,529	193	295
	バス他	—	〃	—	〃	—	1	4
	計	1,085	〃	0.63	〃	529	194	299
丹後地区	国鉄	1,085	1,135	0.63	1.84	1,529	184	281
	バス他	1,135	〃	1.00	〃	1,840	79	145
	計	1,100	〃	0.74	〃	1,621	263	426
南紀地区	国鉄	1,103	1,135	0.79	1.84	1,606	663	1,102
	バス他	1,250	〃	1.85	〃	2,551	28	71
	計	1,175	〃	0.92	〃	1,772	691	1,173

資料　「京阪神地帯を中心とする観光レクリエーション旅行の動向」（昭36.10関西支社開発室）p.112・113。

年を境として，急激にその建設のピッチが上昇しており，明らかに国鉄のスピード・アップ化，経済の伸展による観光需要の増大に符号を合せている。

一方，城崎の市街地は道路が狭く，空間の余裕も少ないため混雑をきわめているし，結果として地価が高騰し，3階建の木造旅館が散見される有様である。他方観光バスの利用が増加したり，オーナー・ドライバーの利用も増えつつあるので，駐車場の不足に悩まされるようになってきている。今後観光客の増加が続けば，混乱が一層増加するであろうし，観光地としての魅力が削減する結果となる。日和山についても空間の不足は近い将来必然的に発生するであろうし，京大西山研による「日和山観光計画」（昭和34年）も同様の見解を披歴している。すなわち城崎の観光地としての過飽和は，飛地的発展を余儀なくされているわけで，当の久美浜地区がまさにその有力な候補として登場して決して不自然ではないのである。

Ⅱ）観光資源

当地における観光資源と目されるものは，日本海独特の景観ということになるのであろうが，細かくあげてみれば，つぎの如くなるであろう。

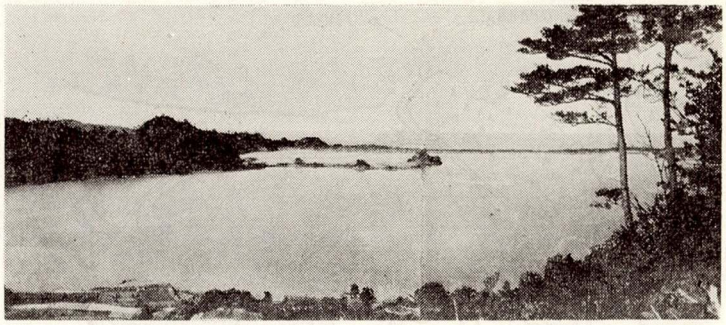
イ）砂丘，砂浜

砂丘は鳥取のそれほど大規模ではないが，5kmにおよぶ海岸線と相まって，特異な景観を構成している。

第5表　来訪観光客の年次変化

	日和山(A)	城崎(B)	A/B×100
昭27	180,300	394,000	45.6%
28	217,800	404,000	53.9
29	234,200	426,000	54.9
30	249,000	444,000	56.6
31	297,700	520,000	57.3
32	361,400	540,000	66.8
33		560,000	

資料：「日和山観光計画開発案説明書」16pより。



砂浜は遠浅になっていて，海水浴に最適である。また外海と入海を画する砂嘴は，小天橋と称されるふさわしい形をもっている。

ロ）奇岩をもつ海岸線

砂嘴先端より西側の津居山港に至る海岸線

ハ）久美浜湾

南北4km，東西2kmの海水面で，湾口が砂嘴によって塞がれているので，外海とはうって変って湖とまちがうほど静かな景観を呈している。

ニ）兜山，如意寺山

久美浜湾に特異な景観と映像を与え，全体として日本画的景観を整え，また頂上よりの日本海の遠眺によい位置を与えている。

ホ）大明神崎

湾に奥行と変化を与えていて，いわば湖の中心的存在となっている。

ヘ）温泉

近くに木津温泉があり，数年前試堀されたこともあるが，温泉開発の可能性をひめている。

ト）浜中チューリップ畑

現在輸出向けに栽培されているが，これをベースとして花畑を拡大し，有力な観光資源とすることができる。

チ）水郷的聚落

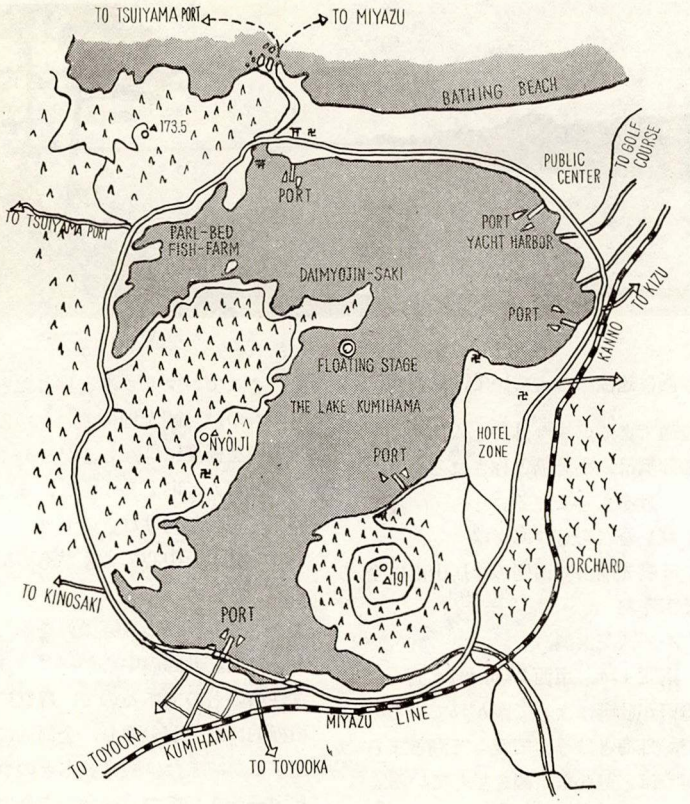
湾に面した聚落の水郷的な形態。大体以上のようなものが資源としてあげられると思う。

以下の試案はこれらのものが総合的な効果をあげられるような結合の仕方を望み，しかもパブリックな施設を中心にレーアウトしたものである。ここでパブリックと称したところのものは，観光地でのいわゆる遊興施設を極度に排除し，ソーシャルツーリズムに応えるような，また家族向け青少年向けなどのレクリェーション施設を中心に考えたものである。

ここで今一つの提案条件を示しておきたい。計画の中心がパブリックな性格のものであるので，経営にも積極的に地元が参画し，全面的に支配するか，または観光資本とのコンビネーションをつくるか，または土地のみを賃貸するか，ともかくいづれにしても地元が各施設に対して，発言権をもちうるような形とすることである。

Ⅲ）地区へのアプローチ

当地区は国鉄宮津線で豊岡から二つ目の駅に当るので，豊岡を中心とする近郊からの日帰り利用も多分に考えられるが，国鉄のほかに，豊岡から，バスルートを既存ルートの拡張舗装のみで開発することができる。また近年開通した丹後観光ルートを東に延長してこのルートからブランチするルートが導入できる。城崎との結合の関係上，このルートがもっとも重要なアプローチの一つとなる。当地はもともとの観光地ではなく，それが成熟するための方策をどう講ずればよいかという問題を扱うわけではなく，新規に観光地としてスタートするわけであるから，城崎の自己拡大の気運をキャッチして，これといかに結びつくかということからはじめねばならないから。



マスタープラン

津居山―久美浜ルートをどこに設定するかはきわめて重要な課題となる。城崎―久美浜の結合を，城崎―日和山の結合の如く強力で身近かなものとするためには，まづ時間的に最短となるようなコースが選ばれるべきであろう。それゆえ，海岸線ルートをとるよりは，三原峠を越えてスカイライン式として日本海を遠望するコースをとるべきであろう。また海岸コースはハイキングコースとして奇岩奇礁をみせる道路として別に考えればよいのではないか，その方がよりエコノミカルでもあると思われる。

このほか海上ルートとして，鳥取―城崎―久美浜―宮津のコースが考えられる。このルートは日本海の特有な海岸線を楽しむコースとしては最適だし時間的にも圧倒的に短縮されるが，水中翼船による開発が可能であれば幸いなのだが，現在の段階では経済的にもバランスがとれないであろうし，瀬戸内海などのこの種のルートとは違って，直接外海を航行することになるので気候的な不利はまぬがれない。しかし将来はかならず開発される性格のルートではある。これによって山陰海岸国立公園と若狭湾国定公園が文字通り一体となる可能性が生れてくるわけであり，敦賀を起点として考えれば，小浜，舞鶴，宮津，経ケ岬を経て久美浜，城崎（津居山港），浦富，鳥取（加露港），東郷温泉，米子（皆生温泉），境港（美保）などがラインアップされるわけである。これらは定期便として長く，または遊覧コースとして相互に結合されればよい。

Ⅳ）開発計画図

先述列挙した資源を相互に結合させるためにも，湾を一周するコースが是非必要となってくるが，これは既存の道路を整備拡巾することで大体はその目的を達する。ただ，既存集落の内部を貫通している地点や，線形の不自然さは矯正されるべきであるし，砂嘴先端の閉塞部にかかる湊宮橋は海上ルートの設立とも合せて，立体的なデザインを負わさるべきであろうし，近接の神宮島の鳥居のデザインとも歩調を合せることが必要であろう。ルート変更されるべき地点は葛野，湊宮部落を貫通する地帯，国鉄神野駅前，久美浜中心市街地を縦断するところであるが，後者は，護岸工事と合せて，思い切って岸沿の堤防上を通して市街地を避けることが賢明であろう。

この環状路線に，先述の豊岡線，津居山線などがぶらさがることになる。

B）湖上遊覧コース

湊宮，葛野，神崎，久美浜，大明神崎にそれぞれ舟着場を設けて，湖上遊覧コースの拠点とする。葛野には後述のセンターを近接して設ける関係上，舟着場のほかにささにもふれたヨット・ハーバーを設備する。湖面の（実は湾であるが）の静寂であることが，ここの魅力でもあるので，遊覧船だけでなく，すべて現在のプレジャーボートのように大きな騒音を発するものは使用を禁止したい。

C）地区分け

この地域をつぎのように地区分けする。

イ）湖面――湖面は現状のまま保存されることが望ましいので，開発の進行に伴って汚染される（排水などの故に）可能性がでてくるので，その対策を充分講じておく，この費用が当初コスト高につくであろうが，将来何十年先のことを思えば，完璧なものとしておきたい。湖水の澄明なことがこの湾の最大の特徴であることを思えば，その費用がたとえ大きくとも，汚染対策は是非実施されるべきであろう。また，湖面上でのデザインの統制もゆるがせにはならぬであろう。

ロ）自然林――向山（仮称），如

意寺山（仮称）および兜山などの山容は湖と密接不離な風景の構成要素であるので，それらのスカイラインを改変したり，山林を伐採したりすることを理由の如何にかかわらず禁止したい。ただし，これらの山頂は広い展望がきくので，展望台を設置したいが，この展望台は上記の理由から，徒歩の利用に限るよう大げさにならぬように努めたい。

ハ）砂丘，海岸地区――砂丘には海水浴のための施設やキャンプ場，ゴルフコースを設ける。既述のごとく葛野部落の北側台地に，この地区全体のパブリックセンターを設けて，ここを全地域の基地とできるよう設備する。

ニ）果樹園および花畑――現在行なわれている散漫な果樹栽培を数ヵ所に集約して，栽培を高度化し，これによって，景観を整え，しかも特産物としての利用をも可能とする。チューリップも，さらに栽培面積を増大させて，観光資源としたい。

ホ）ホテル，別荘地区――ホテルや別荘などの建設を特定地区内にとどめて，地域全体が無計画に荒らされてゆくことを防止する。審議会はこの地区のホテルや別荘のレーアウトについて，最終的なプランをもっていて，観光資本の導入については，そのプランにしたがってコントロールしてゆく。

ヘ）既存聚落――既存聚落は現状のまま保全するが，将来の膨張を考えて，弾力的なエリヤの余裕を描いておく，とくに久美浜町市街および，国鉄神野駅前の計画は，湖辺巡廻ルートとも関連づけて綿密なチェックをしておく。

ト）その他農耕地区――

以上のような地区分けを行ない，これに基づいて開発が進められるような，法的裏付けを（または協定）しておく。

D）パブリックセンター

遠浅をもったしかも長い海岸線をもつ砂浜と砂丘は，早くから海水浴場として人を呼んでいたから，観光地として売り出すもう一つの糸口を，この海水浴場に依存せねばならない。それゆえ海水浴場としての近代的設備を整えることにまづ着手したい。センターはこの外海と内湾の同時的利用に有利なロケーションであるところから葛野北側の台地を選定したのである。またこの砂丘には更に東に延びて，ゴルフコースが設立できるし，浜詰近傍のキャンプ場との関係からいっても，この地点が，全地域のセンターにふさわしい位置であると考えられる。

センターに設備される施設は，海水浴客のためのバスルーム，ロッカールーム，レストハウスをはじめとして，運動施設，娯楽施設，ユースホステルなどの宿泊施設，購売施設，集会施設，駐車場等々とし，ピストン型，立寄型のみならず，夏期休暇利用の長期滞在客のための，低廉な賃貸施設をも用意する。湖側にはヨット・ハーバーを設備して，湖面の利用によって滞在期間の延長をはかる。また，既述の温泉開発がもし可能なれば，塩水プールのほかに，二，三の温泉プールを作って，各層の利用にかなうものとしたい。これによっても夏期の滞在期間延長をはかることができようし，海水浴場としての魅力も倍加されることになろう。温泉は近年の試堀結果によると，含塩化土類弱食塩泉（緩和性低張微温泉）で，湧出量も少ないが，近くに木津温泉があり，開発の見込みがないわけではないと考えてよいであろう。

E）フローティングステージ

大明神崎南側の湖上に浮ぶステージをつくり，湖の祭典を行なう，7，8，9の3ヵ月，第1，第3日曜の夕，このステージが，観光客や滞在客の祭典のセンターとなる。この夕べは湖辺の岸辺の各所から，ステージを目指して，ボートが漕ぎ寄せられ，ステージでのパーティーの準備が進められる。このパーティーには自作のショーも行なわれ，ときにはコーラスが湧いて歌声は湖上を渡ってこだまする。祭の最終日は，地元の青年も参加して，種々のコンテストが行なわれ，賞が与えられる。花火も夜空をこがす。祭を失った現代の都会人が，ここではじめて，現代の祭を心ゆくまで味わうことができるのである。祭はあってもかってのようにともに参画することは今ではもうなくなってしまった。祭が単にみるためのネガチフなショーと化した現在，ここではじめて，参画するよろこび―祭本来の魅力―人間の本来的コミュニケーション―にひたることができるのである。

F）養魚場，養殖場，水族館，養殖試験場，海産物陳列館

大明神崎北側の入江に，現在真珠の養殖場があるが，ここを真珠の養殖場のほかに，養魚場として利用し，特産物化するとともに，遊覧コースにふくめて，魚釣りをエンジョイさせる。岬には，養殖試験場，水族館，海産物陳列館を設置する。

V）むすび

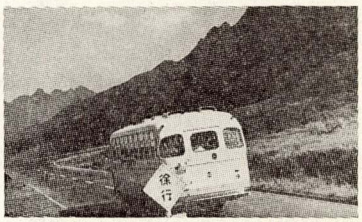
計画が百花的で結局一輪の花もつけ得ないということのないよう，開発の段階計画を，建設コストとのバランスをとりながら樹立しておかねばならないし，地元全般の利益といっても，各層それぞれニュアンスが異なるであろうし，そこのところの調整がきわめて難事であるので，願ったような結果がでないかも知れない。また，法的規制としてもどこまでそれに依存できるかははなはだ疑問であるし，結局は国が現在産業開発に示していると同じ程度の熱意を国民のレクリェーション問題に注がぬ限り，多くを望みえないのかも知れない。一日も早くそうなることを念願してこの稿を閉じる。

この地区を含めて計画としては京大関口研の「但島海岸観光開発基本計画」がある。

山の観光地開発

—ドライブウェー批判—

天城三郎



最近いくつかの山に開発された観光地をみる機会をもったので，その印象をまとめてみることにする。

▲都会がゴミゴミとしてくると，静かさ，きれいな空気，眼にしみる緑，広くて澄んだ空とかいった，これまでタダであったものが次第に値打がでてくる。そこで高い金を払っても，逃げてゆく美しくて健康的な環境を夢中で追いかけねばならない。しかし，だれもが自由にそうした環境での数日を楽しむことはできないのが現状である。というのは，だれもがゆけるようなところには，人々が逃げだしてきたゴミゴミした環境をつくりだした張本人が，さきまわりしているからである。

そこで体力や余暇に恵まれた連中は，さらに後退してしまった自然を探すことになる。日本の場合，こうした自然の残っているのは，水面と山地しかない。

山について考えてみると，現在のところ大部分の山地は自然の姿を保っている。しかし，交通技術が発達した今日では，自然景観なり，植物や動物を保護してきた「不便さ」が次第にとり除かれようとしている。

関西だけみても，都市公園の一種みたいになった六甲山，生駒山，比叡山，東山などの山々ばかりか，伊吹山，金剛山，大台ケ原，高野山，大山などめぼしい山にはほとんどドライブウェーがつけられている。さらに最近では比良連峰にまで自動車を引っ張りあげようという話があった。

関東についてみても，こうした登山ドライブウェーの開発は至るところで進んでいる。関西では，私鉄資本や観光資本によるものが多いが，関東は公共資本によるものが多い。道路公団や道路公社や開発公社といった企業的公共投資が進んでいる。山梨県の地域開発構想では富士山にドライブウェーを巻きつける計画が提案されたし，静岡県では，伊豆半島の立体的観光ルートを目的とするスカイラインが公社によって建設されている。

▲自動車時代は，都市を重病人にしたり，根本的な体質改善を要求したりしている一方，その都市を山の頂上まで運んでくる。そこには体力がなくても余暇がなくても，ハイヒールや旅行鞄をさげた連中や染め抜きの小旗をかかげた団体客がわんさと運びあげられてくる。かっての山登りが要求した時間や準備や訓練は必要でない。ときには夜行バスを使ったり，「包装された格安旅行」を買えば，面倒な手続やぜいたくな余暇は必要でない。

山男たちの郷愁を別とすれば，ドライブウェーが開発されることで，老若男女だれでもが，手軽にご来光を仰いだり，山の雰囲気にひたったりできることは新らしい経験をもたらす点で一大進歩であろう。

だが，ここにいくつかの疑問が残る。1）山男たちはどこへゆけばよいのだろうか。2）車でやってくる連中の味わっている自然は満足なものか。3）近い将来，ドライブウェー，観光地の交通マヒが深刻にならないだろうか，などである。

ヒマラヤやアンデスに遠征するような専門登山家ではない，休日登山家にとって，ドライブウェーが開通することは，登山の魅力を失わせるに十分である。ドブイブウェーを歩くことの不快さと危険はいうまでもない。また，大ていの登山道路は自動車専用につくられていて，歩道もなければ，旧道はズタズタにされてしまっている。たまたま後背地に，さらにすぐれた山地が残っているときにのみ，アプローチの便がえられるのである。

▲自動車が発達すると人は歩かなくなるという。たしかに自動車と競争したり，排気や泥水を引っかけられるなら，そんな無益なことはだれもしたくない。それに歩こうとしても，日本の都市や観光地で，楽しんで歩くことは大変むずかしい。そのうちに足の方も訓練不足で弱くなってくる。本当に文明が発達すれば，人は歩かなくなるのだろうか。むしろ，それは逆だといいたい。

もし，ゆったりした気分で歩けるだけの暇とルートがあれば，休日登山家の数はもっと増加するにちがいない。とすれば，大衆登山のためのドライブウェーが，山男（女）たちのルートを犠牲にしているのは肯けないことである。

一方，ドライブウェーで運ばれて来る大衆の味わう山はどうであろうか。

▲たしかに，観光道路は単なる輸送手段ではなく，ドライブ自体が観光の目的である。観光バスや自家用車の窓にうつる樹林や山稜，はるかに見渡せる谷間や海岸線などの「動く景色」は新らしい視角をつくりだして，われわれの眼を楽しませてくれる。

しかし，ドライブはあくまで観光レクリエーションの一つのタイプにしかすぎない。ドライブウェーがもたらすもう一つの可能性——自然環境へのアプローチの容易さが考えら

れねばならない。ガソリンの臭から解放され，車窓からは目にもとまらぬ野草や小鳥と親しんだり，大気のなかで走ったり，歩いたりすることが，都市から交通費を払ってまでやってくる目的であるとしたら，ドライブウェーの開発は，こうした自然環境に人々を近づけることではあっても，それを破壊することではないはづである。そればかりか，ドライブウェーを建設する以上は，それだけの観光客に見合った自然環境とのさまざまな接触を可能にするような施設をつくってこそ本当の観光開発といえるのである。

▲伊豆半島のU字状の尾根に開発中のスカイラインの例をあげてみると，日本有数の観光投資集中地帯だけあって，大小さまざまな観光企業が，公共投資によるドライブウェーによる立地条件の向上にともなって大部分公有地である山林払い下げの利権をめぐる激しい競争を続けている。そこで各個企業が試みている観光開発は，大体二つの型に分けることができる。一つは，自家用車—観光ホテル（または個人別荘地の分譲）—ゴルフ場，もう一つは観光バス—旅館，ヘルスセンター的なもの—遊園地的見物施設の組合せによるものである。もちろん，共通の施設として，展望台やレストハウスなどあることはいうまでもない。ここで考えねばならないことは，交通と宿泊についてみれば，それがデラックスであるか，庶民的であるかは別として本質的に異なったものではない。しかし，目的地でのレクリエーション活動となると，片方は広大な自然環境のなかで，スポーツを楽しむことであり，片方はなにか土産話のタネでも探そうと好奇心を働かせるだけである。もちろん1日数千円の使用料と，100円の入場料では中味がちがうのは当り前といえばそれまでかも知れない。それほど快適ではなくても，野外生活をしてみたいとか，芝生でゆっくり昼寝をしてみたいとか，簡単なスポーツをしてみたいとか，落葉降る小径を歩いてみたいとか，それには数千円はともかく，数百円なら払ってもよいという人は大勢いるにちがいない。

▲しかし，そうした施設はなかなかペイしないのが現状らしい。というのは，土地の利用効率もわるく，観光客の回転率も低くなるからである。しかも国立公園のなかともなれば，そうした自然環境地に高い入場料をとることもできない。それよりも，投機的な利益もある別荘地分譲とか，低密度利用であっても，単価のよいゴルフ場にする方がはるかに儲かるし高い入会金がとれるというのが，観光企業の考えらしい。

ここでも消費者が裸の王様であることに変りはない。「王様にふさわしいレクリエーションは，土の上を歩いたり，汗をだすようなものではありません」とばかりに，快適で下にもおかぬサービスで，疲れないよう，不便でないように取扱われる。しかし，月曜日になって王様は，自分が支払ったのは本当に出発前に考えていたものであったかどうか，ふと疑問に感じているのではなかろうか。

▲いずれにしても，大都市が，水をふくんだ海綿のように膨張すればするほど，行楽シーズンや休日になると，より巨大な観光客の流れが，都市の外側へあふれでるようになるだろう。とくに，自動車交通にたよるドライブウェーの場合，すでに各地でピーク時の交通マヒを起している。平地とちがって，簡単に巾員を拡げることもできないし，駐車場も不足している。とくに将来自家用車が増えるとすれば，登ってはみたが降りられないとか，山にも入れないといった現象すら起る可能性がある。とくに，代替ルートもない，ピストン型折返しコースでそうである。このためには，交通コントロールや休日ピークをくずす休暇制度などの間接的方法はともかく，開発計画の技術上からも検討が必要となる

たとえば，ドライブウェーといえばすぐ頂上までゆく必要もなく，中腹部なり山麓に駐車場をとって，そこから頂上まではリフトとかロープウェーなどの大量輸送手段によれば，騒音，排気の心配もなく歩行者の快適さと安全が確保されるし，交通処理能力も高まるのではなかろうか。

▲登山，ドライブウェーそのものはわれわれに新らしい観光手段を与えてくれる。しかし，問題はドライブウェーの建設が観光開発そのものであるかのような錯覚を開発推進者である企業やお役所がもっていることにある。つまり日本の都市計画の悪しき伝統である道路偏重主義—道路さえあれば，中味はどうあろうと開発は自然にすすむといった考え方—が山の観光開発でもみられるのである。

ドライブウェーが現在のところ単独で採算がとれるのは，一つの局地的独占企業であるからである。

富士山の頂上が私有地であると判決がでても，やはり国民の山であることに変りはないのと同様，ドライブウェーによって交通手段の独占が確立されても，その自然環境の保護と開発は当然，将来における国民の観光レクリエーション要求に答えるもととする必要がある。その実現は観光企業の良識にまつこともあるが，より多くは，政府や自治体の責任に求めねばならないだろう。したがって，山の観光開発政策につぎのごとく提案する次第である。

1）ドライブウェーの建設の前にかならず，広域的な土地利用と各タイプのレクリエーション施設の配置計画—マスタープランを作成し，保護と開発の矛盾をとり除く。

2）つぎにマスタープランを実現する上で，各企業の観光開発を厳重にコントロールできるようにする。

3）公共資金によって戸外レクリエーション施設と用地を確保する。



湖畔のサウナ

フィンランドの休日と余暇

タピオ・ペリアイネン

■労働と余暇の歴史

人間はあれもこれもできるほど時間をたっぷりもっていない。自分に与えられた時間をどう使うか計画するために，人間は自然のリズムにしたがって時間の経過を計算する一つの体系を産み出した。1年や1分という尺度がこうしてつくられた。

人間は一人一人の時間をもっている。しかし，われわれは社会の一員として，この時間の一部で社会に奉仕しなければならない。どのようにこの時間を配分するかが，何十年来のめんどうな議論や反目の原因となってきた。

産業革命以前の農業社会では，労働とはごく自然的な事柄であった。太陽が四季や日々のリズムでもってわれわれに労働時間を指定してきた。そこでは人間に生活の内容を与えるのが労働であり，人々は自分のしていることを理解していたし，自分の努力の最終結果をみて，深い経験をうることができた。

ところが工業化がこうした生活の充足感を押しつぶしてしまった。労働の意味があいまいになり，その結果複雑で深刻な問題がひき起された。以前は労働のなかで求められていたことが，余暇時間のなかに移ってきた。

今日では，人間は生活の根本的な満足感を余暇時間のうちにえている。そして労働の意義は余暇活動の手段をえることにすぎない。

労働時間とは，余暇時間とはなにを意味しているのか？だいたいわれわれは余暇時間をなにかわれわれを無関係に存在しているもののように話す。しかし余暇時間についての問題は余暇時間そのものについてではなく，余暇時間をもつときの人間についての問題である。

■労働時間の短縮と年休制度

フィンランドにおける労働時間の歴史は工業化された国々の労働状況の発達とだいたい同じである。産業革命以前，われわれの祖先は自然と調和して働いていたが，労働日は，いろんな宗教的な祝祭のために中断された。ローマカトリックの国ではときには1年間で200日しか労働日のないこともあった。

フィンランドでは長くて陰気な冬と，夜のない夏が1年間の労働日の区分に独特の性格を与えた。

夏には，充分な収獲をえるためにかなり働かねばならなかったが，冬には日光はほんの数時間しか当らな

筆者紹介：Tapio Periäinen
フィンランド建築家，1927年 生れ
1952年ヘルシンキ大学卒
ヘルシンキで設計事務所共同経営。
ユネスコ奨学生として京大で日本建築の研究中。



い。生活は自然のリズムを追ってつり合いのとれたものであった。

新しい生産方式は，こうした状態を断ちきってしまい，人々により高い生活水準を与えたが，労働者たちは彼らの正常な生活から切り離されてしまった。

機械への投資は最大限にその使用を要求したが，その結果生じたいろんな社会問題によって，人々種々の手段でもって機械の支配をゆるめねばならなかった。こうした背景から労働運動が生れ，新しい思想と政治体制，より多くの余暇時間とよりよい労働条件を労働者のものにしょようとしてきた。

1909年フィンランドで行なわれた工場労働者の週労働時間に関する調査では表の如くであった。会社の規模が小さければ小さいほど，概して労働時間は長く，大規模な工場では週54～60時間労働が普通であった。

フィンランド工場労働者の週労働時間（1909年）	
48時間以下	2%
48～57	37
58～60	50
61～68	10
68時間以上	1

労働時間を制限するために，法律が乗り出してきたのはこのときである。

1908年　パン工場の週労働時間は多くとも48時間に，また夜業は禁止された。

1917年　8時間労働法がはじめて全般的な労働時間の規制をすることになった。すなわち週48時間，6日間の8時間労働と1日の休息日。

1920年　初頭以来，商店や事務所に働く労働者は雇用期間の長さに応じて，1週間から1ヵ月にわたるかなり長い休日を楽しんできた。

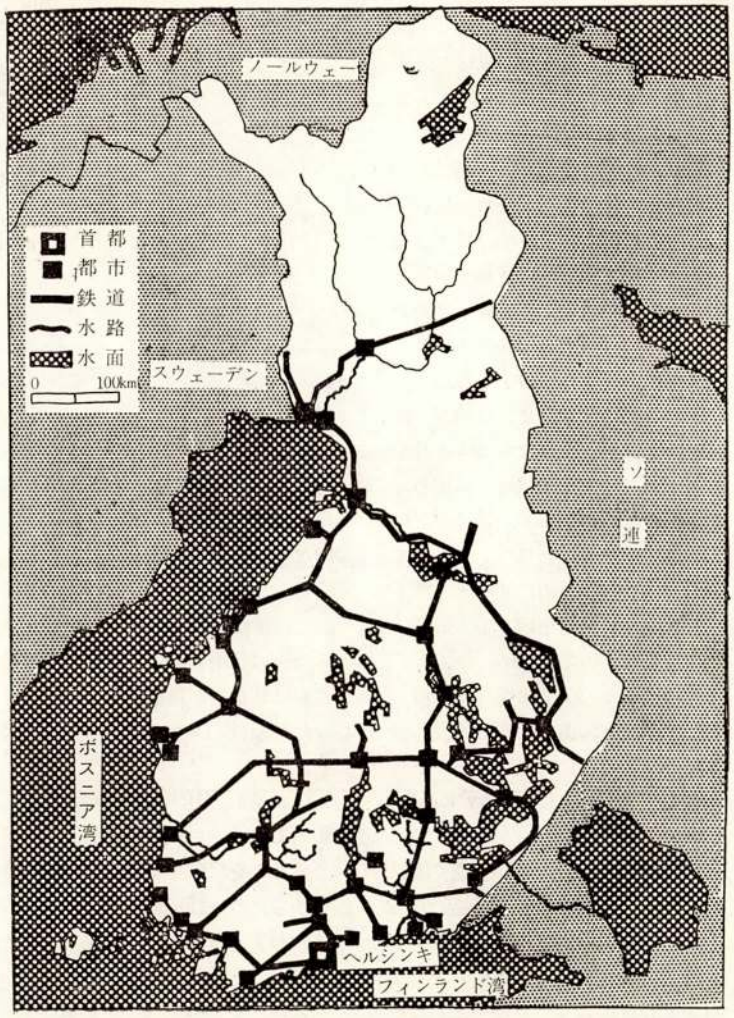
1922年　労働協約法はすべての労働者に休日の権利を確立した。

1946年　労働者年休法はあらゆる労働者に適用されたが，それによれば，休日の長さは雇用期間5年未満12日間，5年以上18日間，また商店や事務所で10年間勤続すれば24日間である。また彼らは週35時間の労働時間をもち，多くの事務所は土，日曜は休店する。

1962年　新しい法律によって，すべての労働者の休日は最小限18日間に延長された。年休は原則として5月2日から9月30日までの期間に一まとめにして許可されねばならない。もし休日が冬期にとられる場合には，50%の臨時休日がつけ加えられることもある。

■フィンランド―その余暇的風土

余暇活動は，一方では人々の性格によって，他方では自然や気候によって影響される。フィンランドと日本とのもっとも目立つ相違は，日本の夏は長くて，すごしにくく，フィンランドの夏は短かくて，快適であるが，冬は厳しいという点である。



フィンランドの家屋は冬向きにつくられているが，日本家屋は夏向きである。

フィンランドはほぼ正確に北緯60°～70°に位置しており，国土面積は337,000km²で日本より10%ばかり小さい。

人口はわずか 450万人である。国土の70%は森林でおおわれ，9%が湖である。およそ6万個の湖がありまわりの海には4万の島々がある。国土の3分の1は北極圏の南部に位置しているが，メキシコ湾流の影響をうけて，気候は同緯度の他の地域よりもかなり暖かい。人口密度は約15人/km²（日本は 250人/km²）である。

■貴重な夏休み

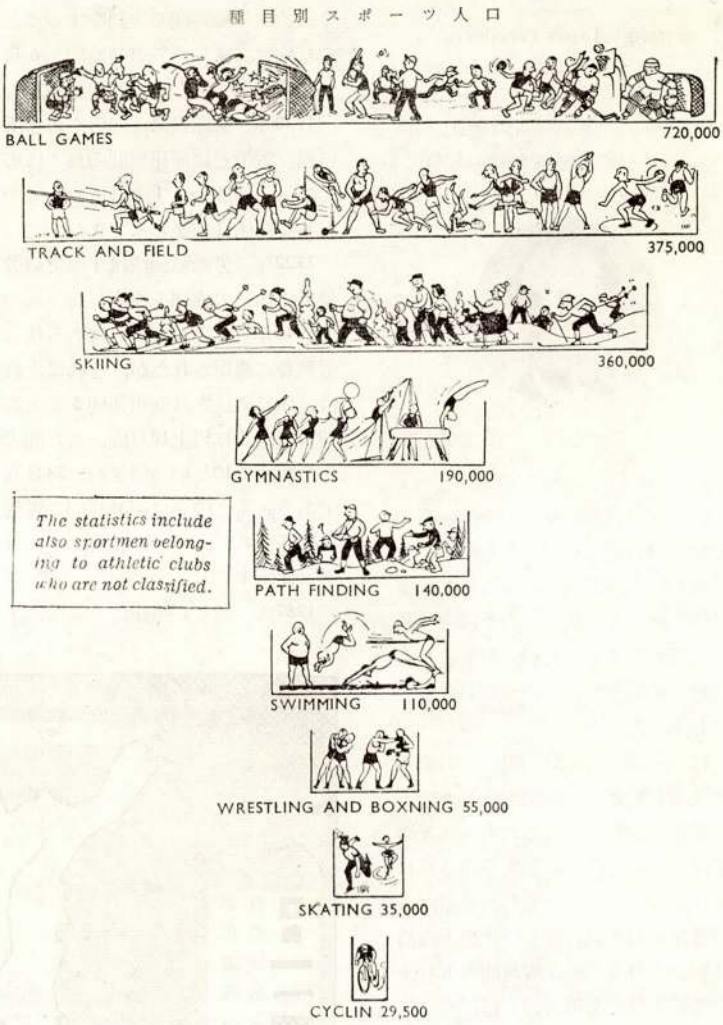
長くて冷たい冬と，ほとんど一晩中太陽に照らされる暑い夏は，生活にも人々にも独特の性格を与えてきた。

陰気な冬がすむと，夏の間にあらゆる自然の恩恵を摂取せねばならない。すでに述べたように，夏休みをとる権利は法律で保障されている。すべての学校，大学には3ヵ月間の休暇がある。新学年は9月1日にはじまり，3月31日に終了する。

実際，どの家族も夏には地方へ出かける。母親と子供たちは3ヵ月を田舎ですごし，父親は彼らに加わって短かい休暇をすごす。社会的，経済的な地位にかかわりなく，たいていの人は湖畔や海辺にサウナ（フィンランド風の風呂小屋）つきの夏の別荘をもっている。

夏の別荘での生活は素朴で，概して都市の住宅にあるような施設に欠けている。ときには電気設備や下水もなく，素掘りの便所（dry toilet）しかないときがある。

ここには他の人たちから遠く離れて，未開の自然に親しむ生活がある。森の中に一人でいるとき，フィンランド人は，自然に対する愛着が自ずとわき起ってくるのを知ることができる。



夏にはもっと気楽な生活を好む人もある。こういう人たちには，夏客用の農家の貸部屋，下宿屋やホテル網などいろいろな施設が用意されている。

このほか，国や県が社会的見地から一般の利用者や住民のために，あるいは私企業が従業員のためにつくった夏期村（summer village）がある。

休日連盟（Holiday League）は，すべての子供たちが田舎で夏をすごせることを保障するために，子供が多かったり，経済的に豊たかでなかったりする母親たちの世話をするためにつくられたものである。

夏には多くの工場や事務所が数週間も休業し，すべての建築工事は3週間閉鎖される。そのときは時間も生活も停止していて，何事も起らない。

人々が夏休みをすごしているときに，官庁，事務所，協会などでなにか用事を足そうとするのは至極困難である。

■余暇活動を育てる施設

夏休み以外の，週毎の，月毎の，あるいは年毎の余暇活動も高度に組織化している。

国はその社会政策を通してそれを実行してきた。また市や県には，そういった活動の諸組織やソーシャルセンターがあり，教会には余暇利用施設がある。そして工場や私企業，

官庁にはあらゆる種類の余暇活動組織がある。

専門的な余暇利用組織には，営利的なものも，そうでないのもある。今日の生活の一典型であるさまざまな商業的な娯楽ももちろんその一つである。

それらの二つの例を示そう。

フィンランドには40の専門劇場があり，そのうちの10はヘルシンキ（人口45万）にある。また，各地方では，アマチュアたちが演劇を創造している。これら1年間の上演回数は2万回以上といわれている。ヘルシンキでは毎夜14もの出しものがある演劇を観るだけではなく，自分で演技することも大変人気がある。芝居をすること自体が人々に満足感を与える。それにくらべれば，映画やTVはさほど重要性をもっていない。

またスポーツをとってみると，全人口のおよそ45%，200万人以上の人たちが種々のスポーツクラブの活動的なメンバーである。種目別のクラブ会員数は，球技（フットボールある種の野球，アイスホッケー）が36%，陸上競技が19%，スキー18%体操9%，ハイキング7%，水泳5%，レスリングとボクシング3%，スケート2%，サイクリング1%などである。

スポーツは二つの大きな運動体育連盟のもとに組織されている。スポーツ施設や競技場の大部分を，コミュニティや企業がもっている。また体育協会には附属研修所がある。

■余暇時間の変化と建築家の役割

なにかやろうと思えば，できる可能性は大いにあり，組織も豊富にある。しかし実際にはこれらの活動は重なり合っているので，人々はその選択の方法に迷ってしまう。

そして，ほとんど偶然に，広告や宣伝，出版などでひょいとある余暇活動の仲間入りをする。これら活動の範囲がどの程度なのかは明らかでない。

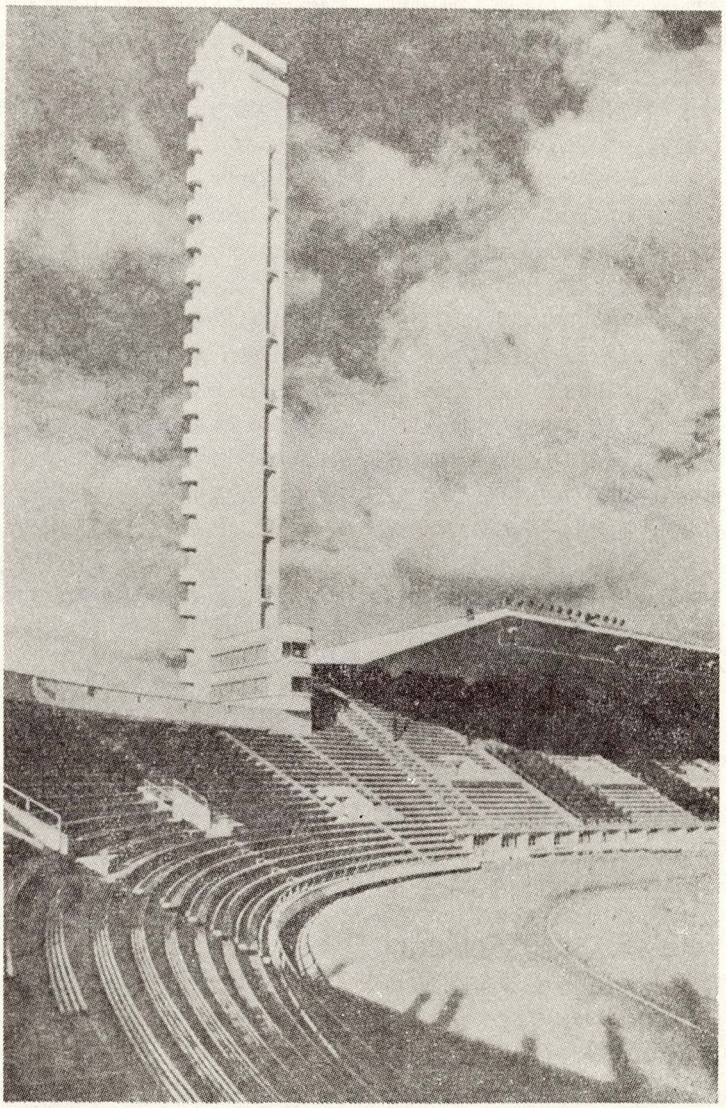
はじめに述べたように，余暇の根本的な問題は，余暇における人間の問題であるとすれば，余暇というものはどうしても組織化されねばならない。

われわれは今日でも多くの余暇をもっているし，今後ますます余暇は増加するだろう。いまやわれわれは時間をつぶすのではなく，あらゆるレクリエーションの要求を満足させるのに時間を使いえるかどうかの岐路に立っている。

われわれは，よりよい生活を営めるだけの物質的手段はもっている。それ故，人間にだけ可能な抽象的なものや精神的な価値に対して心を解放するときなのである。

建築家は，人々の具体的な環境の創造者として，また社会のもっとも根本的な精神的創造者として，あらゆる彼の仕事の上で，余暇時間の真の意味を表現せねばならない。なぜなら，建築家こそ，余暇時間の具体的な状況をつくり出すものであるから。（訳・城戸義雄）

ヘルシンキのオリンピック・スタヂアム（設計者：リンドグレンとヤンテイ）



資料紹介

二つの国民レクリェーション実態調査

「全国旅行実態調査報告書」内閣総理大臣官房審議室　昭37.10

「スポーツに関する世論調査報告書」文部省体育局　昭38.2

■レジャーブームとかオリンピックムードとかはやし立てながら，一体われわれの余暇生活の現状はどうなのか，そして将来の生活環境はどういう方向を目指すべきものかといった点についての基礎的な資料はほとんどない。

在来のこの種の調査は主としてレクリェーションの施設利用に関するものが多く，断片的で，利用者の実態はわかっても，いわゆる余暇利用以前の状態にある人々の生活についてふれることはできなかった。この点で「旅行」と「スポーツ」というレクリェーション活動の二大エレメントについて，ここに紹介するようなすべての階層の人々を対象とした本格的調査の意義は大きい。

■「全国旅行実態調査（B4版タイプ本文162頁）」は「国民旅行の普及推進と観光施設の整備についての方策に関する基礎資料をえる」という目的で，昭和35年10月1日からの1ヵ月間，全国341地点，4,948世帯の全成員23,847人を対象として，毎月一回の面接調査を行なった大規模なものである。

その内容は，旅行（1泊以上の）の目的，時期，期間，目的地，利用宿泊施設，交通機関，同行者の種類と人数，旅行費と家計よりの支出額など多項目に及んでいる。

一読した感想は，マスコミによる華やかなレジャーブームにもかかわらず，やはり全般的な国民の観光旅行はまだまだ低水準にとどまっているということである。

すなわち，一人平均の年間旅行回数は一回にも満たない0.65回，平均旅行日数は2.45日であり，そのうち業務出張や家事里帰りをのぞく，保健レクリェーション旅行だけの一人当り年間平均旅行回数はわずか0.35回にしかすぎない。さらに旅行回数の構成では，実に68.1%の人が年に一度も旅行したことがないと答えている。

このように，庶民のささやかな願い一せめて年一回の1泊旅行一の水準が満たされるのすら，なお程遠いことがわかる。

■つぎに，旅行の内容についてみると，一回ごとの平均旅行日数は3.80日，このうちホテル，旅館宿泊日数は1.32日で，平均旅行費は5,394円，そのうち家計よりの出払額は3,363円となっていて，夜行列車の利用，知人，親戚宅への宿泊などで，かなり切り詰めた旅行をしていることがわかる。旅行集団についてみると，家族連れや，友人グループの小集団旅行は全体の40.5%にしかすぎず，職域，学校，地域，宗教，募集，招待などのいわゆる団体旅行が実に過半数の55.2%にも達している。さらに観光レクリの目的別には，比率の順に見物，温泉休養，親睦がほぼ25%前後を示めているほか，寺社参詣7.5%で，いわゆる「みる・やすむ」レクリェーションが大部分で，戸外レクリェーションといわれる，スポーツ，登山，ハイク，キャンプ，海水浴，舟遊びなどはそれぞれ3～5%台にとどまっている。もちろん，この調査では日帰り外出が対象になっていないことを考えても，同書の指摘するように，この結果は「旧来的なタイプの旅行，職場や業務と関連した親睦団体旅行」の多いことを物語っている。

■ソーシャルツーリズム（国民旅行制度）を拡大しようという点からみて，注目すべき点は，全般的な水準よりも，観光旅行の階層的格差が意外に大きいことである。たとえば，職業別の旅行費，回数，日数についてみれば，最高の経営者は40,557円職員11,145円で，最低の日雇労務者とくらべてそれぞれ74倍，20倍もの開きがある。旅行回数，日数の格差は旅行費ほどではないがやはり，経営者11.6日，職員6.3日で，他の職業が大体4日以下であるのにくらべて多いのが注目される。また農林漁業では72.3%の人がまったく一回も旅行をしていないのに，逆に経営者は71.4%，職員は70.4%の人が一回以上の旅行をしている。

この調査に現われた余暇利用の二重構造をどのように解消してゆくかが，国民旅行普及への基本的な課題であることはいうまでもない。こうした点で，この調査はもっと，諸階層におけるレクリェーション旅行を軸とした体系的分析が欲しかったと思う。また昭和36年3月に発表した「国民の旅行に関する世論調査」との関連，比較を試みてほしかったと思う。

■「スポーツに関する世論調査（B4版タイプ119頁）」は「国民の間におけるスポーツの普及状況と，スポーツに対する考え方を調査して，スポーツ振興の基本的計画の立案およびスポーツ施設基準作成の資料をえる」という目的で，昭和37年10月9～14日，全国209地点で，18才～59才の男女2,365人を対象として行なった面接調査の結果である。

その内容は，1）スポーツ普及の実態，スポーツの好き・嫌い，実施の度合，目的，時間，場所，組織，希望種目など。2）スポーツの普及に関する意見，個人的な必要度，普及の障害，スポーツ振興策についての意見。3）スポーツ経歴の三部で構

成されている。

これを概観していえることは，スポーツを愛好する層はかなり厚く，スポーツを嫌いと断言するのはわずか9％である。しかし，その愛好者たちが，実際に自分でスポーツをしているかというと，ぜんぜんやらない層が全体の58％にまで達している。スポーツ新聞やテレビ，ラジオなどのマスコミによって，あるいはスタンドやリングサイドの見物客として，スポーツファンの数は多くても，実際に自分でしている（できる）スポーツ人口はそれほど多くないことが実証されたわけである。

■自分でスポーツをしている人は一体どれくらいしているのか。調査前1ヵ月間についてみると，週二日以上が9％，週一回が11％でほとんどスポーツをしなかったのが80％にもおよび，そのうち45％はやりたくともできないと答えていることが注目される。その理由としては，時間がないが圧倒的に多く，ついで場所や施設がないこと，疲労，相手や仲間がいない順になっている。さらにスポーツを少しでもしている人について，不便な点を聞いてみると，まず場所，ついで用具，仲間，相手，指導者，費用などの理由をあげ，まったく不便を感じないと答えているのはわずか20％にしかすぎない。

つぎに，どういうスポーツをしているかといえば，一年間にした種目で，一番多いのは野球（キャッチボールを含む）17％，卓球，登山，ハイク，水泳，バレー，ソフトボールが10～12％，バドミントン，フォークダンス，民謡などが8～9％でこれについでいる。

■スポーツを国民の間に普及してゆくには，児童期からの指導，余暇や費用など個人のスポーツ能力を高める問題があるが，それ以上に重要なことは，社会的にスポーツ施設をどのように建設してゆけばよいかという問題である。とくにスポーツ人口の顕著な伸びがみられる現在，施設問題が最大のガンとなることが予想される。この点について，昭和32年に総理府審議室が行なった「スポーツに関する世論調査とくらべてみると，スポーツを週一回以上する者の比率は前回の10％から今回の19％まで上昇しているが，それに比例して場所や敷地の不足を訴える人の比率も7％から13％にまで増えている。つぎに一体どういうスポーツ施設が必要となるのだろうか。この二回の調査を比較してみると，全体的に各種目とも数倍になっているが，注目されるのは，前回は野球（キャッチボールを含む）7.5％，卓球4.5％，バレーボール3.4％など，比較的身近かなスポーツに限られていたのが，今回では，上の三種目はもちろん，その他の各種目と巾広い愛好者をもつようになっていることが注目される。とくに，特別の施設や道具を必要とする水泳や陸上，スキー，スケートなどでもスポーツ人口が数倍増している。そしてつくってほしい施設としては，まづグランド，広場，野球場を望むものが全体の46％もあり，ついで体育館，卓球場など23％，テニス，バレーなどのコート16％，プール10％，キャンプ場，山の家，海の家などが10％となっている。

■このようなスポーツ施設はどういう場所に配置されればよいのだろうか。スポーツをどこでしているかという問いに対して，学校14％，空地や道路12％，職場の施設9％で，公園や運動場など公共施設を利用しているのはわずか5％にすぎない。しかし，上の要求では日常使えるような都市内でのスポーツ施設が圧倒的に多く，その解決策としては，学校を一般に開放するのは現在のところ難点があり，スポーツ施設をもつ職場は大企業を除けばほとんどなく，スポーツに使える空地や道路が次第に少なくなっている今日の都市ではこうした諸施設は，どうしても公共的なものに頼らねばならないのではなかろうか。

また一方，スポーツ種目の拡大にともなって，都市外でのスポーツ，観光レクリェーションへの動きに注目しなければならない。

キャンプ場，山の家，海の家への強い要求はこの傾向を示しているし，スポーツを組み入れた観光旅行は将来の観光レクリェーションの花形となることが予想される。

こうした発展方向からみると，この調査の目的であったスポーツ施設の基準作成には，近隣的なもの，都市的なもの，広域的なもの等々，施設に要求されるレクリェーションのタイプやスポーツ種目の専門化の度合に適応した施設のネットワーク構成が必要となろう。そういう点で，この調査はスポーツの行なわれる地点や，専門化の度合をもっと追跡する必要があったのではなかろうか。

■以上二つの調査報告書の内容をかいつまんで説明したが，問題はこうした調査結果がどのように国の政策に反映してゆくかであろう。レジャーブームというのは，中間層を中心に展開する消費パターンの革命を企業の側からみたものであり，国民レクリェーションの現状は，まだまだ意外に貧しい。この点からみても，レクリェーション施設は，住宅や生活環境施設などと同様，国や自治体の保障すべきものであり，また社会福祉的な観点から，余暇やスポーツに要する費用，旅行費などの保障を制度化してゆかねばならないことは明らかである。

終りに，この種の全国的調査は資料としても有益であり，かつ，適切な解説をつければ一般書としても興味があるので，単なる当局の政策資料としてではなく，ぜひなんらかの方法で刊行されること，さらに一回きりの調査ではなく，今後とも継続されることを希望する次第である。

（三村浩史）

会員の頁

どしどしご投稿下さい。テーマ自由。掲載の分には粗品呈上。目次のところに挿入のハガキを利用下さい。

☆　☆　☆

□平和のバロメーター□

平和のシンボルとして文化の華が咲く，建築もそのなかにあって多彩な色どりを添えている。現代はその最たるものではなかろうか。レクリエーション施設から，運動，社会，商業，工業，教育，官庁，娯楽施設，住宅に至るまでまことに多岐に渉り百花咲き競っているの観がある。新建築を紹介する雑誌の厚みも年とともに厚くなっているのは，私ばかり愉しんでいるわけではなかろう。建築雑誌の厚さこそ平和の深さを測るバロメーターではなかろうか。

このような時代の建築家は，忙しさも張り合いのある忙しさであるはずである。もちろん仕事のなかにあっては，種々のジレンマもあろうが，大局的には大いに平和を欧歌して，斯界の進歩を計るとともに，恒久の平和に寄与するべきである。

（宝塚市在住・松村志津男）

☆　☆　☆

□高田さんの投稿に答えて□

2月号のこの欄に投稿の東京高田秀三さんにお答えします。見学会などの参加についてのご希望はごもっともと存じます，早速，この企画実施を担当しています事業委員会の3月例会に議題の一つとして提案があり，つぎのような申合せが行なわれましたのでお知らせします。

1．会告を一日でも早く知っていただくために，雑誌の発行が遅れないように雑誌発行日の確保について編集委員会に申入れする。
2．見学会などの企画で早く決定できるものは，前々月の委員会で日時だけでも決めて，一ヵ月早く予告をするように努力する。
3．これがために現在の委員会定例開催日を新年度より，半月位い繰り上げて開催することも考えられるので，この件を次期委員会で検討する。
4．地方会員への特例については，最近各見学会ともに好評で毎度定員を上廻る申込数があり，抽選で定めている関係上認めるのは無理と思いますが，それでも当日に二，三人位いの取消し連絡がある場合もありますから，前日までに速達なり電話でも結構ですから事務局までお申出いただいておれば，あるいはご希望に副えるかと思いますので念のため。

もちろん事業委員会としましては，近畿在住の方のみの参加でなく，広く地方の会員の方からの参加を待っています。

昨年度は東海，兵庫，中国各支部と共催でその地方の見学会を企画し地元の方々も多く参加していただくとともに，交流を考えていますので今後もどしどし地方の皆さんが奮って参加していただけるよう努力を重ねたいと考えています。どうか皆さんから委員会へのご注文なりご希望をお聞かせ願います。（事業委員会）

☆　☆　☆

□本誌発行日確保について□

事業委員会より当編集委員会へ「雑誌発行日を確保の件」についての申入れがありましたので，編集委員会では，もっともなことであり，いろいろ検討いたしました。毎月1日に発行するのが常識で，極力そのようにしたいと日程を組んでみましたが，過去数ヵ年間の実績と印刷屋の工程との関係やらで結局毎月の8日に発行ということにいたしました。いままで，上旬発行が中旬発行になったりして，各位にご迷惑をおかけしたことを深くおわびいたします。5月号より，発行日を毎月8日に確保いたします。　（編集委員会）

☆　☆　☆

□1963年度「建築年鑑賞」受賞作品□

「建築年鑑賞」の第4回授賞作品は，つぎのとおり決りましたので発表いたします。

・早稲田大学文学部校舎（東京都）
　企画　早稲田大学
　設計・監理　村野・森建築事務所
　施工　株式会社戸田組

これは，例年どおり「建築年鑑」63年版の掲載作品中より選ばれたものです。選定経過は刊行時紙上にて明らかにいたしますが，最後まで残った作品はつぎの4点でした。

・早稲田大学文学部校舎〔上記〕
・梅若能楽学院能楽堂（東京都）
　設計・監理　大江宏建築事務所
・新阪急ビルディング（大阪市）
　設計・監理　株式会社竹中工務店大阪本店設計部
・アテネフランセ（東京都）
　設計・監理　吉阪隆正研究室

なお「建築年鑑'63」は来る6月刊行の予定で，授賞式はその節行ないます。　（建築年鑑編集会議）

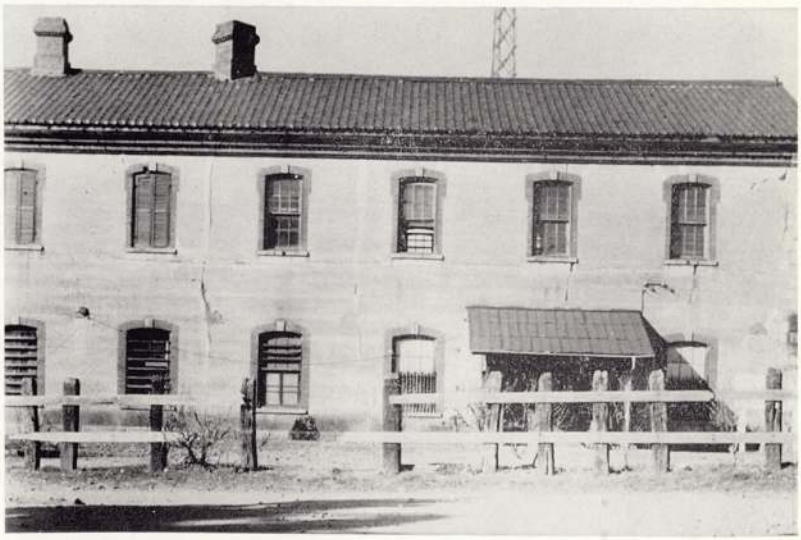
□日本鉄鋼連盟創立15周年記念懸賞論文募集□

論題――①鉄鋼コスト引下げの具体的方策
　②鉄鋼需要拡大の具体的方策
枚数――一題につき20～25枚（400字詰原稿用紙）
締切――昭和38年8月末日
賞金――1等5万円（1編），2等3万円（2編），3等1万円（若干編）
送り先――東京都千代田区丸ノ内1日本鉄鋼連盟

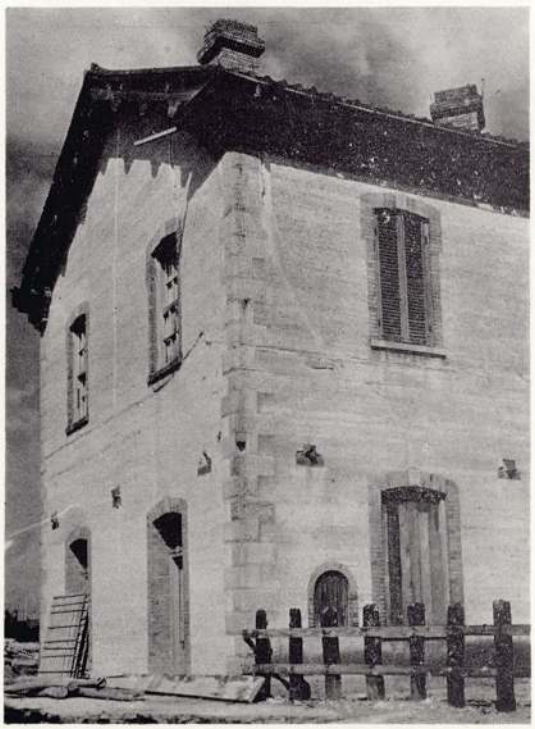
旧長浜駅駅舎

鉄道が明治以後に文化の進展に寄与したところはまことに大きいものがあるが，建築の面においても例外でなく，駅舎・機関庫・鉄橋など，みな当時最新の偉容を誇ったものであった。しかしここ9年で一世紀を迎えようとする現在にあっては当初の姿を伝えるものは非常に少なく，駅舎においても10年代のものは長浜旧駅舎だけとなって，現存最古の駅舎としての貴重な存在となった。従って国鉄指定「鉄道記念物」の建造物としては第1回に指定（昭和33年10月14日）されたのであった。国鉄現存の古い駅舎では山形(明34)，博多(42)，などがあり，和風を主とするものでは二条(山陰線，37)があるが，古さは長浜駅舎に較ぶべくもない。優れた意匠のものに福島(36)があったが一昨年姿を消してしまった。

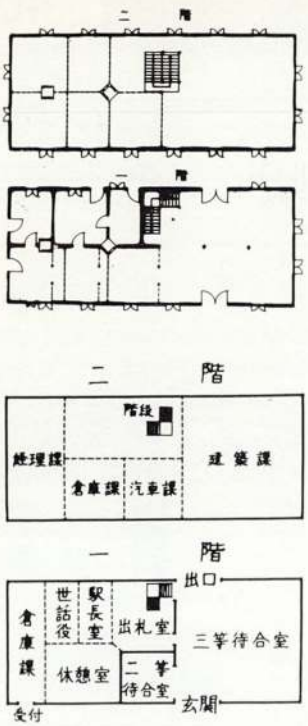
さて長浜旧駅舎についての確実な資料はまだ見ていない。ただ鉄道工事，開通などの事情から沿革の大体が知られる程度である。明治15年(1882) 3月10日に敦賀より柳ケ瀬隧道西口までおよび長浜より柳ケ瀬東口までが開通したが，これは国鉄第五番目に当る鉄道で長浜はその始発駅であったから駅舎もその頃できたものであろう。当時東海道線はまだ全通せず，長浜・大津間は琵琶湖上を船で連絡していたので，長浜は大津とともに車船連絡駅として重要であった。当初はこの駅舎に近く貨物倉庫・建築工事所・車輛工場などがあったが，貨物倉庫は大正13年に敦賀に移され，その他は取毀たれた。現存駅舎は最近まで購買組合などが使っていた仮設的な間仕切などが造られていたが，昨年の鉄道90年を記念して内部を修理，一部は復原され



第1図　駅舎南面（修理前）　昭和33.11.28.撮
壁面の大きい亀裂が目立つ。室内からこれをすかして外部が見えるほどであった。屋上に2本の煙突を西寄りに出している。一階右寄りの屋根は後補である。



第2図　駅舎南西面（修理前）
昭和26.10.19.
まだ記念物指定のこともない頃の写真，相当ひどく荒れていた。



第3図　駅舎現状略図（修理前）と往時の間取り

上2図は修理前平面スケッチ，細線は推定間仕切。下2図は『鉄道温古資料』所載。

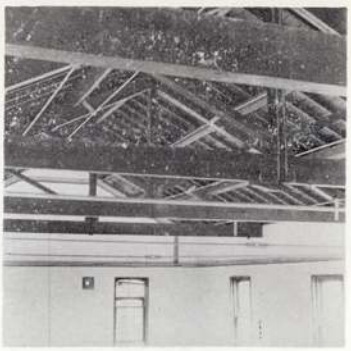


第4図　二階階段付近（修理後）
昭和37.10.1.撮

二階は間仕切が取去られ，広い一室をなしている。手摺子は一部失なわれていたが，今回鎧戸などとともに修補された。



第5図　二階小屋組（修理前）
昭和33.11.28.撮



第6図　二階小屋組（修理後）
昭和37.10.1.撮

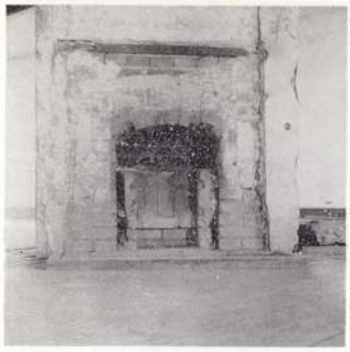
補強のため鉄材が加えられ，壁は新しく塗替えられた。

て将来は参考品などをならべる施設に使われる予定であるという。（修理期間昭和37.8.3〜同10.1）規模は東西23.90メートル，南北9.19メートルの矩形，二階建，南面，桟瓦葺の建築である。現在一階外部につけられた屋根を失なっているがもとは初代京都，大阪駅々舎と同様の吹放しの屋根がついていた。現在壁面にその痕跡または切断された繋梁の取付痕跡を残している。これらから復原するとこの駅舎も上掲のそれらと似たものであった。

この駅舎の壁体構造は珍しいもので，修理前は渋い茶黄色で，煉瓦および要所には石材を用いているが，その他は粗い砂利混りの一種のコンクリートである。明治42年の近江地震の際できたという壁面亀裂は1.5 cmくらいの巾のもあって，その間を透かして見ても大体均一で何もなく，一種の無筋コンクリートというべきものである。ただし部分的には相当大面積にわたって煉瓦積をしているところもあり，四隅は石で隅積を施していてる。結局この外壁構造は石・煉瓦・一種のコンクリートを混用した現存では珍しいものと言えよう。

内部は階上階下とも相当な変更がなされ，修理前の痕跡によれば一階は少なくとも二回の間仕切の変更，二階は元の間仕切を全部撤去して一室としていることが知られる。しかし割合に楽に復原できる程度の痕が残っていた。当初の室名・室割りなどは『鉄道温古資料』昭17.10に出ていて，一階に二等・三等待合室・出札室・休憩室・駅長室・世話役室・倉庫課の各室が，二階には建築課・汽車課・倉庫課・経理課の各室があったという。現在も残っている階上階下を通り屋上まで貫く煖炉は可及的に多方面各室から使えるようにしたものである。この煖炉は現在甚だしく破損しているが，残っている仕上げを見ると在来の土蔵あるいは城郭の塗り方と同じ手法のようである。ただし焚口の部分は英国製耐火煉瓦で，RUFFORD STOUR BRIDGE あるいは SUPERIOR FIRE BRICKS の刻印を押している。

この駅舎の設計者は明らかでなく，地元では建築首長 Shepherd



第7図　二階煖炉焚口（修理前）
昭和33.11.28.撮
此部に用いる前の金具は失なわれているが，残っている所もある。



第8図　二階煖炉焚口の耐火煉瓦（修理後）
昭和37.10.1.撮
刻印がよくみえる。同種のものが泉布観からも出ており，摺本を重ねてみると両者合致する。



第9図　床の叩き修理状況
昭和37.10.1.撮
一階床は今回当初の手法により叩きとして復原された。図は手製の工具で叩いているところ。この音は大変喧しいものである。

Charles をその人とするが，彼は明治8年8月病歿しているので関係し難い。『日本鉄道史』上（鉄道省）によると明治10年以降関西において建築関係の技術者としては建築師長 T. R. Shervinton，同 E. G. Holtham，建築師 T. M. Rymer Johns などの名が見えるからこれらの内の人々によって設計監督または指導がなされたものであろう。その請負師は神戸の稲葉弥助であった。この工事で英人がどの程度の関与をしたかは推定の域を出ないが，鉄道に附随した工事であり，大部分は彼等の指導により行なったものであろう。とくに前述壁体の特殊構造の他，階上の小屋組が現在普通に見るキングポストとほとんど変らないものを用いているのに注意すべく，このようなのはすでに京都竜谷大学本校にも見られるものであるが初期的段階を超えているのに注意される。その他階段廻りや手摺の手法，破風板につけた通称「ようらく」飾りなども英人の原寸図をもとにしたのが多かったであろう。

（工博　近藤　豊記）

参考資料

『日本鉄道史』上・中・下　鉄道省　大正10. 8.
『鉄道温古資料』　名古屋鉄道局総務部　昭和17.10.
『近畿における初期鉄道史跡の現状』　篠崎四郎　昭和33. 9.
『第一回鉄道記念物のしおり』　日本国有鉄道　昭和33.10.
『鉄道記念物ものがたり』　日本国有鉄道　昭和37.10.
その他　長浜駅蔵資料など

附　記

この稿を終って後，金沢鉄道管理局施設部建築課の富田文一氏から修理関係の資料を贈られた。御礼を申し上げると同時に将来同氏の許可を得て追補したい。

註　"Stourbridge" は泉布観の煉瓦にも刻印されているが，Chambers's Encyclopaedia, New Ed. vol. 13 (1950) によれば，

Stourbridge, an English town (a municipal borough since 1914), in Worchestershire,……. It is a market and shopping centre for an agricultural as well as an industrial area, ……now has earthenware and firebrick warks, besides manufactures of iron, chains, shipping appliances and heating apparatus.

などとあって耐火煉瓦も生産した所である。大英百科全書にも似たような記載がある。



第10図　床の叩きに用いる工具
昭和37.10.1.撮
工人が自分で造った木製の各種工具。

第4回・数寄屋師



笛吹(うすい)嘉一郎さん（65才）

ある茶匠のひいた図を示された業者が「竹棰に竹木舞の化粧屋根裏，そんな竹に木をつぐような不思議な仕事はようしません」といったという。今ではもちろん，その頃でも押しも押されもしなかった大工務店の昔話である。伝統的な木造建築技術は，近代的な建設業者の手からは完全におきざりにされ，特殊な工匠の世界にゆだねられていたのである。一般に木造建築は工学的な建築としてはきわめて安易なものと考えられがちであったが，社寺，堂塔のような建築にはその特殊な技術的価値を認める傾向にあった。これに対し居室として許される最低限の高さにも達しない小規模で軽微な構造をもつ茶室とか数寄屋の類は，一般の建築技術者にはほとんど相手にされなかった。そうした建築への関心がにわかに広がったのは戦後のことである。今ではもう大ていの建設業者や設計家なら茶屋・数寄屋も一応手がける体制を備えるようになっている。それでもなお，茶室は一般の建築家にとって厄介なものになっている。近代建築の華やかな展開の蔭で，ずっとそうした茶室建築の技術的伝統を守り，その妙味を発揮しているのは「数寄屋師」である。茶室の建築的秘密はいぜんとして数寄屋師の掌中におさめられているといって過言ではない。



笛吹さんの作：岡山後楽園利休堂
（昭和36年8月作）

いわゆる数寄屋普請の発達地はなんといっても京都であった。江戸では上方(かみがた)の職人を呼ばなければ本格の普請はできなかった。その京都にも今では昔から代を重ねた家柄はあまりきかない。今日お訪ねした笛吹(うすい)嘉一郎さん（北区小山東大野町）は数寄屋師として三代目であるという。明治31年のお生まれで，学校を卒えられてすぐ家業を先代に習われ，23才頃古門前の林邸の三畳台目の席を一人で纏めたのをきっかけに，25才で先代と死別して以来，この道一筋に活躍を続けられ，現在までに四畳半以下の小間だけでも70幾つの作品があるという。

同じ伝統的な木造でも，堂宮と数寄屋の建築の間には，かなり本質的な技術上の相違がある。すでに江戸時代から数寄屋大工という技術的領域が分化していたのも当然のことであった。そういう数寄屋と堂宮との関係について笛吹さんは「私は初めから数寄屋を専門とする系譜のなかで育ちましたから，そうした堂宮とのちがいをとくに深刻に意識したりそれに悩んだりしたことはありませんでした。私の経験では，大河内伝次郎はんがお住居のなかに寝殿造と書院造，それに数寄屋の三つの趣向を組合わせてみたいというご相談がありまして，まあなんとか纏めたんですが，そのときはじめて舟肘木や蔀戸のある建物をやってみて，自分なりに堂宮風なものもこなせることがわかりました。たとえ門一つにしても，私どものやった堂宮風なものが，その方の専門のお人からはどう批判されるか知りませんが，少くとも堂宮の人が造らはる数寄屋に比べれば，まだましなのではないかと思えます」堂宮には体系化された木割がある。名匠は独自の経験から割出した尊い木割をもっている。数寄屋は自由でそういう方程式のような木割はないが，やはり拠るべき規矩がある。「数寄屋はやはりお茶が基本になっております。私も仕事を習う前からお茶をやりました」と笛吹さんは説く。お茶といってもそれは単なる点前のことではない。「茶室や座敷の使い方はもちろん，茶事の雰囲気，そこへくる人の気持，お茶の考え方など，普通の茶人の修行の仕方とは少しちがうが，茶の世界の本質をよく体得しなければ本当の数寄屋は造れません。茶室風の調子をだすことはだれにもできる。この頃は茶室が大流行ですが擬い物がいかにも多い。失礼かも知れませんが，一流会社の作品でもそうです。それは結局茶と離れた設計や仕事になっているからです。茶の筋の通った正しい数寄屋の型を守ってゆくのが私の立場です」と安易な数寄屋ブームを批判した笛吹さんはまた職人の減少を嘆いている。「若い人のなかにもこの方面の仕事を覚えてみたいという気持のある人はいるが」実際には養成は困難らしい。数寄屋の海外発展について「大いに結構で，私も先年インドの茶室を造ったこともあるが，日本に育った伝統建築をちがった風土にどう調和させるかが問題です」今後の茶室は「やはり茶の在り方が変わらない限り茶室を変えうるものではない。また永い間に完成された今の茶の在り方がそう簡単に崩せるものでもない。たとえばいつか展示されたミキサーの茶というような試みは少しも茶の改革にならないでしょう。ビルのなかに古い型の茶室を造るのはおかしいという意見もあるが，茶の姿が変わらないのに，茶室の型を変えるべきではありません」数寄屋の建築技術の本筋を正しく伝えようとする笛吹さんの心構えは，どこまでもきびしくかたい。

（中村昌生記）



伊奈の
衛生陶器

伊奈製陶株式會社

本社・工場　愛知県常滑市扇面新田　電常滑700(代)
東京事務所　東京都中央区西八丁堀2－8　電(551)6371(代)
大阪事務所　大阪市西区新町南通1－23　電(541)5484(代)

カタログ送呈

コーキングパテ

ウヅラEO



柏原瀝青株式会社

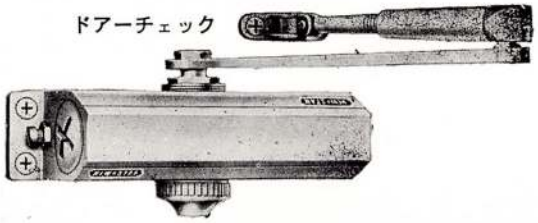
本社工場　大阪市西淀川区御幣島東２ノ５　電話大阪(471)1494～４
第二工場　大阪市西淀川区御幣島西３ノ99　電話大阪(471)０４２６

パテタイル

NEW★STAR

創業大正八年

ドアーチェック



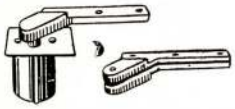
ラバトリーヒンヂ



ピポットヒンヂ



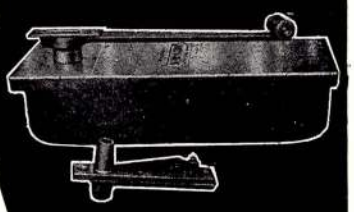
ピポットヒンヂ



ドアーチエック



フロアーヒンヂ



日本ドアーチエック製造株式会社

取締役社長　出向井啓蔵

本社工場　大阪市生野区巽矢柄町222　電話 大阪（716）2231(代)
東京支店　東京都千代田区神田錦町1丁目23　電話 東京（291）1920・4920
福岡出張所　福岡市船津町1番地　電話 福岡（74）2372・3312
名古屋出張所　名古屋市東区高岳町1丁目11番地　電話 名古屋（94）4627～8

社団法人 日本サッシ協会
関西支部賛助会員

スチールシャッター

小俣製作所大阪支店
三和シャッター株式会社
鈴木シヤタア商会
日本シャッター製作所
日本文化シャッター株式会社
本田工業株式会社

錠前

昭和金属工業株式会社
谷山製作所

サッシ・ドアー附属その他建築金物

石倉金属株式会社
大阪建築金物製造(株)
大鳥機工株式会社
協同金属工業株式会社
近松金物株式会社
株式会社熊本商店
渋谷金属産業株式会社
日本ドアーチェック製造(株)
平安伸銅工業株式会社
増田産業株式会社
株式会社満点製作所

サッシバー

加納鉄鋼株式会社大阪支店
東都実業株式会社大阪出張所
東鋼商事株式会社大阪営業所
西村金属株式会社大阪出張所

サッシ・ドアー製造用諸機械

関西鉄工所

パーカー

日本パーカライジング株式会社大阪出張所

(五十音順)

世界に誇る驚異的建材!
ガスにも熱にもビクともしない!
40年の厂史と最新技術の産物

特許---耐酸.耐アルカリひふく鉄板
オリエンタルメタル

永久建材・超ひふく鉄板
スーパーオリエンタルメタル

新時代にマッチした色つきのひふく鉄板
オリエンタル カラーメタル

美しいアルミ箔ひふく鉄板
オリエンタル アルシート

型錄送呈
責任施工

オリエンタルメタル製造株式会社

本社工場 尼崎市大物北口 電話 大阪(481)4947~9
大阪支店 尼崎市北新町4-41(古川ビル) 電話大阪(401) 9745~6
東京支店並工場 埼玉県蕨市大字塚越1620 電話 蕨 3252~4
支店・出張所 郡山・八幡・名古屋・川崎・岩国・宇部・延岡・敦賀・三原・徳島・徳山

ABCの建材

アメリカ・アームストロングマーク社の

アームストロングタイル

三次元模様の

テッセラ・コーロン（ビニール・シート）

2.29mm×182cm×21m

斬新なデザイン・耐久性に優れた

アスファルト・タイル　（厚　3.2mm）

エクセロン・タイル　（厚1.59mm）

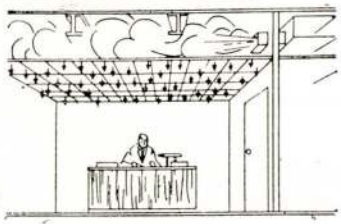
クラシックなフンイキは

テラゾー・コーロン（ビニール・シート）

1.6㎜×182cm×28m

“ベンチ・レーティング”の登場!!

ダクト網と放散器のいらない
画期的な吸音板
不燃防水性鉱物質繊維の
経済的な吸音板



ABCコーキング

凡ゆる間隙から
永久に漏水の心配を根絶
永久に気密を保持する
コーキング剤

台座非収縮機
機械台座非収縮機
……ノンシュリンク

コンクリート
モルタルの接着剤
……クリートボンド

繁栄する会社の良き伴侶

カラクリート

美しい床をあなたに！
床・階段・廊下に
ロビー・ガソリンスタンドに
どこにでも使える
カラクリート
耐磨耗性
耐水・耐潤性に富む

フェロコン

フエロコンは工場の
倉庫の床に
鋼板を張ったような
効果をあげます

K.K ABC商会

東京都千代田区永田町2～77
TEL (581) 1411 (代表) ～7
大阪出張所
大阪市西区京町堀1～18 (京町会館ビル)
TEL (441) 3915・0500・9303

切梁材のない地下工法

大林組本店工務部
金田　宏

1. まえがき

最近における土質工学の進歩は，土の性質把握のため大きな貢献をし基礎工法・土留工法の技術向上に利するところが非常に大きい。また，土工事・基礎工事施工機械の急速の進歩と利用が，地下工法に大きな役割をはたし，今日の土と基礎の工法のめざましい進歩発達があるものと思われる。

従来，土留工法として切梁支保構が一般に用いられてきたが，これは単に土を掘削し，地下構築物を施工するための仮設的な工事であることから経済性が重要視され，安全性において不充分な点が多く，地下工法に伴う公害を避けるには欠点の多い工法といえる。

近年，東京・大阪などの都心におけるビルはますます大規模になり，地下数階におよぶ深層地下工法を要求するものが多くなってきた。このような地下20数メートルの地下掘削に切梁支保構を架設することは，たとえ支保構材料が木製から鋼製・鉄筋コンクリート製に変り，次第に剛な土留の構造に移りつつあるとはいえ，安全性の面では十分な工法とはいえない。

安全で経済的な，そして工期ができるだけ短縮でき，騒音・振動の少ない地下工法……。このような必要がすぐれたアイデアを生んで，それぞれ特徴をもつ新工法が各建築施工業者によって考案され，いづれも安全に施工され成果をおさめている。これら新工法の共通する点は，地下室の主体構造をそのまま土留としての支保構に利用する点で，このようなことから考えればこれら新工法を「切梁材のない地下工法」と呼ぶことができる。

ここでは，この2～3年の間に発表された新工法の数例を簡単に紹介してみる。

2.最近施工された新地下工法

(1) ウォールケーソン・深礎工法

(大阪神ビル・大林組その他)

地下主体構造の一部となるように設計されたウォールケーソンを，ニューマチックを使用して敷地の周囲に沈設して地下工事の擁壁とし，中央柱位置に深礎工法により鉄骨柱を建て込み，これに主体梁を架設してコンクリートを逆打ちしながら全体の掘削を進めてゆく工法で(図-1,2)地下4階以上の深い掘削を要する大建築にしばしば採用されるが，軟弱な冲積粘土層の厚い大阪でははじめて採用されたので，ここで紹介してみた。

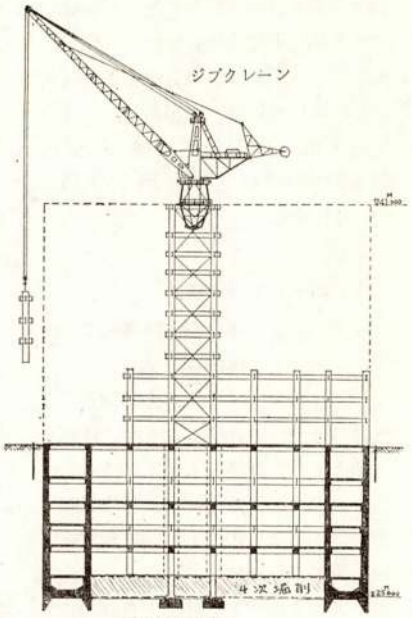
なおこの現場では，中央深礎柱4本を地下工事の支えだけとしてではなく，コアシステムによりジブクレーンを採用することにより地下階構築と地上階構築をスムーズに行った。

掘削深さは，地下5階で，GL−25.60mである。

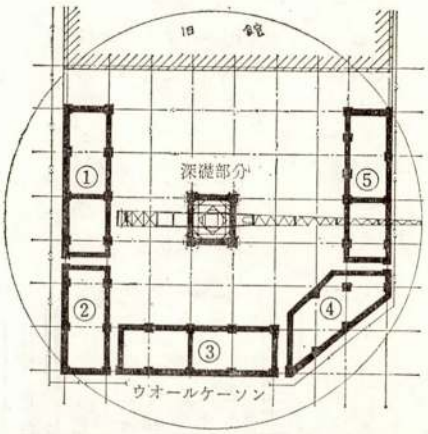
(2) 竹中式深礎工法

(新阪急ビルなど・竹中工務店)

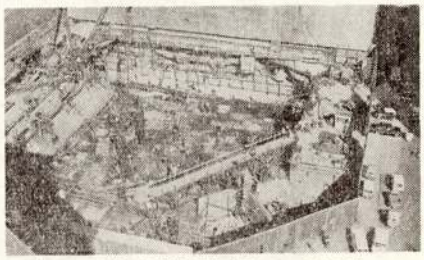
この工法については，すでに本誌1960年8月号に紹介されている。他の工法といちじるしく異る点は，掘削土留壁として「竹中式オーガーマシン」により現場施工の長大な現場打ち鋼管コンクリート杭（竹中オーガーパイル）の柱列を使用する点でオーガーパイルの間隙閉塞工法としては止水鉄板・止水木杭の打ち込み，薬液注入を施したサンドパイル



図—1　最終段階掘削の断面
1段おきのスラブが土留支保構となる。



図—2　周囲のケーソンブロックプランと中央深礎柱。



写真—1　深礎に鉄骨柱を建て込んでいるところ。
三周はウオールケーソン。

およびソイルパイルや横鉄板の溶接工法が行なわれているようである。

地下の構造体は深礎深層地下工法と同じ目的で，仮設柱にフロートされながら下部掘削と同時に構築する工法（新阪急ビルなど）と，斜補強材で上部地下構造体をすべて外周のオーガーパイルに負担させる工法（住友生命ビル増築）とがある。

掘削深さ，新阪急ビル地下5階 GL−22.00m，住友生命地下4階 GL−19.40m。

（3）パイルコラム工法

（東京ヂーゼル機器，NHK第2新館増築・大林組）

パイルコラム工法は，上部荷重をうける仮設柱の鋼管パイルを，柱真に地上より正確に挿入施工することによって，地下階本体の鉄骨柱に転用し，1階床を規準にして地下と地上の工事を同時に進めてゆく工法で，各地階のコンクリートを打つことによって土留支保構を省略することができる。したがって柱と杭は併用できる。

この工法の工程を，ヂーゼル機器の場合を参考に説明するとつぎのとおりである。（図−3）

① 硬質地盤まで穿孔し，掘削敷まで基礎台柱コンクリートを打つ。同時に地下外壁面に沿い土留壁を施工する。

② 鋼管を挿入しコンクリートを充填する。これが地階部分の柱となる。

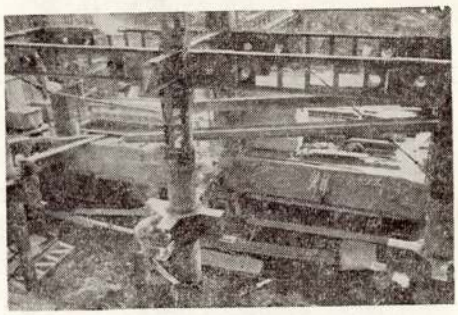
③ 1階梁下まで掘削，1階以上の鉄骨建て方を進める。

④ 1階コンクリート打設土留支保構となる。

⑤ 第2次掘削を行ない地下1階床コンクリート打設，上部もコンクリート工事を進める。

⑥ 第3次掘削を行ない基礎コンクリートを打設し地階部分の工事完了。

また土留壁としては，既設コンクリート杭と場所打ちコンクリート杭を交互に施工したコンクリート壁を採用し，地下の壁やスラブを打つときはそのまま地下壁になるように設計されている。既製コンクリート杭の挿入にはアースドリル機を，場所打ちコンクリート杭にはオーガーマシンを使用し，土留め壁の水密性をもたせるため杭と杭との間の土中にはベントナイトスラリーを注入してある。



写真−2 ③〜④の現場状況

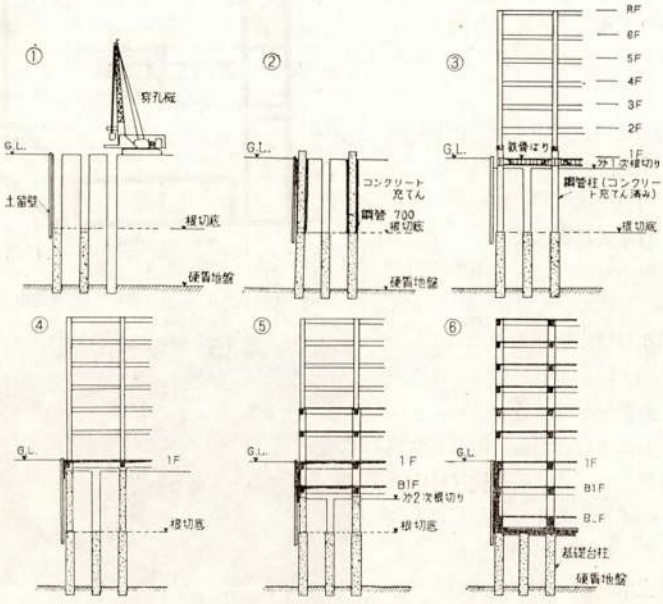
図−4はウォールケーソンとパイルコラム工法を併用した例（NHK第2新館増築）で，大巾な工期の短縮に成功している。

掘削深さ，ヂーゼル機器，地下2階 GL−11.85m。NHK第2新館増築，地下4階GL−21.70m。

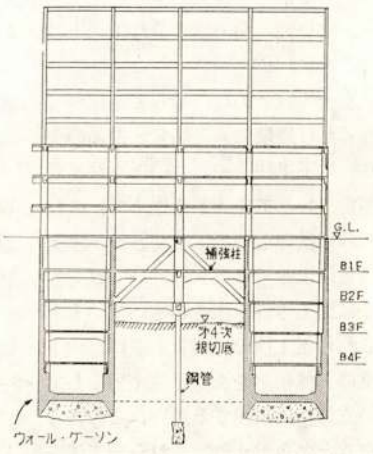
（4）鹿島式地下室構築工法（千代田ビル・鹿島建設）

この工法は前記のパイルコラム工法の鋼管にかわってH杭を柱真に正確に打ちこみ，これを支持杭として主体鉄筋コンクリートの梁を架構して骨組をかため，土留支保構としながら掘削を進めてゆく工法で，同時に地上階の鉄骨建て方をも進めてゆくことができる。

なお当現場附近は，GL−12mまでN値が2前後の軟弱な冲積シルト層で，土留としてはシートパイル3号



図−3 パイルコラム工法の工程（ヂーゼル機器の場合）



図−4 ウオールケーソンとパイルコラム工法の併用。

がGL−16m の東京層内（N>50）に打ち込まれている。

掘削深さ，地下３階 GL−14.45m である。

（５）構真鉄骨山留地下構築工法

（京橋ビルなど・大成建設）

工法の特色は，支保構材すべてに鋼材を使用し地下構造体のコンクリートに打ち込んでしまい，そのまま構造体の一部として応力を分担せしめるところにある。

切梁の支柱として柱真部に鋼管（ϕ−150）を正確に打ち込み，掘削が進むにしたがって主体梁の上端部位置に鉄骨の切梁および腹起をかけ構造体の一部と兼用する工法で，切梁には[型鋼２丁合せが使用されている。

この工法では掘削にしたがって２段，３段，４段と切梁を架設し，地下部分の掘削完了と同時に主体の配筋とコンクリート打ちを進めてゆく。

なお矢板以外の土留材はすべて土圧による応力をうけるので，主体構造の一部としたときの断面算定は現地における土圧測定にしたがって行なわれる。

（６）清水式柱礎工法とウォールケーソン工法

（富国生命大阪・清水建設）

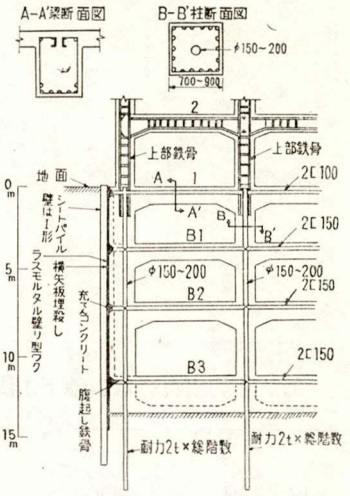
深礎工法が井枠を順次嵌め込んで掘削を進めてゆくのに対して，柱真に地下柱となる鋼管（ϕ−900程度）を圧入しながら内部の土を掘削し基礎盤に設置せしめ，基底拡大を行なってコンクリート柱をつくり一清水式柱礎工法と呼ばれる一これを支えにして周囲のウォールケーソン（ニューマチック使用）と一体の土留をつくり内部の掘削と上部の鉄骨建て方を同時に進めてゆく工法で，（１）のウォールケーソン深礎工法と目的は同じであるが，清水式柱礎工法を採用することにより深礎工法のような余堀りによる悪影響がない。

掘削深さは，地下５階 GL−23.70 mである。

（７）OWS 工法（イケマンビル・大林組）

以上のような地下工法から一歩進んで，切梁支保構のみならず地下掘削の土留壁も建物主体を利用した地下工法が大阪市内の現場で採用されている。

この工法は OWS 工法（OHBAYASHI WET SCREEN METHOD）と呼ばれ，敷地周囲につくられたトレンチにベントナイト溶液を充満させ，特殊な吸上式パーカッション掘削機またはバケット式掘削機により，巾 500〜700，長さ 2.500m〜3.000m のブロックで所要の深度まで掘削した後，あらかじめ組み上げた鉄筋を孔内へ挿入し，トレミー管を使用してコンクリートを打設する。このブロックを連続してゆくことにより剛性の強い土留壁体＝地下室外壁を構成する。掘削作業中のベントナイト溶液は掘削穴壁面の土砂に滲透して不透水性膜をつくる。

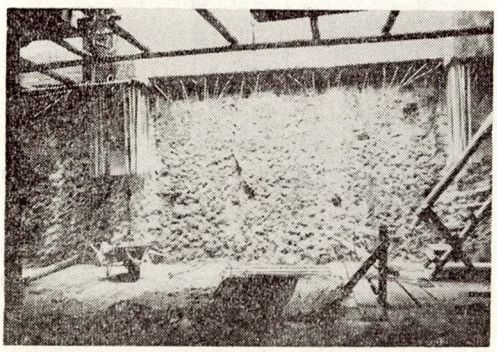


図−5 構真鉄骨土留工法の骨組（土と基礎の新工法より）

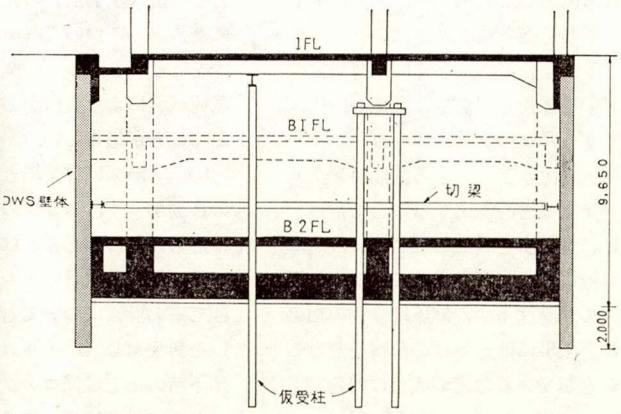
この現場では，切梁材はフロート工法を採用することにより上部１段のみ省略し，内部に１段切梁を架設した。これは地階部分が鉄筋コンクリート構造で，地下１階型枠支保の煩雑さを避けるためである。

OWS 工法は無音無振動で，地盤沈下などによる公害はぜんぜんなかった。

掘削深さ，地下２階 GL−9.65mである。



写真−3 OWS 工法による地下壁と1FL梁の合取せ部分。



図−6 OWS 壁体と土留支保構（切梁は地中梁完了後に撤去する）

3. 「切梁材のない地下工法」の特徴と施工上の問題点

以上に紹介した地下工法の特徴については，まえがきに主旨があげられているが，これを要約すればつぎのようになる。

① 地下階主体が土留支保構となるか，支保構が主体の一部となり仮設の切梁材が不用である。したがって地下の工事費が大きく節減される

土留自体の経済性については地下2階程度の深さではかならずしも地下工事費の節減にはならないようであるが，後述の工事の安全性，作業場としての1階床の使用，工期の短縮による経済性を加味すれば工事全体としての工事費節減は大きい。

② 地下階構築と同時に地上階の主体工事を進めることができるため工期を短縮することができる。

③ 切梁工法に較べ施工中の安全度が高い。

④ 1階床はコンクリート打設後作業床として利用でき，雨天の土工々事も可能となる。

また，新工法の多くは無音無振動工法を採用しており，敷地周囲にはウォールケーソン，オーガーパイル柱列，泥水工法による鉄筋コンクリート壁などを施工することで敷地一杯に地下室を構築している。同時に矢板引抜の工事を省くことにより周囲の地盤沈下や，地下埋設物の損傷など工事に伴う各種の公害を避けることができるなどの大きな特色をもっている。

しかしこれら工法にもいろいろ問題点があり，工法の選択・採用に当っては充分検討を加えておくことが必要である。問題となることがらをあげればつぎのようなものである。

① 土圧および水圧の採り方，土圧・水圧の応力に対する斜補強材の検討と撤去に伴う応力伝達機構，主体構造の一部とする切梁材内部応力の検討(構真鉄骨山留地下構築工法)地下階コンクリート打設と掘削進行速度の検討などに対してはたえず土圧・水圧および鉄骨材の応力度を測定して，そのデーターにもとづいて工事を進めてゆく。

② 逆打ちコンクリートによるコンクリートの打継部の処理と，コンクリート型枠のサポート方法。これらに対しては無収縮モルタルの利用，釣型枠の計画が考えられる。

③ 基礎台柱および支持杭の耐力と変形量（沈下量）の大きさ，とくに支持耐力については短期許容支持力をとることが多く，施工に先立ち載荷試験により支持耐力を確認しておくことが望ましい。

④ 1階床は作業場となり重機械の移動が多く，スラブの設計もそれに応じたものが必要となる。

⑤ 地下階鉄骨のエレクションと建て方の計画についても，特殊な仕口を考えたり（パイルコラム工法）地下階のみを鉄筋コンクリート構造として鉄骨を逃げる場合がある。

その他，基礎工法と地下工法の関係，排水工法にも問題はあるが，新地下工法の開発には地下工法技術以上に施工部門と設計部門の協調が大切である。

4.土留工事に土質安定工法を

2年ほど前本誌でアイデア特集の編集があったが，その施工部門のアンケートに，物理的・化学的な手段によって土の性状を変える土質安定工法の理想的な開発により，土を建設部門のよりよき材料として扱い，土留のない地下工法を期待する声が多くあった。

土質安定工法といっても，その分野は広く，土の締め固め，粒度改良から，セメントその他の安定剤の添加，注入による物理的，化学的安定処理電気化学的安定処理，凍結焼結による安定処理が含まれ，これらの研究には未解決の問題が山積みしている。

物理的，化学的安定処理および電気化学的安定処理の工法はすでに基礎工法としては実用化されているが，しこれらを土留工事にまでひろげて利用するには課題が多いようである また,凍結，焼結工法についても,実験段階ではあるが，すでに外国では実用段階—たとえばニューヨークの下水改良工事では径 12m，深さ 95m の堀削を凍結工法で施工している—にあり，わが国でも近い将来には採用されうる工法となろう。今後の土質安定処理工法の開発がまたれる。

大型鋼管を用いた高層建築の柱

神大助教授・工博
山田　稔

鋼管を構造エレメントとして使う場合，その圧縮耐力，捩り耐力の優秀さを活かして，立体トラスに組み，鉄塔とか大スパンの工場，倉庫などの上屋として使うのは鋼管構造のもっとも適切な方向であろう。

ところで，いま問題の高層建築の柱として使った場合，どうか。

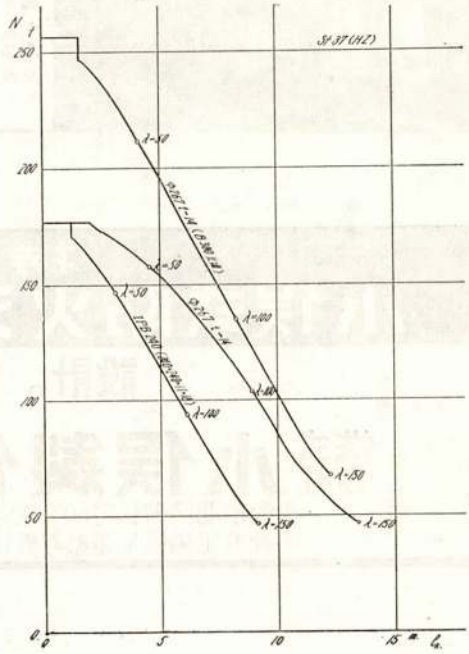
まづ，高層建築用柱材として，もっとも代表的なワイドフランジ型鋼と鋼管の中心圧縮性状をドイツ規格によって比較してみることとする。図は，同一断面積（111.0cm²）のワイドフランジ型鋼IPB240（240×240×11×18）と鋼管 ϕ267，t=14（外径267mm，肉厚14mm）の許容座屈耐力の比較である。（ただし，鋼管ではω値がドイツ規格にしたがい，λ<115に対して修正されている）さらに，この鋼管に4週強度約 300kg/cm²のコンクリートを充填したときの値をも，併せ示してある。

この図をみてわかるように，ほぼ同一サイズで同一鋼材量を使用した場合，短柱としての優秀性もさることながら，鋼管の長柱としての優秀さがはっきりとあらわれている。（これが立体トラス分野で活かされる特性の一つ）。つぎに，鋼管内部にコンクリートを充填したときは，逆に，短柱としての性能がきわだって向上することがわかる。

これらのことより，高層建築の柱として大型鋼管を使用することは充分に可能性があること，さらにそのような場合には——短柱として使用されることが多いと考えられるから——高強度コンクリートを充填して使用することが力学的にきわめて有利なことがわかる。

事実，ヨーロッパで，ここ数年，竣工した高層建築，たとえば，パリの Rue Croulebarbe ビル(24階；30m×20m；高さ61m)，デュッセルドルフの Phoenix-Rheinrohr ビル（30階；85m×7m，15m，23m；高さ95m），Mannesmann ビル（29階）等々，いづれも柱に鋼管を梁にワイドフランジ型鋼を使った例であるが，柱の鋼管にはコンクリートを充填しているのは，この辺の事柄を示すものであろう





問題は，鋼管柱と梁との接合方法にある。ヨーロッパでは鉛直荷重が支配的であるため，さほどの工夫はなされていないもようで，簡単に突付けて溶接したものが多く水平力には別に耐力トラスが組み込まれていることが多いが，わが国ではかなりの工夫を要しよう。

コンクリート充填によって鋼管柱の強度，剛性が高まることは，上述のとおりだが，その他，充填コンクリートのスチフナーとしての役割も見逃しえない特性の一つである。コンクリート充填によって局部変形が阻止され，材接合部の剛性を高める効果は大きい。

コンクリート充填管に，強震時に想定されるような大変形の塑性交番繰り返し曲げが数十回加わるような場合にも，このコンクリート充填効果はまったくかわらないことが，実験的にたしかめられている。したがって，わが国でも高層建築の材料として，大型鋼管を用うことは充分に可能性があろう。その際，とくにコンクリート充填によって，材の耐力，剛性のみならず，ねばり強さを増すことは望ましいことであろう。

阪急茶屋町ビルなど，わが国でも高層ビルの柱材として大型鋼管が使われはじめているが，その意義は大きい。



明るく…美しく…

NEC蛍光灯照明器具は、NECが構造を新たにして設計したものばかりです。

■各種の取付工事がきわめて容易なこと
■組立、分解が簡単で保守、点検に便利なこと
■美しく丈夫で、安全な構造であることなど、優れた工事用照明器具です。

部品に至る迄の高精度治具と金型を使う量産方式なので、品質が均一で、互換性があり、安価です。

NEC
蛍光灯
照明器具

NEC 新日本電気

特許 許可
小俣式防火シャッター全般
設計。製作。施工。
株式会社 小俣製作所大阪支店
大阪市北区若松町30　電話(341)9004.9016.4825
本社及工場　埼玉県与野市　東京事務所及工場　東京都北区

特許吹付タイル・内装・外装用化粧材
セラスキン
CERAMIC SKIN
建造物の外壁面に〃陶器の壁紙
セラクロス
CERAMIC CLOTH

山本窯業化工株式会社
大阪市東淀川区西淡路町3－176　TEL(371)4851～3
関東地区取扱店・小林窯業株式会社
東京都太田区新井宿2－1500TEL (771) 6347

エマルション壁塗料
日本ペイント
ビニレックス
5000級スーパー
外部用・内部用
ビニール壁塗料
ビニレックス5000
大阪・東京・千葉・名古屋
福岡・小倉・広島・神戸・
金沢・新潟・浜松・静岡・
藤沢・群馬・仙台・札幌

建築と社会アンケート結果報告

最近2年間の「建築と社会」の各号に対して，①よかった特集，②よかった記事，論文，作品，③興味あるシリーズもの，④希望する特集，論文，作品，の4項目のアンケートを2月号に挿入したが，その集計の結果を以下に報告して参考としたい。もちろん，41通の回答数だけなので，全体の傾向をあらわしていないけれど，一応の傾向はわかると思う。

集計してみて，気づいた点をメモしてみる。

1. 回答者の職場別では事務所，総合建設，官公庁の順に多い。年令は大体20代からしだいに少なくなっているのは当然のこと。職場所在はもちろん大阪がもっとも多いが，京都，東京からも若干あった。まあ現在の本会の会員分布とよく似ているようだ。

2. 「よかった」という特集は，比較的最近一年間のものに多い。これはやはり人間の記憶の新しさによるものか。とにかく10点以上○印のあった特集を，○印の多いもの順に並べると，「建築工費」「工場建築」「消防火」「都市計画」「構造」「建物管理」「建築教育」「日本近代建築運動史」「宅地開発」「公害」「阪神高速道路」。

3. よかった記事，論文については，結局，よかった特集に登載されているものが多い。なかでも，二名以上よかったとしたものは「工場建築計画における建築家の参画」（浦辺鎮太郎），「消火設備系統図」，「H型鋼を使用した構法」（伴潔・山田稔），「消防火法規についての問答」（恩田一則）である。

4. 興味あるシリーズものとしては，この正月号から始めた「技術の頁」が圧倒的に多かった。やはり，こうしたものが望まれるのであろう。職人シリーズも期待されているようだ。ただ，約40回も長い間つづいている「近代建築調査委員会報告」が案外少なかったのは，回答者の層によるものだろうか。「建築の眼」は面白くないという評判も聞くが，しかし案外読まれていることは，読み易いからだろうか。

5. 希望する特集については，施工と構造を結びつけたものが多いようだ。希望する特集，記事，作品については，いずれも委員会で検討したい。

6. なお，よかった特集，記事，論文について事務局なり委員が聞いているものに，このアンケートにでていないものも数例ある。それは，建築以外の人からの声も含めてであるが，たとえば，社会福祉施設，建築産業構造，レクリェーション，自動車と建築，土，アイディア，建築と規格，の特集などの各論文記事。

アンケート回答数41

職場別

請負9 官公庁7 事務所11 学校2 営繕3 材料3 設備1 記載なし5 計41

年令別

19才2 20代11 30代9 40代7 50代5 60代2 記載なし5 計41

職場所在

大阪17 堺1 吹田1 岸和田1 京都5 滋賀1 神戸2 名古屋1 富山1 横浜1 東京3 福岡1 徳島1 不詳5 計41

1 よかった特集○印数

昭和36年		○印数
アイデア	1月号	8
居留地建築	2 〃	6
長谷部鋭吉	3 〃	4
土	4 〃	7
インテリア	5 〃	5
自動車と建築	6 〃	5
第8回青年建築家	7 〃	6
建築と規格	8 〃	7
レクリエーション	9 〃	8
建築産業構造	10 〃	8
材料	11 〃	8
日本近代建築運動史	12 〃	11
昭和37年		
都市計画	1月号	13
建物管理	2 〃	12
名古屋	3 〃	6
構造	4 〃	13
水と設備	5 〃	8
建築工費	6 〃	18
第9回青年建築家	7 〃	7
阪神高速道路	8 〃	10
工場建築	9 〃	14
公害	10 〃	10
宅地開発	11 〃	10
社会福祉施設	12 〃	8
昭和38年		
建築教育	1月号	12
消防火	2 〃	14

2 よかった記事・作品

〔論文記事〕

- 工高の教科内容（乾亮三）
- 大学教育の問題点（鷲尾健三）
- 技術の頁「くい」について（近藤幸雄）
- 建築構造と火災保険料率（貴川善幸）
- 名古屋街造りの現状と将来（座談会）
- 建築工事費の分析と積算（益田重華）
- 消火設備系統図2
- 公害問題随感（川名吉エ門）
- 用地取得方式（泉資一郎ほか）
- 工場建築計画における建築家の参画（浦辺鎮太郎）3
- 工場工期の問題点（篠田駿二）
- 工場建築の構造（高橋慶夫）
- 建築運動とは（西山卯三）
- 近代デザイン運動（向井正也）
- 分離派建築会（滝沢真弓）
- H型鋼を使用した構法（伴潔・山田稔）2
- 新しい鋼管構造（鷲尾健三）
- 最近のP.C.（鈴木計夫）
- 消防火法規についての問答（恩田一則）2
- 建築工事における公害と防止（中出定夫・北山二十三）
- 日本の建設産業構造の諸問題（松井昭光）
- 新しい都市づくりの組織を（三村浩史ほか）
- 中小建設業のあり方（竹中靖一）
- 積算見積裏話（座談会）
- 構造屋の神経（馬場善雄）
- 阪神高速道路と業務の結びつき（竹中工務店ほか4社）
- 管理費の算定基準について（藤森春太郎）

・レクリエーション開発のマスタープラン（三村浩史）
・建築随想（竹腰健造）
・経営雑感（松下幸之助）
・構造随筆（寺沢一夫ほか）
・都市計画についてのイメージ（人物論）
・欧米飛び走る記（玉置豊次郎）
・欧米建築の覚書

〔作品〕
・天王寺民衆駅2
・新住友ビル2
・新阪急ビル
・関電ビル
・グリーンビル
・平和ビル

3 興味あるシリーズもの

建築の眼	13
技術の頁	25
近代建築調査委員会	4
職人シリーズ	9
会員の頁	5

4 希望する特集・論文

〔特集〕
・かくし技，特技
・新しい工法（軽量コンクリート，P.C.）
・新工法（特殊架構の解説）
・法　規
・住宅（設計施工関係）
・政府施策住宅
・学問と設計，現場を結ぶ問題点
・施工技術3
・設備関係2
・建設機械化
・建築経済
・正当な主張をもつた人達の作品集
・住宅，アパート
・店　舗
・構造，インテリヤ，世界の建築，城，青年などの特集
・京都あるいは日本建築の歩み
・工業立地調整法
・鉄と建築
・基礎関係の特集
・臨海工業地帯における建築
・実例設計図表付作品
・明日の建築，構造デザイン
・駐車場
・学校建築
・構造革新号
・昔の建築企画（江戸時代）
・都市計画（未来でなく現実的なもの）
・施工（工事現場の最初から終りまで）
・古建築
・オリンピック施設
・日本建築物

〔記事〕
・若い人，老人，著名ならざる人々の記事
・工事管理業務に関するもの
・コンペ問題
・JIS，JASSの問題点
・建築教育と建築界で何を望むか
・会員の移動転勤欄
・設計理念，メタフイジカルなもの
・吊屋根（坂先生）
・シエル（日置氏）
・鋼管（鷲尾氏）
・建築論，構造論，意匠論
・軽量型鋼，H型鋼の設計および将来性
・鉄筋コンクリート造（堀口捨吉氏）
・経験からみた将来建築の夢（竹腰健三氏）
・現場従業員の声
・建設業界のあり方

〔作品〕
・関東地方の作品
・住　宅
・公共施設
・公募は編集委員会で計る
・四天王寺五重塔，金堂
・構造的にすぐれた作品

編集後記

1961年9月号に「レクリエーションと建築」特集を送つたが，今回は，もう少しレクリエーションの社会的側面，制度とか，ソーシアルツーリズム，スポーツ，観光，レジヤーとかいつた面をとりだした。いきおい，執筆者については東京の方々，それも建築以外の方々にお願いすることになつたが，それぞれの立場から，われわれ建築関係者に示唆に富んだ玉稿をいただいたことを感謝します。

そのほか，とくに「レクリ時代の大阪」というテーマで，住宅公団大阪支所の若手グループに「大阪1999」を提案してもらつたことと，京大留学中のフインランドの建築家ペリアイネン氏にフインランドのレクリの状態について，特別に寄稿いただいたことは感謝にたえない。また，グラフイツク・ルポなるものを本号にはさんだがいかが。これによつて“レジヤーコンビナート”の追求を試みるつもりだつたが……。観光開発計画については，二，三の論文が都合でとりやめとなつた。

企画にご協力いただいた担当幹事は，三村浩史，大久保昌一，栗原嘉一郎の各編集委員である。

なお，前号の「緑と建築特集」の編集後記は紙面の余白がなかつたので書かなかつたが，担当幹事は，中村一（京大造園），佐藤泰（大阪市公園）の特別幹事，大久保委員，三村委員の各氏であつた。記して感謝を申しあげる。

次号は「社会教育の場と建築特集」の予定。発行日が毎号おくれていて申しわけないが，次号（5月号）より毎月8日に発行日を確保することにした。したがつて，会員の手元には，9日（地元），10日または11日（地方）に着く予定である。

Toriginol トルギノール 継目のない床材

合成樹脂塗料
トルギノール
トルギスキン

合成樹脂
塗床材
壁材内装
・外装用

torgiskin

トルギノールは合成樹脂の塗装式（コテ仕上）の床材で継目がなく衛生的で，圧力，磨耗に耐えて永もちのする理想的床材で保温防音にも富み踏む感じのよい適度の弾力をもつています。
★ 不変色　色調自在 ★　誌名記入カタログ御請求下さい

トルギスキンとは特殊合成樹脂を主体とした高分子粉状塗料であります。
特　徴　通気性があるため，施工下地に案外早く塗装ができ，剝離することがありません。その上乾燥も極めて早く，従つて工期の短縮ができます

製造元　大元工業株式会社
本社工場　大阪市東淀川区三津屋北通1の38TEL大阪(301)2734～5
営業所　東京 TEL(561)4678　名古屋 TEL(24)4491

会　　報（2月分）

通常総会

28日　4時20分——4時40分　於会館集会室
出席者　尾崎会長，竹中，塚本両副会長外6氏
議　事（1）監事1名選挙の件
（2）監事1名補選の件
（3）本部所属評議員54名選挙の件
（4）本部所属評議員1名補選の件

理事会

13日　4時——5時半　於会館会議室
出席者　塚本副会長外9理事，山内兵庫
古林中国各支部長
議　事（1）通常総会開催の件
（2）電気工事業組合地下室借室返還に関する件
（3）市大浅野教授渡欧に関する件
（4）常務理事任期満了に関する件
（5）その他
昭和38年度一級建築士試験委員推薦の件
（6）入退会者承認の件
（7）報告事項

運営審議会

13日　5時半——7時　於会館会議室
出席者　塚本委員長外9委員
議　事（1）会員原簿カードに関する件報告
（2）法規委員会に関する検討

住宅委員会

6日　4時——8時　於関電会館会議室
出席者　海上委員長外12委員
議　事（1）南海電鉄の住宅競技設計応募状況報告
（2）プレハブ住宅並に工場見学企画の件
（3）西ベルリンのハンサの住宅スライド観賞
（4）住宅問題に関する懇談

出版委員会

小委員会（基準法関係法規索引）
7日　3時——5時　於会館会議室
出席者　西島主査外3委員
刊行図書の販売促進方法について協議

編集委員会

8日　4時——7時　於会館会議室
出席者　石原委員外5委員
議　事（1）経過報告
（イ）3月「緑と建築特集」号
（ロ）4月「レクリェーション特集」号
（2）5月「社会教育の場と建築特集」号企画審議
（3）6月号の企画について
（4）次年度委員に関する件

事業委員会

11日　5時半——7時　於会館集会室
出席者　岩崎，岡本正副委員長外10委員
議　事（1）2月，3月の事業企画について
（2）各種説明会の企画について
（3）「若い会員の集い」の企画について
（4）創立記念日の行事について
（5）次年度の委員について

ブロックの防水塗料！
ビニール・セメント・ペイント
ブロックタイト
刷毛又はスプレ塗り　常備淡彩12色
安　価・速　乾・美　麗
水谷ペイント

小委員会（次年度委員推薦）

20日　正午――2時　於会館会議室

出席者　政岡幹事外4幹事

次年度の委員長候補者推薦並に委員の詮考について

近代建築調査委員会

19日　3時半――4時半　於会館会議室

出席者　滝沢委員長外6委員

議　事（1）5月号発表建物の件

（2）今後の調査建物リストについて説明

（3）報告事項

建材委員会

22日　3時――5時　於会館集会室

出席者　建材委員，岡本委員長外7委員

使用者　大林組高野氏

金物研究会　横田会長外11氏

サッシ協会支部　越本技術委員外3氏

建築金物の内扉釣り金物に関して検討

法規委員会

27日　3時――5時　於会館会議室

出席者　山本委員長外6委員

議　事（1）運営審議会における法規委員会に関する検討についての報告

（2）建築基準法改正構想案の説明

表彰候補者推薦委員会

5月の大阪府知事表彰についてその候補者推薦に関し2月22日付で書面審議

電気設備工事編集委員会

14日　正午――2時半　於会館会議室

出席者　羽馬委員長外6委員

議　事（1）委員長，幹事の選任

（2）章の構成および内容について

（3）出版までの工程について

若い会員の集い

スライドと話しの会「ヨーロッパ――街，広場，ひとびと」

18日　6時――8時　於会館集会室

神出津嶺雄氏（安井建築設計事務所）を招いてお話しを聞きスライド観賞の後懇談。出席者25名

欧州視察旅行団員懇談会

20日　3時半――5時　於会館会議室

出席者　申込者中野順次郎氏外7氏

日本交通公社　吉田氏

予定行程について協議の上一部修正。なお吉田氏より旅行準備などにつき注意の後質疑応答懇談

図書出版

「建築基準法および関係法規早見一覧表」

1.型　式　B5判　74頁

1.定　価　¥350　会員特価　¥300

1.出版部数　3,000部

見学会

「関西鉄鋼短期大学見学会」

設計監理　日建設計工務株式会社

施　工　校舎　清水建設株式会社

学生寮　株式会社鴻池組

16日　1時――5時

大阪府建築士会と共催。清水建設，鴻池組ご提供バスにより実施。参加者80名

日本建築協会・出版図書案内

■建築物用途別　建築基準法および関係法規早見一覧表

附　録　消防法施行令及び大阪市予防条例早見表

会員　特価300円　定価350円　送料70円

■日本民家集　ふるさとのすまい　本会創立45年記念出版

第16回毎日出版文化賞受賞

会員特価800円　定価960円　送料150円

■鉄骨鉄筋コンクリート構造設計実例集

構造計算書B5版500頁　会員特価3,500円

構造設計図B4版200円　定価4,500円　送料200円

屋根浪板
谷樋には **大島化学のひふくてっぱんを**

固定式通風器 連続式換気装置にも

耐酸スタンダードメタル

カラースタンダードメタル

PATENT Standard

大島応用化学工業株式会社

本 社 大阪市城東区野江東之町4の104 (931) 7071—3
支 店 新 居 浜・名 古 屋・四 日 市・広 島

田中式
スカイライト・ベンチレーター
スチールサッシュ・ドアー
スチールシャッター・オペレーター

TNK **田中工業株式会社大阪出張所**

大阪出張所 兵庫県尼崎市南竹谷町2～89

本社 東京第一工場 東京都墨田区錦糸町1～25
東京第二工場 東京都墨田区吾嬬町東4～122
小倉工場 福岡県小倉市赤坂上の宿37
川崎工場 神奈川県川崎市東渡田3～43
札幌出張所 北海道札幌市北大通東4丁目4
盛岡代理店 岩手県盛岡市木伏49・東北建設（株）
名古屋代理店 愛知県名古屋市西区西菊井町2～12・岡田建材KK
米子代理店 鳥取県米子市祇園町2～93・吉田工務店

TEL 大阪 (401) 6341 (代表)・(401) 6342
TEL 東京 (623) 代表0106～0108・(622) 0790
TEL 東京 (611) 2118～9
TEL 小倉 (52) 2833・2834
TEL 川崎 (2) 7594～5
TEL 札幌 (3) 6762・0515
TEL 盛岡 7642
TEL 名古屋 (53) 0121・2057
TEL 米子 (2) 4683

信用ある技術と伝統の

アスファルト工事

専業大店

株式会社 久保商店

大阪市北区真砂町5番地 電話大阪 (341) 207～8・4836～7

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工
高砂熱学工業株式会社大阪支店
大阪市北区梅田8番地（新阪急ビル8階）
電話大阪（312）4521（代表）
本社 東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

空気調和装置、各種冷凍機
設計・製作・施工
東洋キヤリア工業株式会社
大阪支店
大阪市北区堂島船大工町五三番地（毎日大阪会館内）
電話大阪㊵局8356（代表）
本社 東京都中央区日本橋兜町三丁目二四番地
支店 東京・名古屋 出張所 九州
工場 東京都足立区下沼田町360番地

給排水・衛生
暖冷房・換気 設計施工
株式会社 **大阪城口研究所**
代表取締役 城口庸平
大阪市北区高垣町一・電話大阪371局7575(代表)
京都市東山区大和大路正面上ル電話京都56局4945(代表)
神戸市生田区下山手通六ノ一・電話神戸4局5892

電気・暖冷房・水道・衛生設備
設計施工
株式会社 **大阪電気商会**
会社 **大阪暖房商会**
取締役社長 菅谷三郎
本店 大阪市西区江戸堀一丁目60番地
電話大阪㊶大代表8231番
支店 東京・名古屋・福岡
出張所 京都・神戸・岡山・高松・広島・熊本
札幌・仙台・新潟・富山・金沢・福井

水道・衛生・暖冷房・其他管工事
設計並施工
特許YM式ルーフドレイン製造販売
（旧斎藤久孝事務所）
斎久工業株式会社大阪支店
大阪市北区常安町11番地
電話大阪㊶4145㊽2687・2887番
本店 東京都千代田区丸ノ内2ノ8仲12号館5号
電話(281)局6505～8番
金沢営業所 金沢市高岡町三五 電話金沢②2074
福井出張所 福井市城之橋下町一〇 電話福井②2436
高松出張所 高松市二番丁九 電話高松②5195
岡山出張所 岡山市大供松ノ木三八〇ノ一 電話岡山③7047

創業 大正二年
暖冷房・換気・空気調和
病院諸機械・給排水・衛生
株式会社 **斎藤省三商店**
東京店 東京駅前丸ビル6階676区
電話東京(201)3761・3762・3763・3764
大阪店 大阪市西区土佐堀通 大同ビル714号
電話大阪㊶1568・1569・2594
札幌店 札幌市北四条西16丁目1番地 高田屋ビル二階
電話札幌②0010・0956・③4661
名古屋店 名古屋市中区南大津通一丁目千代田ビル522号
電話中局㉔1766

建築設備・金属製建具
荷役運搬機械・環境衛生施設
化学・鉱山機械
三機工業大阪支店
取締役社長 山田熊男
取締役支店長 樋口勝栄
大阪市東区北浜2—22(三井信託ビル) 電話大阪(202)代表3071
本店 東京都千代田区有楽町1丁目10番地
支店・出張所 名古屋・福岡・札幌・広島・仙台・富山・金沢・静岡・高松
工場 相模・鶴見・六郷・中山・高槻

須賀工業株式会社
空気調和衛生設備
設計施工
大阪市西区土佐堀通1丁目14 電話441—5171
支店——東京・名古屋・京都・神戸・福岡

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備
株式会社 **西原衛生工業所大阪店**
大阪市大淀区中津南通4丁目44 電話大阪㊽3531番

空気調和装置・塗装設備
設計施工
株式会社 **建材社**
大阪支店
大阪市北区中ノ島二丁目（新朝日ビル5階）
電話大阪㉑6041・㉗7046(代)
本社及東京支店 東京都中央区八重洲三丁目七
営業所 名古屋市中区菅原町2丁目（センタービル）
連絡所 広島市基町一（朝日ビル）

冷暖房・温湿度調整・水　道
衛　　生・環境衛生施設
設　計　施　工

山田工業株式会社

本　社　大阪市西区京町堀1丁目62　電話(441)代表2613・代表9431
出張所　東京都北区上十条1丁目10　電　話　(911)　3941
　　名古屋市中村区牧野町1の6　電　話　(54)　0966
　　神戸市生田区北長狭通7丁目1の1　電話(4)1778・4386
　　広島市中町2番地の4　電　話　(2)7575・7588

暖房・冷房・水道・衛生設備
設　計　施　工

株式会社　三　晃　商　会

本　社　大阪市北区富田町16　代表(341)7031
支　店　東京都千代田区小川町2丁目1　桧ビル　(201)7751-3
　　福岡市養巴町22　(74)1158
出張所　名古屋市中区新栄町2丁目1　(97)1820
　　福井市宝永上町105　(2)1596
　　松江市東本町4丁目147　5098
　　広島市紙屋町8　(2)4537

暖冷房・水道衛生工事
設　計　施　工

株式会社　栄　興　商　会

取締役社長　中　山　敏　正

本　店　大阪市福島区上福島北二丁目一番地
　　電　話　大　阪　㊺　3391～5番
支　店　東京都新宿区荒木町一九番地
　　電　話　(351)　2177～8番
神戸出張所　神戸市生田区下山手通八丁目三三　電話元町④3035番
仙台出張所　仙台市東四番丁四五　電話②5136番

暖房・冷房・水道・衛生
温湿度調整装置
設　計　施　工

株式会社　朝日工業社

大阪市北区中之島4—39　電㊶6671～5
東京支社　東京都港区芝浜松町2—7　電(431)7341～5
支　店　北海道・仙台・名古屋・広島・福岡

温湿度調整装置、暖　房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工

第一工業株式会社大阪支店

大阪市北区富田町30　電話大阪㊶　(代表)0977 / 0978～9・0970
本　　社　東京都千代田区丸ノ内2—10
　　電　　話　(281)2631—5
仙台支店　仙台市新伝馬町60
　　電　　話　7332
名古屋出張所　名古屋市東区東門前町3—6
　　電　　話　⑨　2893

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工

日本管工業株式会社

代表取締役　市　川　繁　雄

本　　社　京都市中京区両替町通リ姉小路上ル
　　電話㉒(代表)7975・(夜間専用)5532
大阪営業所　大阪市北区天満橋筋1-37(天満橋北詰)
　　電話㊽8829
四日市営業所　四日市市浜田西末広町　電話7503・3665
津営業所　津市栄町2—111　電話3610

暖冷房・空気調和・環境衛生工事一切
設　計　施　工

日本熱学工業株式会社

社　長　牛　田　正　郎

本　　社　大阪市北区万才町50　北大阪ビル
　　電話大阪㉚8671
大阪事業本部　大阪市北区万才町50　北大阪ビル
　　電話大阪㉚8671
東京事業本部　東京都新宿区四ツ谷三条町18　日熱ビル
　　電話㉑4924～7
名古屋支店　名古屋市中区城代町7
　　電話㉓4690・3520
営業所・出張所　下関・金沢・藤沢・新潟・八幡・京都

暖房・冷房・温湿度調整・衛生設備
設　計　施　工

大嘉熱工業株式会社

取締役社長　嘉　幡　政　四　郎

大　阪　大阪市北区万才町四三　浪速ビル六階
　　電話大阪㊱直通2085・5725
　　(代)9851～9・9951～9
東　京　東京都千代田区西神田町一ノ八
　　電話東京(291)8002～3
出張所　愛媛県川之江市・九州福岡市

冷房・暖房・温湿度調整装置
換気・給排水・衛生設備
設　計　施　工

第一企業株式会社大阪支店

大阪市北区天満橋筋4—71
電話㊺2808・2809・2800・2134
本　社　東京都文京区元町2丁目17番地
電話(811)(代表)6294
支店出張所　名古屋・福岡・札幌・仙台・高松・広島

温湿度調整装置・冷暖房・換気装置
ファン・ヒーター・クーラー
スチール・アルミ・サッシ・ドア・シャッター
設計・製作・施工

理研鋼機株式会社

大阪営業所　大阪市北区宗是町1(大ビル)
　　電　大阪代㊶8621番
本社・工場　東京都北区神谷3の10の3
　　電　東京代(901)3191番
本社・分室　東京都港区芝佐久間町1の46(大同ビル)
　　電　東京代(501)3156番
営業所　名古屋・仙台　連絡所　福岡

電気工事設計施工

工藤電気株式会社

大阪市北区野崎町六九
電話・大阪㊱2891—5番
東京支店 東京都中央区西八丁堀二丁目十二
電話(551)8330・8303
営業所 名古屋・神戸・岡山・広島・福岡

各種電気工事設計施工

浅海電気株式会社

取締役社長 浅海正雄

本社 大阪市北区老松町2丁目22
電話 大阪(362)8701
東京支社 東京都港区赤坂溜池町1
電話(481)8621～4・3573
営業所 名古屋・札幌・旭川・福岡

電気工事設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長 栗原信英

大阪市北区永楽町8番地（日産生命館）
電話 大阪㊱代表 1234～9
支・社 東京・名古屋
出張所 舞鶴・広島・八幡・福岡・富山

電気工事全般設計施工

中央電気工業株式会社

取締役社長 今村騰

本社 大阪市北区梅ケ枝町二五番地
電話 大阪代表㊱8131～7
東京支店 東京都港区芝金杉町二丁目十三番地
営業所 名古屋・神戸・新宮・御坊・松山・草津

電動機自動操作用配電盤・分電盤・受電盤
自動遠方操作盤・電動機単逆相運転防止装置
温湿度自動装置監視盤・遠方監視自動装置
各種フロントスイッチ・スペースヒーター及び
ウォータヒーター・其の他特殊電気機器設計製作

森井電業株式会社

東京本社 東京都港区芝三田綱町一番地
電話 東京(451)9611～5番
工場 東京都港区麻布新広尾町一丁目一三四番地
電話 東京(451)0535番
大阪支店 大阪市北区常安町十六番地
電話大阪(441)9516～8番夜間専用(441)502番
名古屋出張所 名古屋市中村区長戸井町三丁目四十一番地
電話 笹島(54)6865・9495番
福岡出張所 福岡市東職人町二七番地
電話(4)7813番(5)3516番
広島出張所 広島市三川町二六番地電話(4)2449番

各種電気工事設計施工

株式会社 **ヤマト電気商会**

取締役社長 山本龍太郎

本社 大阪市北区西堀川町15番地
電話大阪(341)代3056
東京営業所 東京都中央区銀座東8丁目4番地
全国燃料会館607号室 電話東京(541)7464
出張所 大阪南・北海道・名古屋・四日市・福山・福岡

電気・暖冷房・空調工事設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長 嘉納伝三

本社 大阪市北区絹笠町五〇（堂ビル三階）
電話(312)1471(代)
支店 東京都中央区西八丁堀四丁目十（後関ビル三階）
電話(551)5590～2
営業所 名古屋市北区城見通二丁目二〇番地
電話(98)2367～7
〃 小松市符津町才四四ノ三
電話(栗津)237
〃 堺市三宝町七丁目三六九

電気工事
設計・施工

朝陽電気株式会社

取締役社長 山本博三

本社 大阪市北区中之島三丁目三 朝日ビル6階
電話大阪局㉙9531(大代表)
営業所 大阪市西区土佐堀通り四丁目八番地
電話大阪局㊱5201番(代表)～3
出張所 京都市右京区西院今田町六番地
電話 京都局㉞3481番

電気工事設計施工

江東電気株式会社

取締役社長 猪飼幸次郎

本社 大阪市生野区勝山通9丁目72
電話(716)4035(代)～8
支社 東京都新宿区淀橋533
電話 東京(371)6203
出張所 金沢・名古屋・高知・広島

電気工事・設計・施工

中本電気株式会社

取締役社長 中本正明

本社 大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話大阪(931)代表7341～5
機器工場 大阪市城東区野江西之町三丁目一一三
資材倉庫 電話(931)2193

電気工事設計施工
並架線金具製作販売
（日本工業規格表示工場）
八千代電設工業株式会社
取締役社長 梶本秀尾
大阪市東区森之宮東之町
電話大阪 ㊵ 6531（代）～5
支店 名古屋
出張所 東京・岡山・門司

電気工事設計施工
株式会社 三興社
取締役社長 坪井大
本社 大阪市北区絹笠町50（堂ビル7階）
電話 ㊱ 2138（代）～9
支店 東京都中央区日本橋箱崎町3丁目2番地
電話・㊲ 1478（代）～9
出張所 堺・下関

電気設備工事設計施工
東光電気工事株式会社
大阪支社
支社長 姉川正男
大阪市東区高麗橋五丁目二八番地
電話 大阪（202）0325～9番

エレベータ・コンベヤー・リフト
エスカレータ・ホイスト・クレーン
N・T・E型オートパーキングステーション
設計 製作
日本エレベーター工業株式會社
本社 大阪市大淀区天神橋筋6（天六阪急ビル）
電話（351）4927代表7071交換
東京営業所 東京都台東区長者町2－7（豊富ビル）
電話（831）7949直通（866）5276交換
東淀川工場 大阪市東淀川区小松中通5－6－2
電話（381）0363・4588

佛
社寺数寄屋用瓦…大佛瓦
耐風雨緩勾配用瓦…大和瓦
美術建築内外装用タイル…大佛タイル
大佛組
本店 京都市東山区今熊野池田町（6）3555
大阪営業所 大阪市東区内淡路町1～13（941）0975
名古屋営業所 名古屋市瑞穂区堀田通1丁目（88）2703



陶管・練瓦・ヒューム管
ベンチレーター・マンホール
株式会社
三幸商會
大阪市北区曽根崎上一ノ四一
電話 大阪 ㊵ 3145

PAINTING CONTRACTOR
塗装工事請負
株式会社 **林塗装店**
TEL. 大阪 ㉕ 1756—7・東京 ㉘ 1335

青写真とマイクロフイルム
株式会社 内外写真
製図・トレース・複写写真
大阪市北区堂島北町16 TEL ㊱ 9055（代表）

特許植物性 型枠離剥塗料
サンヒット
メタルフォーム用特号
関西代理店 株式会社 **金剛商会**
大阪市西淀川区野里町1231 阪神国道 野里電停前
製造元 東京サンヒット商会 電 大阪㊼0417・4091

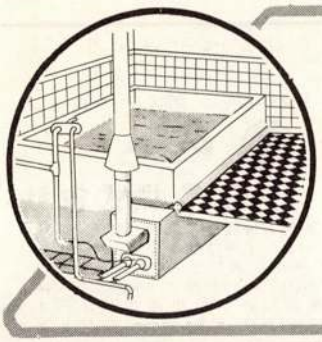
奉仕感謝の店
タイル 衛生陶器
㊿ 株式会社 **川岸窯業商店**
大阪市西区靱南通2丁目21 市電靱南通り電停前
電話大阪・ ㊵ 2435・2788・8597番

鈴木式防火シヤタア

株式会社 **鈴木シヤタア商会**

大阪市北区茶屋町33　電話㉑0098・5837・8729・6810・5885

北陸営業所　金沢市三構町7～17　電話③1086



田中のガス風呂

ミリオンポリバス浴槽

各種銅鉄風呂釜一式
箱風呂・ボイラー・
ガス風呂・温水鑵

大阪ガス会社指定

田中風呂鑵作所

大阪市浪速区元町1丁目742　但シ賑橋電停前　(641)5313・8128

シヤッター

重量シヤッター
電動シヤッター
軽量シヤッター

レディメイド サッシ

アルミサッシ
スチールサッシ
ドアー

HEIWA KOGYO

平和工業株式会社

大阪市浪速区西関谷町1－72
ナンバスケート場前

施工迅速
親切丁寧
在庫豊富
信用を誇る
(乞御照会)

TEL (632) 5771～3
(641) 5750. 8836

耐酸ツボ各種
天窓瓦福林産地直売

建築陶器の百貨店



株式会社 **吉田芳雄商店**

大阪市北区南森町交叉点
電話 大阪(341)2403・3904

鉄骨・加工
設計・施工

新鋼建設工業株式会社

取締役社長 吉田信武
本社 大阪市西区立売堀北通1—76
電話 (531) 0609・6575・7418
(541) 8166・8349
夜間専用 (531) 2053
工場 大阪府大東市三箇425

リグノイド床・床材料

製造・販売・施工

福屋工業株式会社

本店 大阪市西区南堀江上通一丁目三一
電話 大阪㊱3426～7

工業用及建築用各種石灰製造販売
セメント
小野田 レミコン 特約販売店
ブロック
セントラル硝子特約販売店

樫野石灰工業株式会社
大阪支店

大阪市北区曽根崎新地三丁目十四番地
(桜橋電停曽根崎新地西入) 電話大阪㊱1274～6
支店・東京・神戸・姫路・徳島・高松

広告目次 (50音順)

建築と社会 昭和38年 Vol. 44 No. 4

ア アサヒカラコンkk ……17
アルケン工業kk ……10
浅海電気kk …… 4
kk朝日工業社 …… 3
伊奈製陶kk ……中挟
井田商事kk ……17
泉石綿工業kk ……16
岩元工業kk ……14
岩住鉄工所 ……20
ＡＢＣ商会 ……中挟
kk栄興商会 …… 3
オリエンタルメタル製造kk……中挟
大阪機工kk …… 8
大阪建材工業kk ……20
kk大阪城口研究所 …… 2
大阪石綿スレート同業会 ……12
kk大阪電気暖房商会 …… 2
大阪耐酸工業所 ……15
大島応用化工業kk …… 1
小俣製作所 ……本文
kk奥村重兵衛商店 ……本文
奥山化工業kk ……19
織本建築事務所 ……17
カ 笠松工業kk ……前付
樫野石灰工業kk …… 6
kk川岸窯業 …… 5
川口ゴム工業kk ……前付
関西暖房工業kk ……16
関西三星タイル会 …… 表4
関西スレートkk ……本文
関西ペイント ……前付
工藤電気kk …… 4
kk久保商店 …… 1
クマガイ工業kk ……前付
栗原工業kk …… 4
黒川金物kk ……16
kk建材社 …… 2
小西儀助商店 ……前付
江東電気kk …… 4
合同特許建材工業kk ……17
kk金剛商会 …… 5
サ 斎久工業kk …… 2
kk斎藤省三商店 …… 2
三栄建材工業kk ……18
三機工業kk …… 2
kk三幸商会 …… 5
kk三晃商会 …… 3
kk三興社 …… 5
三宝電機kk …… 4
敷島金物kk ……前付
新鋼建設工業kk …… 6
kk新興建材工業所 ……19
須賀工業kk …… 2
鈴木シヤタア商会 …… 6
住友金属工業kk ……前付
タ 田島応用化工kk …… 表2
田中工業kk …… 1
kk田中風呂製作所 …… 6
田辺工業kk ……本文
谷山製作所 ……本文
耐酸化学工業kk ……15
第一企業kk …… 3
第一工業kk …… 3
大嘉熱工業kk …… 3
大光電機kk ……15
大元工業kk ……本文
大日本硝子工業kk ……14
大仏組 …… 5
高砂熱学工業kk …… 2
kk武智工務所 ……本文
中央電気工業kk …… 4
朝陽電気kk …… 4
東光電気工事kk …… 5
東邦商会 ……13
東京カーテンオール工業kk …16
東洋キヤリア工業kk …… 2
東洋シャッター ……前付
東洋陶器kk ……前付
東洋リノリュームkk ……前付
ナ ナニワ瓦kk ……17
内外工業kk ……19
内外建材kk ……14
内外写真 …… 5
内外建材kk ……15
中本電気kk …… 4
浪速合板 ……13
浪速建材工業kk ……18
日東紡 ……前付
日本アスファルト防水工業会関西事務所 ……前付
日本アスベスト ……11
日本エレベータ工業kk …… 5
日本管工業kk …… 3
kk日本金具製作所 ……前付
日本建鉄 …… 表3
日本サッシ協会関西支部 …中挟
kk日本シヤッター製作所 … 表3
日本ドライブイット ……12
日本スピンドル製造kk ……前付
日本セメント防水剤製造所…表3
日本ドアーチエック製造kk……中挟
日本熱学工業kk …… 3
日本ペイント ……本文
日瀝化学工業kk ……前付
西日本アスファルト事業協同組合…… 9
kk西原衛生工業所 …… 2
ハ kk林塗装店 …… 5
日立製作所 …… 表4
kk平川鉄工所 ……前付
平田タイル ……13
富国交易 ……前付
フタバ黒板 ……13
福屋工業kk …… 6
平和工業kk …… 6
マ 満点製作所 ……10
kk三高製作所 ……11
三菱商事kk ……前付
三菱レイヨン ……前付
美素工業所 ……本文
水谷ペイントkk ……本文
kk室谷商店 ……13
森井電業kk …… 4
森延窯業kk ……18
ヤ 八千代電設工業kk …… 5
八幡製鉄 ……前付
kkヤマト電気商会 …… 4
山田工業kk …… 3
山本窯業kk ……本文
山本建材社 ……前付
kk油脂化工社 …… 表3
kk吉田芳雄商店 …… 6
吉野石膏kk …… 8
kk寄木商会 ……14
ラ 理研鋼機kk …… 3


神戸市庁舎　アルミルーバー施工

日軽建築賞受賞

“特種プレスフォームアルミルーバー”

納入先　神戸市庁舎

設計　日建設計工務ＫＫ

施工　（株）竹中工務店

●

製作品種　アルミ・サッシ
スチール・サッシ
ルーバー
ド　ア
カーテンウオール
其他特種設計、製作一式

OKK

大阪機工株式會社

大　阪　大阪市大淀区豊崎西通1の4　電話大阪(371)664・665
工　場　兵庫県伊丹市北村猪名川製造所　電話伊丹(大代) 5121

TIGER BRAND

■待望の世界の建材

ニュータイガーボード

■新時代の壁材

ＹＮプラスター

■60年の歴史・最大の生産

吉野の耐火ボード

燃えない建築資材！

■準不燃材・難燃材

■特性

長手の方向を表面の厚紙でヘリ折り被覆した強靱で美麗な新しい耐火ボード

カタログ進呈

石膏ラスボードを下地にすれば和洋壁が３－７日で出来る

石膏ラスボード
タイガートーン
アートボード
秋田杉耐火ボード

吉野石膏株式会社大阪支店

大阪市西区土佐堀１の１大同ビル
電話　441　８９１２　４
本　社　東京都千代田区丸ノ内２の６
営業所　東京・名古屋・福岡・仙台・札幌・広島
工　場　東京・福岡・四日市
菱化吉野石膏　秋田・高砂

何よりも安心できる　**年限仕様**

Ⓐ アスタイト防水

地区	組合員名	住所	電話
近畿（順不同）	(株) 久保商店	大阪市北区真砂町5	大阪(341)0207～8・4836～7
	(株) 木下謹三商店	大阪市西区江戸堀南通5ノ35	大阪 (441)5408・5486
	(株) 井上浄夫商店	大阪市西区江戸堀下通1ノ7	大阪 (441)8531～5
	(株) 大和商会	大阪市南区高津町4番丁73	大阪 (631)6221～4
	(株) 石田建材店	大阪市東淀川区元今里北通り1ノ31	大阪 (301)3340・3505
	内外工業株式会社	大阪市阿倍野区旭町1ノ51	大阪 (631)3434～6
	旭化建工業株式会社	大阪市北区茶屋町38	大阪 (371)6555～7
	日本瀝青工業(株)大阪支店	大阪市北区富田町40	大阪 (341)1804
	石井建材有限会社	神戸市兵庫区荒田町1丁目	神戸 ⑤2140・2697
	(株) 中出商会	神戸市兵庫区上沢通6ノ9	神戸 ⑤4630
	タテバヤシ商店	京都市下京区四条大宮南入学校前	京都 ㊶0871～2
	田島応用化工(株)大阪出張所	大阪市西区京町堀1ノ74	大阪 (441)5951代表
東海	岡田建材株式会社	名古屋市西区桜木町3ノ8	名古屋㊲7461～3
	(株) 名建商会	名古屋市中区宮出町41ノ2	名古屋㉔1329・2817・2106
	高橋建材店	名古屋市中区材木町1ノ12	名古屋㉓3295
北陸	北川瀝青工業株式会社	金沢市西側町8	金沢②4552～3
	北川瀝青工業(株)富山出張所	富山市奥田新町23	富山②2218 ③1014
	北川瀝青工業(株)福井出張所	福井市大和中町70	福井②4532
	(株) 小島工務店	高岡市大坪旭町2丁目32ノ1	高岡③2463
	(株) 小島工務店富山営業所	富山市神通町3区1003	富山②8221
中国・四国	青盛建材株式会社	広島市鉄砲町108	中 ②2281～4
	青盛建材(株)岡山営業所	岡山市東田町3	岡山②7911・8169
	(有) 小野甚商店	岡山市内山下30ノ10	岡山②4272
	(株) 浜原豊商店	尾道市吉和町新浜	尾道 2760
	(株) 浜原豊商店防府支店	防府市大林寺	防府②3611～2
	古市断熱工業株式会社	高松市宮脇町960	高松③5034
	正和商事株式会社	松山市1番町21	松山②8161～5
九州	青盛建材(株)福岡営業所	福岡市万行寺前町14	東 ③1225～6
	高稲工業株式会社	長崎市大橋町138	長崎④1726
	高稲工業(株)小倉営業所	小倉市西本町2	小倉㊺6177

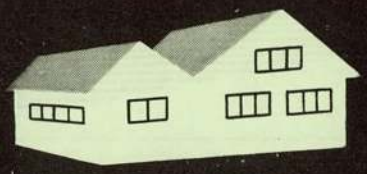
建設省阪建22号認可　　出資金600万円

三星　**西日本アスファルト事業協同組合**

大阪　大阪市西区京町堀1－7－4　TEL ㊶代表5951
東京　東京都千代田区神田岩本町13（田島応用内）　TEL (866) 代表6101
東海　名古屋市西区桜木町3－8　TEL ㉗2732
博多　福岡市万行寺前町14　TEL ②2807
岡山　岡山市西古松299－5　TEL ④2692

住友の アルミサッシ・ドア

押出し型材使用



アルミサッシ使用率 米国 70% 西独 26% 日本 6.5%

雨の多い日本には……
雨仕舞の良い気密な窓を
錆びない・軽るい・精度が高い

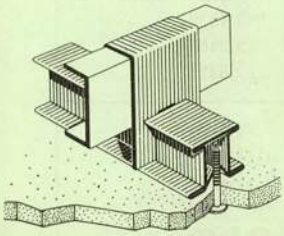


製造 取付

アルケン工業株式会社

大阪市西区新町通4－39 電話（541）0865 2905

マンテンの SK式軽量鉄骨天井下地



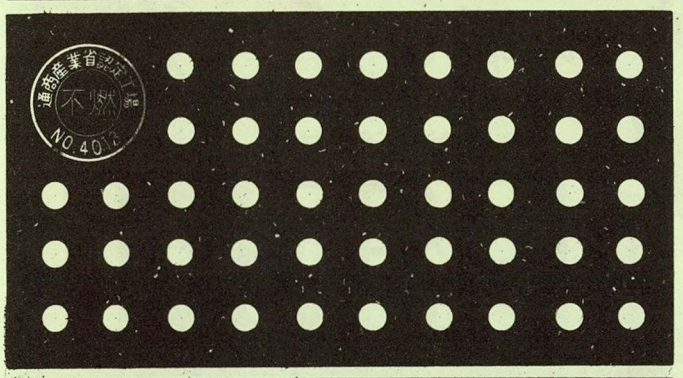
燃えない
狂わない
取りつけ易い

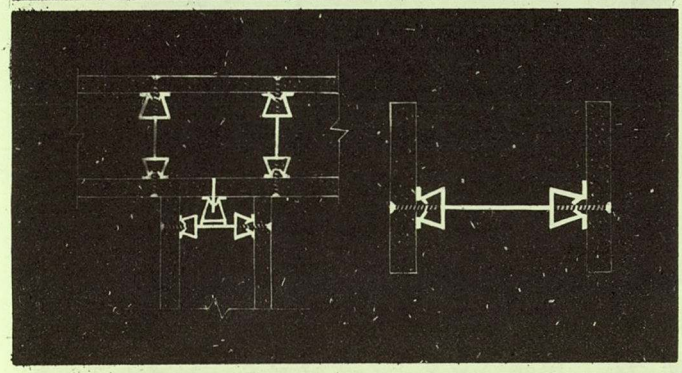


MANTEN

発売元 住友商事株式会社
製造元 株式会社 満点製作所
大阪市南区日本橋筋3丁目2番地 電話 大阪（641）1156～8

東京出張所 東京都江東区亀戸町2丁目114（新協和ビル内）電話東京（681）8425





（法定不燃材・軽量石綿耐火板）

アスベストラックス

ファイヤボードは今般英国
ケーブアスベスト社との技
術提携によりアスベストラ
ックスと改称致しました。
完全耐火性・軽量・吸音・断熱性・
永久不変性・木材と同様の加工性

トムレックス

（吹付石綿・責任施工）
吸音・断熱・結露防止
耐火・耐振動・腐食防止

N.A.K.

日本アスベスト株式会社

本　　社　東京都中央区銀座西６の３　電(572)0321・0331(代)
大阪支店　大阪市南区塩町通４の２５　電船場(251)５４９１～８
名古屋支店　名古屋市中区下前津町 117　電　南(32)６５９１～５
九州支店　福岡市薬院大通り２の８１　電福岡(74)1747・2827
札幌出張所　札幌市北四条西２丁目　電　(２)6472(３)0520

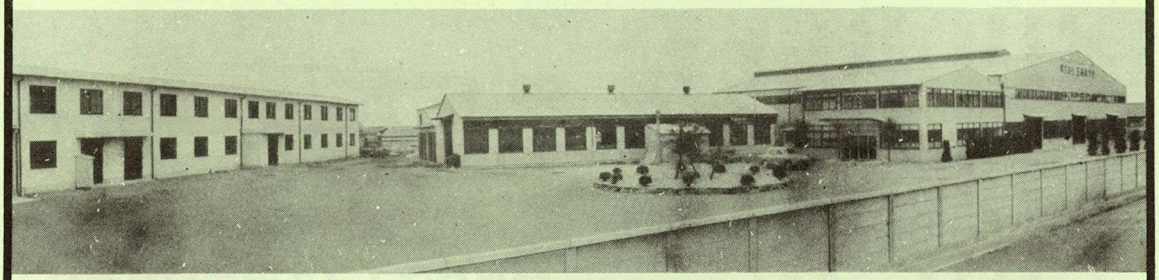
オートメーションでボンデー並びに完全焼付塗装に依る

錆びない＝**三高式**

スチールサッシ・ドアー・シヤッター

オペレーター・ドアーハンガー

アルミサッシ・ドアー

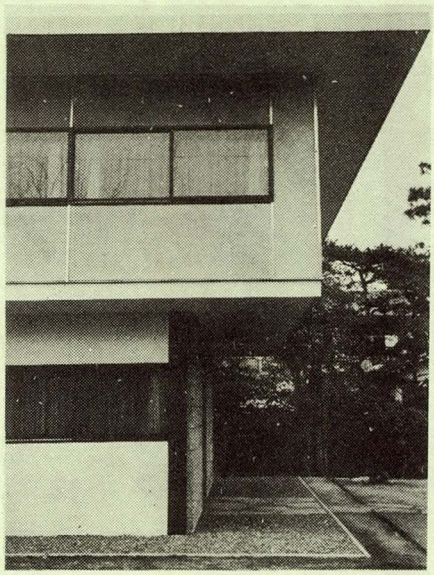


TRADE MARK
M.T.K.S

株式会社 三高製作所

本社工場　尼ケ崎市神崎五反田280　電話 大阪(401)6158・6159

燃えない家で明るい暮し！



通商産業省認定工場 不燃 No.

建築基準法定不燃材料

石綿スレート

フレシキブル板
平　板・軟質板
パーライト板
孔　あ　き　板
サンドイッチパネル
小波板・大波板
（着色・化粧板他各種加工品あり）

美しいカタログお送りします

石綿セメントボード協会
波形石綿スレート協会

東京都中央区銀座7—3朝日石綿ビル
電話（571）1359・6914

DON'T DRILL IT DRIVE-IT JAPAN DRIVE-IT CO.

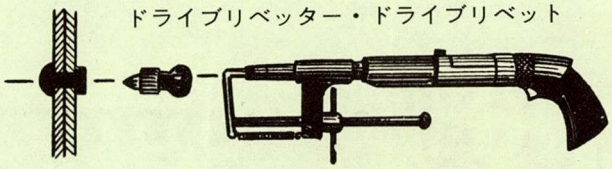
建設用鋲打銃ドライブイットが軽量鉄骨業界に贈る新工法！

ドライブリベット工法

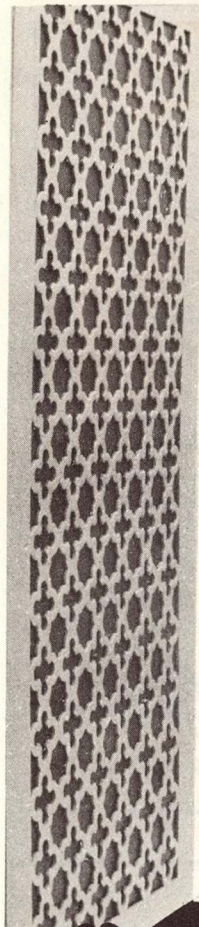
（PATENT. PEND）

御手持ちのドライブイット（三三〇型及四四〇型）にドライブリベット用アタッチメントを取付けるだけで電気も、ドリルも、コンプレッサーも使はずに薄鋼板金属板に、瞬間に、強固に経済的にリベット打ちが出来る特殊リベット法が完成致しました。

ドライブイット・ドライブピン
ドライブリベッター・ドライブリベット



製造元
日本ドライブイット株式会社
東京・大阪・名古屋
大阪市北区絹笠町11　TEL 341—6444 361—8709



素晴らしい花格子!!
三次立体加工の決定盤
クトクランマー

クトク
の新建材

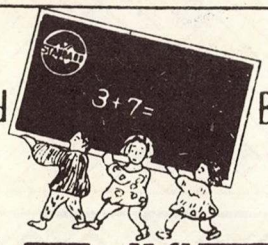
プリント合板
ビニオン
ビニライト
リズムウッド
美装パネル
九建天井板
強力合成接着剤
ブルータイン

浪速合板株式会社
大阪市浪速区幸町通3の20　TEL（561）2201（代）
東京出張所　東京都荒川区日暮里町8の618　TEL（807）0250

木毛セメント板



東邦商会
本　社　大阪市東住吉区桑津町3丁目59
電話大阪(741)1296～7
出張所　和歌山市新堀6丁目13
電話和歌山(2)0298・9435



Standard Board&Slate
フタバ黒板
大阪市東住吉区桑津町三丁目101番地電話大阪（741）4692番

Acoustic Tex
吸音テックス



株式会社室谷商店
本　社　神戸市生田区長狭通四ノ一英和ビル
TEL神戸　③　0881～3
支　店　大阪市北区絹笠町五〇　堂ビル5階
TEL大阪(312)　2031～4
出張所　岡山市内田京町158
TEL　岡山　②　5189

タイル
衛生陶器
エスロンタイル
サンウェーブ
流し台・調理台

株式会社平田タイル
大阪市西区阿波座中通1
電話（531）1003～5　（541）8731～3

つねなりすたじお
建築写真
大阪市東区北浜・電㉑0141

網入光り波型ガラス（スレート小波／スレート大波）長サ 965㍉ 1818㍉

ダイニチ・アーモライト 波板・平板

（硝子繊維強化ポリエステル板）各種波，寸法（長尺物有）

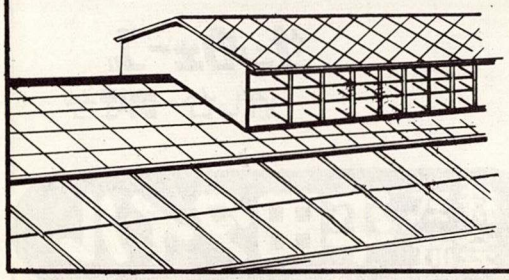
製造販売 大日本硝子工業株式会社

大阪支店 大阪市北区玉江町2ノ4（三菱倉庫ビル）電㊊1389・3389
本　社 神奈川県相模原市小山字久保224 電⑦3101～4

責任施工
アスファルト防水工事
セメント防水工事
アスファルトモルタル床舗装工事
耐酸アスファルト
モルタル工事

N.G.C式
N.G.インシュライト工事責任施工
メタリヤンメッシュD.M38番責任施工
米国パブコ．コンパウンドアスファルト販売
内外工業株式会社
脇山静夫
本社 大阪市阿倍野区旭町一ノ五一 電話(641)3434～6
工場 大阪市阿倍野区旭町二ノ六六
N．G．インシュライト断熱材製造発売元

岩元式 スカイライト 並 固定筒型 コンチニアス ベンチレーター



サッシュ、ドアー、シャッター
伸縮扉、オペレーター、門扉鉄柵
其他金物一式製作施工
カタログ進呈

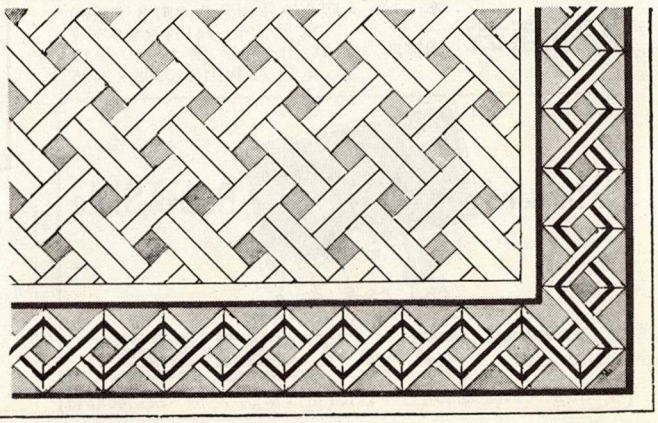


岩元工業株式会社
本社 大阪市東成区東今里町4の40
電話(981)0616～0618

寄木貼床板
フローリング施工請負
ブロック
ベニヤフラッシュドアー造作取付
グラインダー床削

株式会社 寄木商会

営業所 大阪市東区横堀6－49
電話(251)3731・3960
工　場 大阪市浪速区勘助町1



T
K K

アルミニウム

ステンレス　　カーテンウオール

ブロンズ

東京カーテンオール工業株式会社

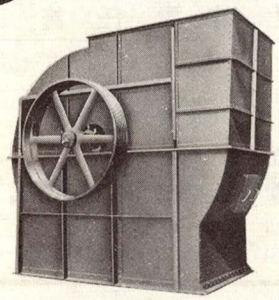
（旧社名東京鋼板工業株式会社）

本社及工場　東京都荒川区尾久町５ノ１０００
電　話　(891) ８１３１ ～ ８
大阪支店　大阪市北区絹笠町18番地（聚嘻ビル3階）
電　話　㊿ ９１５４ ～ ７
名古屋支店　名古屋市東区久屋町5の9（住商ビル）④ 2578～9
福岡出張所　福岡市橋口町15番地の1（サンビル3階）　㉔8825

KANDAN

煖冷房温湿度調整

設計　施工



各種送排風機

設計　製作

関西煖房工業株式会社

本　社　大阪市住吉区万代東６丁目３番地
電　話　大阪（672）1281（大代表）～９
堺工場　堺市浜寺石津町中２丁目200番地
電　話　堺 ③ ７３０１（代表）～ ３
出張所　名　古　屋・福　岡・徳　島

特許　内外式　ベンチレーター

建築基準法にフリーパスのガラス屋根

安定したスマートな外観
モーターファンによる高率換気
内外の技術陣が生んだ傑作

内外建材株式会社

大阪市西区土佐堀船町23（大阪商工ビル）ＴＥＬ(441)3983・4396
工場　大阪市城東区天王田町１の141　ＴＥＬ（962）1149

内外式スカイライト

工場・プラットホーム・
体育館・アーケードに最適

内外式
コンチニアスベンチレーター
筒型各種ベンチレーター

設計　施工

冷蔵庫防熱工事
耐酸モルタル工事

アスファルト専門工事

アスファルト防水工事
アスファルトタイル工事
各種床工事

大阪耐酸工業所

大阪市北区浮田町82番地　電話大阪(371)1333番

DAIKO

NO. 6021
NO. 6021-1

各種照明器具設計製作

大光照明器具

大光電機株式会社

本社工場　大阪市東成区大成通り1丁目103番地
電　　話　大阪 代表 (971) 8251～8255
出張所　札幌・東京・名古屋・広島・福岡

化学工場の構造物を酸蝕から守れ！



耐熱　耐酸　耐油　耐アルカリ

ポリエステル系レヂンライニング
エポキシ　樹脂ライニング
サルファ系煉瓦目地材料
レオパノールORG耐酸工事

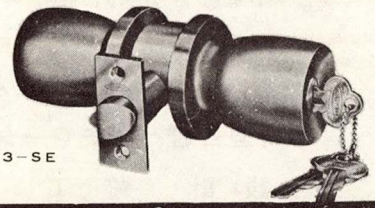
現場責任施工
設計・施工には是非弊社に
御相談願います

耐酸化学工業株式会社

大阪市北区高垣町80
電話　大阪 (361) 178 (代表)　(341) 4957～8

KUROKAWA

円筒形トビラ錠の決定版!!



D-A543-SE

エポロック

デラックス　（カタログ贈呈・ご御氏名御職業御記入）
1品種　住宅玄関・事務所用、間仕切用、廊下通路用、連接せる間仕切用、倉庫用、学校・病院用、出口専用、ビル玄関通路用、浴室・トイレット用
2材質　ステンレス、鋳金、
3形状　広角型、円垂型、

スタンダード
1品種　住宅玄関・事務所用、間仕切用、廊下通路用
2材質　硬質アルミニューム
3形状　広角型

高級扉錠・専門製作

黒川金物株式会社

本社　大阪市南区高津町10番丁19番地　TEL代表㊿7483～4・8050
営業所　東京都江東区深川清澄町2丁目9番地　TEL (641) 7250
工場　奈良県北葛城郡香芝町別所1054番地　TEL (下田) 109

泉

石綿セメントの
最高水準を行く!!

アスベストバリヤ

Asbesto. Barriev
（硬質石綿板）

建物内外壁、間仕切、天井扉、電気室発電所、配電室、製鋼、ガラス工場の壁、製糖、製油製薬工場の床スカート壁などに最適

泉石綿工業株式会社

大阪市北区同心町1の11
電話 ㊿3442・4078

（呈カタログ）

諸官庁御指定

吹付及び掻落ソリジットスタイン
床材（合同リグノイド）マグネシート
外壁シリコン防水・ゴーレジン樹脂防水

製造販売責任施工

合同特許建材工業株式会社

取締役社長　山下謙治

本　社　大阪市東住吉区東之町3－193　電大阪㊸9086・8219
営業所　大阪市東住吉区駒川町3－54　電大阪㊸4370・6760
出張所　広島市比治山本町1180　電広島④4967
東京都新宿区花園通46　電東京(351)5298・5264

株式会社 **矢橋大理石商店**

大阪出張所

大阪市東区高麗橋二丁目九　野村ビル五階
電話大阪㉑4257－8番

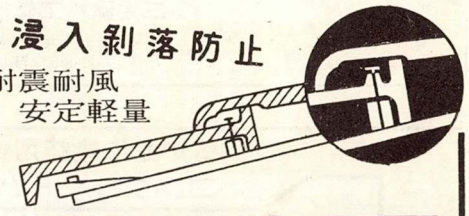
コペンハーゲンリブ

商月報無料送呈

井田ベニヤ
井田商事株式会社

大阪市浪速区西円手町一〇一七番地　湊町駅貨物八号門前
電話　(562) 0800, 0808～9

雨水浸入剝落防止
耐震耐風
安定軽量



大阪市浪速区元町二丁目四二番地　電話(641)

ナニワ瓦株式会社

ナニワ緩勾配瓦

3寸緩勾配最適軽量水止付(空葺)瓦

減らず・滑らず・美しい
モルタル打と同時仕上る 美装床材

カラコン
ダイヤコン

超硬骨材に顔料、薬品等を配合した粉末剤でその儘水練り、金鏝仕上げの為特に技術を要せず、色ムラ、ノロ汚れ等の缺点がない耐磨耗性特に強大、表面滑らかで美しく清潔、耐水性に富み価格低廉であります。（**坪当り材料代¥ 950**）仕上り厚さ約2㎜程度学校、工場、病院、事務所、商店、ガレーヂ、ガソリンスタンド、住宅の玄関、流し、浴室、プール等に最適であります。

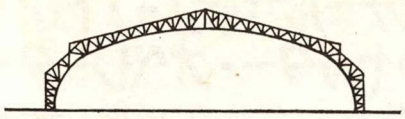
（カタログ進呈）

製造発売元

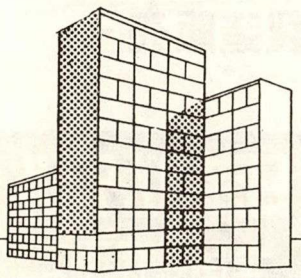
アサヒカラコン株式会社

大阪市此花区四貫島旭町1－3　TEL (461) 3594
工場　大阪市此花区四貫島旭町1

綜合建築設計への道

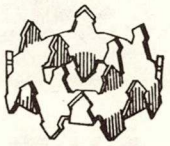


設計部　1．各種鉄骨・鉄筋コンクリート造建築の設計監理
2．ダイヤモンドトラス・ジグザグトラス・平行トラス等
各種大張間鉄骨造の設計監理

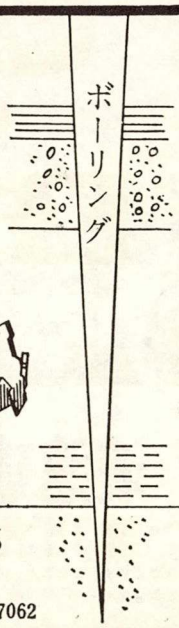


金物部　1．耐震耐風木材接合金具の製造販売
PAT. O式（織本式）ヂベル及クランプ
2．鉄筋の接手及末端定着金具
PAT. バコ及バスト

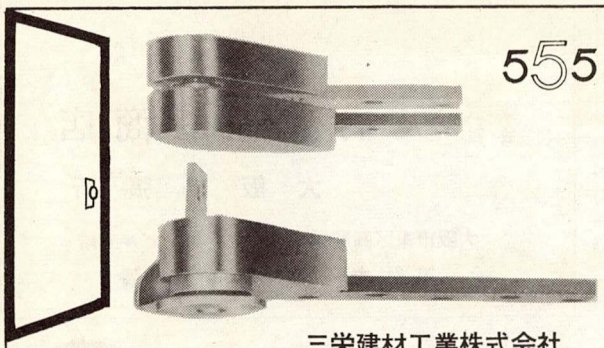




地質部　ボーリング・建築物基礎工事の為の土質調査



株式会社 **織本建築事務所**　所長 織本道三郎
（旧織本建築設計々算事務所・織本特殊構造研究所・合体）
東京都中央区日本橋かきがら町3の2　電話(671) 6443・7007・7062



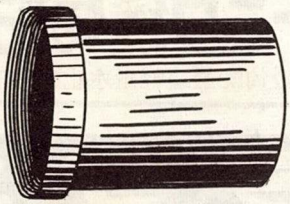
555 ナイロンベアリングで扉の開閉が軽快!!

ピボットヒンヂ
フロアーヒンヂ
ネコマ印 ダストシュート

特徴 ◆ボンデライジングに依る完全防錆加工品
◆回転軸部にナイロンベアリングを採用した耐久品

三栄建材工業株式会社
大阪市生野区巽矢柄町一五一番地
大阪(741)4655(716)0188・0189

築炉並に建築用煉瓦積工事・装飾用化粧煉瓦積工事
コンクリートパイル・コンクリートブロック



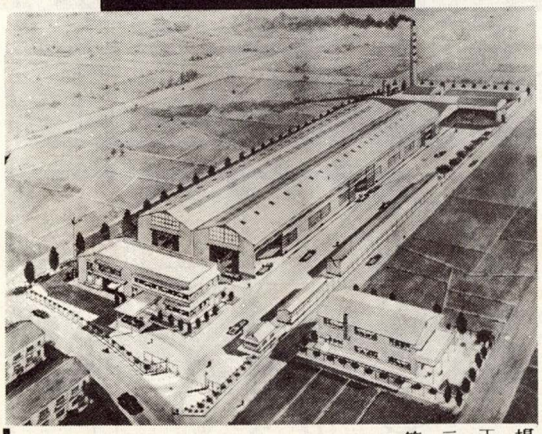
陶管・煉瓦・ヒューム管・衛生陶器
モルタル敷ブロック・スペーサ・各種コンクリート製品一式

森延窯業株式会社

取締役社長 森下延幸・専務取締役 船津 稔
大阪市住吉区上住吉町三一電話(671)2420・8217

(NK)

浪建式
アルミサッシュ・ドアー
スチールサッシュ・ドアー
シャッター・オペレーター
パーカライジングの処理工場完成
―製造販売―



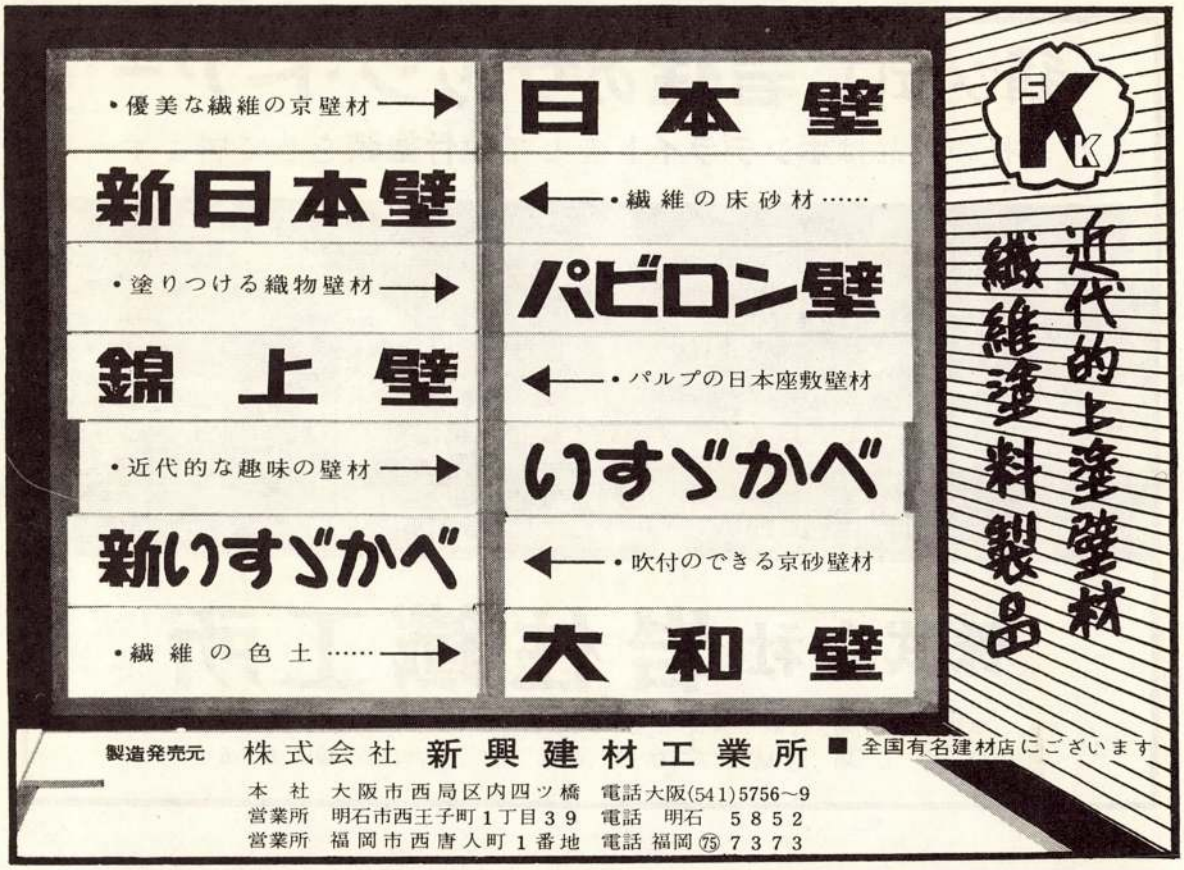
第二工場

NANIWA
大正十四年創業

日満ゴムタイル
全国總代理店
責任施工

浪速建材工業株式会社

本社・工場・大阪市城東区野江中之町一丁目九番地電話大阪(931)1171～3番
第二工場・大阪市城東区茨田横堤町四一番地電話大阪(931)6153・6824番
東京営業所・東京都中央区銀座東六丁目木挽館ビル六号館607号室 電話 東京(541)4611番
福岡営業所・福岡市天神町三番地(サンビル内)電話 福岡 ④ 8462番
出張所・大分市栄町下市三一七番地電話 大分 1366番



COPPER-BOSUITAI TRADE MARK OAM

陸屋根防水には

特許 絶縁工法を

カッパー防水帯

コーパータイト

特許 奥山式熱工法・冷工法綜合防水層

奥山化工業株式會社

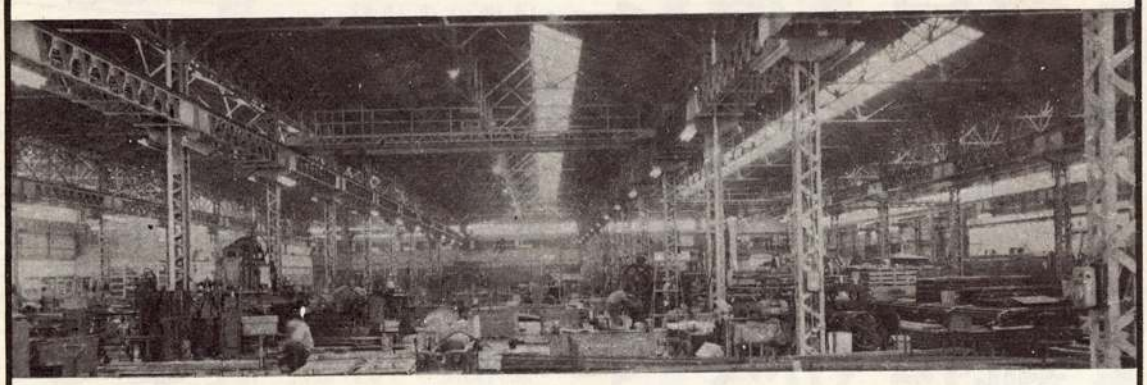
東京都中央区銀座西8の3 TEL㊲2703～4・2370・4064・0264

名古屋出張所 名古屋市南区若草町33 TEL ㊽3660

●御申越次第カタログ進呈

錆びない 岩住のサッシ・ドアー

当社の製品はボンデライトをして焼付塗装をして居ます



株式会社 岩住鐵工所

本社・本社工場　大阪市西淀川区千舟東２－31　電話代表 (471) 5123
尼崎工場　尼崎市守部下河原１５　電話代表 (401) 6751



写真は京都証券ビル

大阪建材工業株式会社

本社　堺市松屋町１－６　TEL(3)5241～9
名古屋営業所　名古屋市東区東新道町２－７　TEL(97)７２６４
東京事務所　東京都千代田区平河町１－２　TEL(301)１２４８
金沢営業所　金沢市下新町１３　TEL(3)3427～8

日本建鉄の

PS型レデイメードサッシ

アルミサッシドア

日本建鉄株式会社

本　　社　東京都千代田区大手町2～8　TEL東京（201）0341（代）
大阪営業所　大阪市北区堂島上2～39　TEL大阪（361）6758（代）

日本建築協会優良證明

セメント増強防水剤

ウォータイトB号

CEMENT WATER-PROOF WOTAITO

株式会社 日本セメント防水剤製造所

本　　社　兵庫県宝塚市高台上の池北28－1　電話　宝塚（6）2153
大阪事務所　大阪市東区船越町2－31（船越ビル）　電話（941）2626（直通）
出張所電話　東京（431）0874・名古屋㉜1331
ウォータイト式防水工事 代行店電話　仙台③0721・札幌⑤7171
大三工業 高松②8697 安藤工事　福岡③5765
豊永建材　広島④3567

仕様書贈呈

紫綬褒章に輝く

JIS合格モルタルコンクリート用

特許 特マノール防水剤

特許マノール急結剤　特許マノール接着剤

八幡メタルホームKK推奨品

責任・施工・請負

株式会社 油脂化工社

取締役社長　矢中龍次郎

本　　社　東京都品川区二葉町1－441　電話東京（781）1715
大阪営業所　大阪市東成区西今里町2－48　電話（971）4765・0063

防火シャッター

甲種
乙種

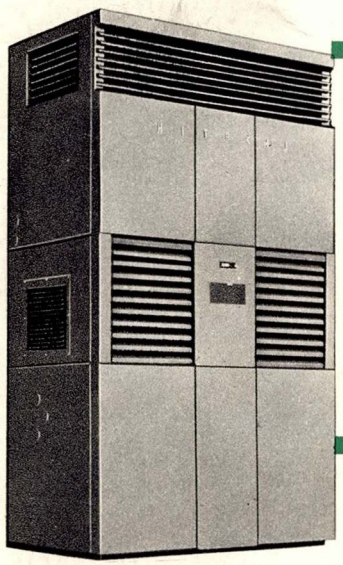
☆電動式
☆手動式
☆バランス
☆パイプ

株式會社 日本シヤッター製作所

本社工場　大阪市東淀川区田川通6丁目38番地
電話（大阪）（301）代3656～9番
工場　東京　福岡　支店営業所　名古屋　高松　岡山　高知
代行販売店　全国主要都市ニアリ

昭和二十四年三月十九日　第三種郵便物認可
昭和三十八年四月二十日印刷　昭和三十八年四月廿五日発行　（毎月廿五日発行）

〈技術の日立〉



理想的な環境づくりに！

- 洗練された外観　どんな場所にもピッタリ
- 定評ある性能と構造　故障なく運転音が静か
- 簡単で安全な操作　全自動安全装置
- 完ペキなサービス網

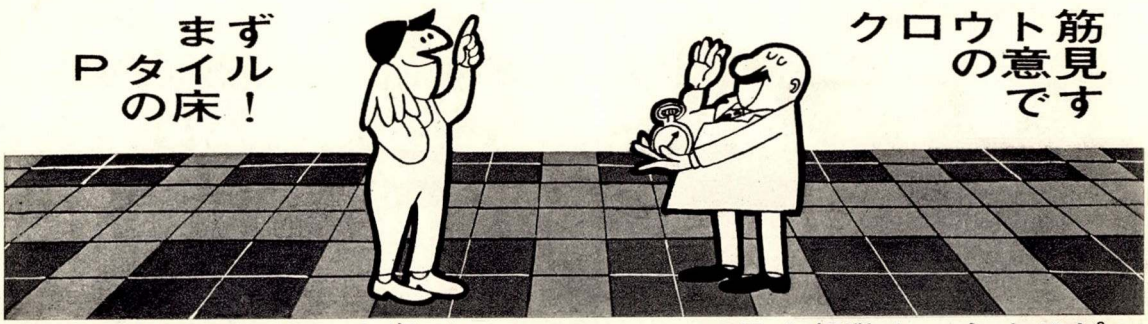
■お問い合わせは弊社汎用機事業部へ
東京都千代田区大手町2—8（第3大手町ビル）
電話・東京 (270) 2111 (大代)

パッケージ形
日立エアーコンディショナー

冷凍及び空気調和装置
- ターボ冷凍機
- クーリングタワー
- エアークリーナ

日立製作所

■304.8㎜×304.8㎜ 厚さ2㎜ ■一面坪￥3500→4000 ■カタログ進呈



美しい！はがれない！傷がつきにくい——Pタイルに関しての一致した意見です玄人筋からは『柔軟性で木やコンクリートの床にも馴み易く仮敷もいらぬスピーディな施工性』といわれます。Pタイルはどんな場所でも明るい環境をつくる床材〔製法特許品〕です！

三星プラスタイルP

田島応用化工KK★

東　京／東京都千代田区神田岩本町13　TEL (866) 代6101
大　阪／大阪市西区京町堀1ノ74　TEL (441) 代5951
名古屋／名古屋市西区桜木町3丁目8番地　TEL (57) 2732
広　島／広島市鉄砲町108　TEL (2) 2281
博　多／福岡市万行寺前町14　TEL (2) 2807

売価　一部　金百八十円　（送料共）

ご入会のお申込は……
「建築と社会」発行所　社団法人 日本建築協会 大阪市東区北浜3—37　電話大阪(231)9648・9649・9640
振替口座大阪3997 5番